

平成28年版

消防年報



(色麻町：船形連峰を望む親子のかっぱ像)

大崎地域広域行政事務組合消防本部



《シャクヤクまつり「愛宕公園内」》

初夏の風にそよぐ赤や白の花を満喫

毎年6月上旬から約4,000㎡の畑に1万株のシャクヤクが咲き誇り、初夏の訪れを告げる祭りです。開花時期になると園内一面に見事な花を咲かせ、公園内は多くの人で賑わいます。常時無料開放しているため、家族や友人とゆったり散策できます。

《平沢交流センター「かっぱのゆ」》

の〜んびりゆったり

加美の秘湯と呼ばれる「かっぱのゆ」の泉質はアルカリ性単純泉。入浴後は、身体が温まり肌がすべすべし、万病に効果があるといわれており、疲れた身体を芯から癒してくれます。エステバス・サウナバス・露天風呂など様々な温泉が楽しめます。



《磯良（いそら）神社》

おかっぱさま

町内の一の関地区にある磯良神社は、「おかっぱさま」と呼ばれ、水難よけ・縁結び・懐妊・安産・足腰の病に、ご神徳ある神様として、昔から近郷近在の人々に愛され、幅広い信仰を集めています。ここには、全国でただ一つ、木彫りの河童（かっぱ）がご神体として祭られています。

《色麻ブランド「えごま」》

「えごま」はαリノレン酸を多く含み、現在注目されている食材です。色麻町では、特産の「えごま」を使った、安全で安心できる健康食品を開発・販売しています。

「えごま」商品を沢山そろえ、健康な町づくりを推進しています。



(お問い合わせ先)

色麻町役場 〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字北谷地41番地

電話 0229-65-2111 (代)

ホームページアドレス <http://www.town.shikama.miyagi.jp/>

はじめに

平成28年熊本地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

甚大な被害をもたらした東日本大震災から5年が経過し、被災地の復旧・復興は着実に進んでおりますが、沿岸部においてはまだ災害の爪痕が散見され、大崎広域圏においては、「平成27年9月関東・東北豪雨」災害による、河川の復旧や被災者に対する支援などの課題を解決しながら、完全なる復旧・復興へ向け取り組んでいる現状です。

当組合の消防業務におきましても、消防庁舎建設や消防ポンプ自動車等の更新整備に併せた緊急消防援助隊登録隊の増隊等、消防施設整備を進めているところであります。今後とも多様化、大規模化する災害・事故に迅速かつ的確に対応するため、より一層の消防防災体制の基盤強化を図ってまいります。

この年報は、平成27年度中における大崎地域広域行政事務組合の消防業務（消防団を除く）に関わる事業の成果、実績等について収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化の参考に資するとともに、当組合消防の実態を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

本書の記載内容の期間については、各表及び統計毎に明示しております。

何とぞご高覧の上、消防行政に対しましての認識を深めていただき、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

大崎地域広域行政事務組合消防本部

目 次

消防情勢

組合消防管内図	1
消防の主な統計	2
位置及び地勢	3
消防施設の整備充実	4
相互応援協定	5
緊急消防援助隊	6
組合消防情勢の推移	7
大崎消防のあゆみと主な災害等	8
構成市町の面積・世帯・人口	29
事務組合機構図	30
消防本部事務分掌	31
消防署事務分掌	33
平成28年度一般会計予算概要及び消防費当初予算	34
施設（消防庁舎等）の現況	35
消防力の整備指針と現有消防力	36
所属別・階級別配置状況	37
階級・年齢・退職年度別構成表	38
勤続年数別構成表	39
年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数／職員数と条例定数の推移	40

警 防

災害出動計画基準表	41
非常配備体制	43
消防車両配置表	44
消防隊出動状況	47
消防水利の現況	48

(火 災)

火災の現況と動向	49
平成27年市町別火災発生状況	50
月別火災発生状況／過去10年間の主な出火原因	51
月別火災発生及び損害額状況／過去10年間の火災件数及び損害額の推移	52

(救 急)

救急業務の現況と動向	53
平成27年月別救急出動状況	54
平成27年救急隊別出動状況	55

平成 27 年出動先別救急出動状況	56
平成 27 年傷病程度・年齢別搬送人員の状況	57
平成 27 年救急隊員の行った応急処置状況（その 1）	58
平成 27 年救急隊員の行った応急処置状況（その 2）	59
東北自動車道における救急出動件数・搬送人員	60
過去 5 年間の発生場所別救急出動状況／過去 10 年間の救急出動件数の推移	61
平成 27 年事故種別医療機関別搬送人員調	62
応急手当講習会等の現況と動向	63
応急手当普通救命講習会等の開催状況（表：1～4）	64

(救 助)

救助業務の現況と動向	66
救助活動状況／過去 5 年間ににおける救助件数の推移	67
消防装備等機械器具保有状況	68

予 防

予防業務の現況	69
防火対象物数	70
地上 5 階未満，地上 5 階以上の防火対象物数	71
防火対象物における防火管理の状況	72
定期点検報告制度該当防火対象物数／消防同意事務処理状況	73
危険物施設状況	74
危険物関係事務処理状況／危険物関係申請状況／圧縮アセチレンガス等の状況	75
予防査察実施状況	76
液化石油ガス関係事務処理状況／火薬類取締関係事務処理状況	77
民間防火組織の結成状況	78

通信指令

高機能消防指令センターおよび消防救急デジタル無線システム	79
消防緊急通信指令システム運用の流れ	80
119 番等受付状況（災害）	81
119 番等受付状況（災害以外）	82
119 番等受付件数／覚知別受付件数	83
火災等区分別入電件数／テレドーム利用件数	84
月別気象状況	85
指令装置機器一覧	86

管内の消防団

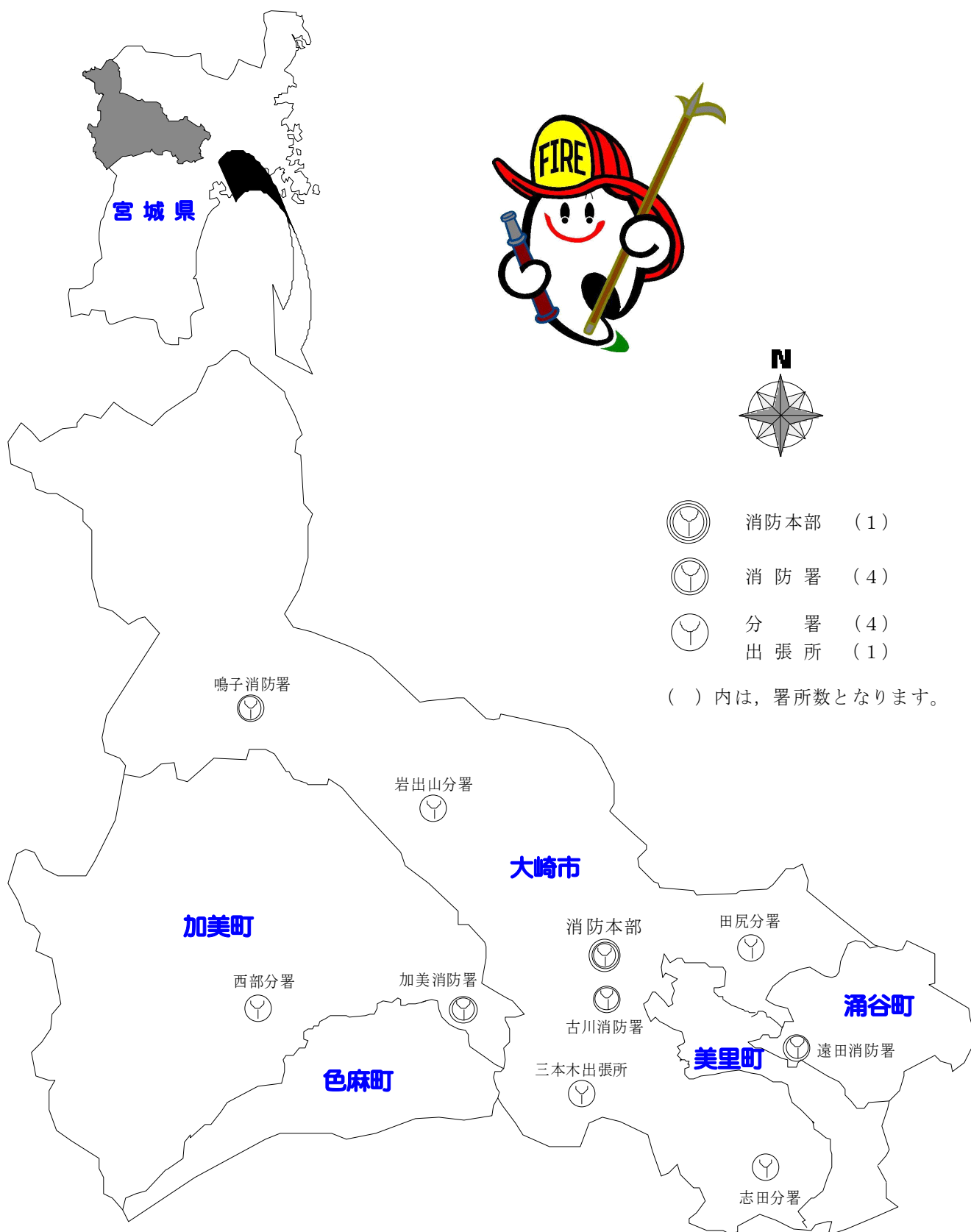
大崎管内の消防団構成	87
------------	----

消 防 情 勢



古川消防署田尻分署新庁舎（平成27年2月17日供用開始）

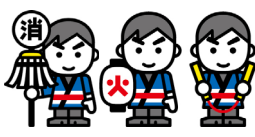
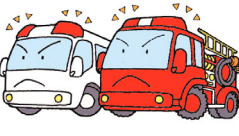
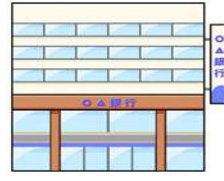
大崎地域広域行政事務組合消防管内図



■大崎消防本部の主な統計

平成28年4月現在の情勢

(人口・世帯等は構成市町からの数値, 災害件数は平成27年確定値)

管 内 面 積	管 内 人 口	管 内 世 帯 数	人 口 密 度
 1,523.69 km ²	 207,122 人	 75,485世帯	 135.93 人/1km ²
消防予算 (28年度)	署 所 数	職 員 数	消 防 団 員 数
 2,776,014千円	 消防本部 1 消 防 署 4 分 署 等 5	 定数 338人 現有 315人	 定数 4,506人 現有 3,937人
消 防 車	特 殊 車 両	救 急 車 他	消 防 水 利
 ポンプ車 11台 タンク車 7台 化 学 車 1台	 は し ご 車 2台 救 助 工 作 車 1台 大 型 水 槽 車 3台	 救 急 車 13台 司令・指揮車 5台 そ の 他 車 22台	 消 火 栓 3,091基 防火水槽 1,139基 そ の 他 137基
火 災 件 数	救 急 件 数	救 助 件 数	その他災害件数
 74件	 9,458 件	 88 件	 危険物等漏洩 32件 自 然 災 害 43件 そ の 他 198件
防 火 対 象 物 数	危 険 物 施 設 数	セーフティマーク	防 火 組 織 等
 8 条 1,840件 17条 6,885件	 製造所 3件 貯蔵所 633件 取扱所 288件	 該 当 対 象 物 277件 特例認定対象物 33件	 婦人防火クラブ 260 少年消防クラブ 1 幼年消防クラブ 42

【位置及び地勢】

県北西部の大崎耕土

当圏域は、宮城県の北西部に位置し、南は広域仙台都市圏、東は広域石巻圏、北は栗原市・登米市、西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。

地勢としては、西部の山岳地帯の荒雄岳を源とする江合川、船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が西から東に向かって流れています。

また、山間部の豊かな森林に覆われた自然を源とする水は、圏域の北西から南東に広がる肥沃に満ちた広大な平野「大崎耕土」を潤し、昔から米どころとしての水稻の盛んな流域圏を形成しています。

圏域の人口は、平成 28 年 4 月 1 日現在 207,122 人（平成 22 年国勢調査 210,789 人）で、宮城県総人口の約 9 %を占め、広域仙台都市圏について 2 番目の規模となっています。

国土の縦軸と横軸が交差する大崎

圏域は、J R 東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や、東北自動車道・国道 4 号・47 号・108 号・346 号・347 号・457 号などの幹線交通網が、縦横に通った交通アクセスの優れた地域となっています。

日本の食糧供給基地

主要な産業は農業となっており、「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産しています。

また、栗駒国立公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設、歴史の道「奥の細道」や遺跡などの文化財、太鼓や神楽などの伝統芸能など文化遺産にも恵まれており、豊富な観光資源を活用したレクリエーション産業が発展しています。



大崎市岩出山 正宗公まつり（写真提供：大崎市）

【消防施設の整備充実】

消防本部では、地域社会の防災機関の中核として、住民のニーズに応えるべく管内情勢に応じた総合的、効果的な消防施設整備計画のもと、消防力の強化、充実を推進しています。

平成27年度の整備状況は次のとおりです。

（１）化学消防ポンプ自動車の整備

導入から20年が経過した古川消防署の化学消防ポンプ自動車を更新整備しました。

この車両は、水源1,500リットル及び薬液500リットルを積載し、危険物火災に適した泡消火薬剤放水仕様で、一般建物火災においても第一線で活動します。（施設整備事業）



古川化学車

（２）連絡車の整備

古川消防署田尻分署の開設に併せて、赤色回転灯・電子サイレンアンプを搭載した緊急車登録の連絡車に更新整備しました。

車載型移動局無線（デジタル無線）及び車両運用端末装置（AVM装置）を装備し、災害時の情報伝達・指揮支援活動等に活用します。



田尻連絡車

（３）消防庁舎の整備

消防力の一層の充実強化と環境負荷の低減を目的に、古川消防署志田分署及び鳴子消防署岩出山分署にそれぞれ太陽光発電設備（10.2kW）・蓄電池設備（15.4kW）を設置しました。（宮城県再生可能エネルギー等導入補助金事業）



古川消防署志田分署



鳴子消防署岩出山分署

【相互応援協定】

市町村は、その管轄区域内における火災等の消防活動の責任を有していますが、その消防力をこえる大規模火災や特殊災害等が発生した場合、それらに対応するため消防組織法に基づき近隣の消防本部等と消防相互応援協定を締結しています。

東日本大震災では、宮城県広域消防相互応援協定に基づき、気仙沼市、石巻市等の2市2町へ消防隊及び救急隊等延べ67隊を派遣し43日間にわたり活動を行いました。

名 称	締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名	協 定 消 防 本 部 名	応 援 内 容
広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	S45年11月1日	栗 原 市	栗 原 市 消 防 本 部	消 防 組 織 法 第 39 条 (火 災・そ の 他 災 害)
	S48年 1月24日	石 巻 広 域 ・ 塩 釜 広 域 登 米 市 ・ 気 仙 沼 本 吉 広 域 4 消 防 本 部		消 防 組 織 法 第 39 条 (火 災・救 急・そ の 他 災 害)
	S48年 2月1日	栗 原 市	栗 原 市 消 防 本 部	消 防 組 織 法 第 39 条 (救 急)
	S48年 7月1日	黒 川 広 域	黒 川 広 域 消 防 本 部	消 防 組 織 法 第 39 条 (火 災・救 急・そ の 他 災 害)
	S50年 4月1日	山 形 県 最 上 広 域 市 町 村 圏 消 防 本 部		消 防 組 織 法 第 39 条 (火 災・救 急・そ の 他 災 害)
	H 8年 7月31日	秋 田 県 湯 沢 雄 勝 広 域 市 町 村 圏 消 防 本 部		消 防 組 織 法 第 39 条 (火 災・救 急・そ の 他 災 害)
	H25年 3月1日	尾 花 沢 市	尾 花 沢 市 消 防 本 部	消 防 組 織 法 第 39 条 (火 災・救 急・そ の 他 災 害)
東 北 自 動 車 道 宮 城 県 消 防 相 互 応 援 協 定	S63年 7月1日	仙 台 市 ・ 名 取 市 ・ 仙 南 広 域 栗 原 市 ・ 黒 川 広 域 5 消 防 本 部		東 北 自 動 車 道 に お け る 消 防 業 務 の 相 互 応 援
宮 城 県 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	H 4年 4月1日	県 内 1 2 消 防 本 部 (局)		消 防 組 織 法 第 39 条 (火 災・救 急・そ の 他 災 害)
宮 城 県 広 域 航 空 消 防 応 援 協 定	H 4年 4月1日	宮 城 県 内 1 2 消 防 本 部 (局)		同 上
宮 城 県 内 航 空 消 防 応 援 協 定	H13年 4月1日	仙 台 市 内 1 1 消 防 本 部		同 上



【緊急消防援助隊】

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえ、大規模災害等において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成7年6月に創設されました。

その後、平成15年6月の消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化（平成16年4月施行）され、平成28年4月1日現在、全国で5,451隊（重複登録を含む）が登録され、指揮支援隊・都道府県大隊指揮隊・消火小隊・救助小隊・救急小隊・後方支援小隊・特殊災害小隊・特殊装備小隊・航空小隊・水上小隊の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。その内、大崎広域消防本部においては、下表のとおり11隊を登録しております。

なお、東日本大震災では44都道府県の消防本部から派遣された隊員は88日間にわたり活動を行いました。管内においては、石巻地区で活動を行う鹿児島隊36隊108名を涌谷スタジアムに受入しました。



登録部隊	所 属	車 両	登録年月	登録隊数
都道府県大隊指揮隊	消防本部	司令車	H19.4	1 隊
消火小隊	加美消防署	水槽付ポンプ車	H15.4	5 隊
	遠田消防署	水槽付ポンプ車	H21.3	
	西部分署	水槽付ポンプ車	H26.4	
	鳴子消防署	水槽付ポンプ車	H27.4	
	田尻分署	水槽付ポンプ車	H27.4	
救助小隊	古川消防署	救助工作車	H15.4	1 隊
救急小隊	加美消防署	高規格救急車	H19.4	2 隊
	遠田消防署	高規格救急車	H20.4	
後方支援小隊	消防本部	資機材搬送車	H16.4	1 隊
特殊装備小隊	遠田消防署	大型水槽車	H23.4	1 隊
計				11 隊



大崎地域広域行政事務組合消防情勢の推移

平成28年4月1日現在

年	区分	人口	世帯数	消防職員		火災件数 (1～12月)	救急出動件数 (1～12月)
				定数	実員		
昭和45		219,598	48,081	186	125	76	336
46		217,880	48,759	186	154	126	378
47		216,507	49,280	186	186	111	655
48		214,880	49,790	214	211	119	1,007
49		215,464	50,472	217	214	108	1,472
50		216,349	51,115	222	220	104	1,695
51		217,525	51,787	222	219	119	1,880
52		218,880	52,674	228	226	101	1,905
53		219,884	53,462	228	222	109	2,101
54		221,097	53,963	228	228	122	2,210
55		219,603	54,482	228	226	86	2,474
56		221,414	54,252	233	231	91	2,507
57		222,930	55,192	238	236	87	2,747
58		223,686	55,539	242	242	101	2,995
59		223,973	55,925	242	240	101	2,906
60		224,954	56,476	242	238	94	3,174
61		225,434	57,134	252	243	101	3,331
62		225,556	57,348	252	246	103	3,472
63		225,578	57,680	252	248	99	3,517
平成元		225,567	58,185	252	243	78	3,766
2		225,285	58,731	252	242	87	3,958
3		225,114	59,140	252	239	97	4,002
4		225,225	59,733	252	243	105	4,070
5		225,490	60,480	252	251	103	4,241
6		226,104	61,167	260	260	105	4,575
7		225,813	61,167	300	268	99	4,784
8		225,606	62,754	300	276	86	5,172
9		225,424	63,565	300	284	132	5,202
10		225,532	64,795	300	291	117	5,757
11		225,588	65,632	300	297	129	6,174
12		225,054	66,296	300	299	78	6,567
13		224,134	66,736	300	298	148	6,572
14		223,234	67,177	338	303	138	6,816
15		222,594	68,067	338	308	156	7,253
16		221,420	68,268	338	312	152	7,789
17		220,499	68,758	338	317	128	8,142
18		219,422	69,245	338	321	86	7,918
19		218,267	69,890	338	320	124	7,910
20		214,085	70,384	338	312	132	7,807
21		212,187	70,669	338	310	114	7,807
22		213,998	71,447	338	307	99	8,251
23		212,773	71,821	338	314	110	9,180
24		212,509	72,699	338	315	88	9,087
25		211,325	73,480	338	310(1)	96	9,125
26		210,347	74,323	338	312(2)	83	9,157
27		208,511	74,902	338	308(6)	74	9,458
28		207,122	75,485	338	315(4)		

※ 消防職員実員の（ ）書きは、再任用職員の内数

大崎消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和45	4	・大崎1市12町1村で大崎地区消防事務組合を発足，1本部2署1派出所人員92名にて消防業務開始 ・初代消防長に古川市長 森谷菊治郎氏就任（事務取扱） ・政令指定	5	・鳴子町字焼石亦林野火災 焼損面積3ha	4	・大阪市地下鉄工事現場ガス爆発火災 死者74名 負傷者411名
	11	・栗原地区消防と消防相互応援協定締結				
46	1	・古川消防署涌谷分署庁舎開設ポンプ車配置 ・古川消防署鹿島台，岩出山，中新田，小牛田各分署及び小野田出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車各1台配置	1	・古川市寿司店火災 死者4名	1	・呉市林野火災， 死者17名（消防職員） 負傷者1名，焼損面積340ha
	7	・第2代消防長に千田清志氏就任	4	・色麻町四釜，大東電子産業(株)火災		
	10	・古川消防署小牛田分署に普通消防ポンプ車1台増強	5	・岩出山町南沢林野火災 焼損面積3ha	7	・雫石事故（全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落） 死者162名
	12	・古川消防署岩出山，鹿島台，中新田，涌谷の各分署に水槽付消防ポンプ車各1台を配置				
47	3	・古川消防署にスノーケル車1台配置				
	4	・古川消防署鹿島台，岩出山，涌谷各分署及び小野田出張所に消防吏員待機宿舎完成 ・古川消防署岩出山，涌谷各分署に救急車各1台配置	5	・岩出山町南沢林野火災， 焼損面積2.5ha	5	・大阪市千日デパートビル火災 死者118名 負傷者81名
	8	・第3代消防長に佐藤真夫氏就任			8	・北九州市済生会八幡病院火災 死者13名 負傷者3名 焼損面積888㎡
			12	・小野田町漆沢ダム工事現場作業員宿舎火災 死者1名		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和48	2	・石巻広域，気仙沼本吉広域，塩釜地区，登米地区各消防と消防相互応援協定締結	2	・松山町次橋山王大火災 焼損棟数 1 2 棟， 焼損面積 9 4 5 m ²		
	3	・古川消防署田尻出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車 1 台配置 ・古川消防署中新田分署に救急車 1 台配置（日本自動車工業会より寄贈） ・古川消防署小牛田分署に消防吏員待機宿舎完成 ・大崎地域広域行政事務組合に統合するため大崎地区消防事務組合を解散 ・大崎地域広域行政事務組合に統合，定数条例 2 1 4 名 ・黒川地区消防と消防相互応援協定締結 ・古川消防署小牛田分署に救急車 1 台配置 ・機構改革により中新田分署，涌谷分署が署に昇格し，1 本部 4 署 3 分署 2 出張所 1 派出所となる。 ・鳴子消防署に救急車 1 台配置（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈） ・古川消防署鹿島台分署に救急車 1 台配置（日本消防協会より寄贈）	8	・岩出山町池月林野火災 焼損面積 2 h a	7	・出光石油化学徳山工場爆発火災 死者 1 名
					9	・熊本大洋デパート火災 死者 1 0 3 名 負傷者 1 2 1 名 焼損面積 1 3，6 3 7 m ²
49	3	・古川消防署三本木機関員派出所，中新田消防署宮崎機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車各 1 台配置				
	4	・定数条例 2 1 7 名に改定	12	・鳴子町字星沼，旅館仙庄館火災 焼損面積 7 8 0 m ²	4	・三菱石油水島製油所重油流失事故
					5	・1 9 7 4 年伊豆半島沖地震（M6.9） 死者 3 0 名 家屋全壊 1 3 4 棟
					8	・東京丸の内三菱重工業ビルで時限爆弾爆発（企業連続爆破事件） 死者 8 名 重軽傷 2 2 8 名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和50	2	・古川消防署に救急車1台増強（日本損害保険協会より寄贈）			2	・四日市大協石油製油所タンク火災
	3	・古川消防署松山機関員派出所，涌谷消防署の南郷機関員派出所の各庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置				
	4	・最上広域消防と消防相互応援協定締結	4	・岩出山町南沢畜舎火災 焼損面積624㎡	4	・大分県中部地震（M6.4） 負傷者22名 家屋全壊77棟
	7	・定数条例222名に改定				
		・古川消防署に作業車配置				
	9	・古川消防署の普通消防ポンプ自動車1台更新（日本損害保険協会より寄贈）	8	・古川市協和中学校火災 焼損面積963㎡		
	10	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新	12	・色麻町色麻中学校火災 焼損面積1,909㎡		
51	2	・中新田消防署色麻機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車1台配置	4	・古川市中里アパート火災 焼損面積446㎡		
	6	・消防本部付にて特別救助隊発足（隊員7名）		・古川市佐々木製縄火災 焼損面積700㎡		
	9	・第4代消防長に小金勝一氏就任	7	・小野田町味袋畜舎火災 焼損面積853㎡	10	・酒田市大火 死者1名 負傷者1,003名 焼損棟数，1,774棟，焼損面積152,105㎡
	11	・鳴子消防署に梯子車（15M級）1台配置				
	12	・黒川地区消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結			12	・沼津市雑居ビル火災 死者15名 負傷者8名
		・東北高速自動車国道（古川IC～大和IC間上り線）救急業務開始				・東北自動車道 泉～古川間開通

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和52	1	・古川消防署の救急車更新 (日本自動車工業会より寄贈)	1	・涌谷町住宅火災 焼損棟数5棟 焼損面積581㎡		
	3	・消防救急指令装置 (C型)設置			3	・北九州市林野火災 死者5名(消防職員)
	4	・定数条例228名に改定	4	・古川市山崎製畳工場火災 焼損面積852㎡	5	・岩国市岩国病院火災 死者7名 負傷者5名
	8	・古川消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・北海道有珠山噴火
	10	・古川消防署に化学車(Ⅱ型)1台配置 ・涌谷消防署小牛田分署に水槽付消防ポンプ車を配置し、既設の普通消防ポンプ車を古川消防署に移管				
	11	・栗原広域消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結				
	12	・東北高速自動車国道(古川IC～築館IC間下り線)救急業務開始				
53	1	・消防通信指令室に気象観測装置(自記温湿・風向・風速・雨量・気圧)を設置			1	・1978年伊豆大島近海地震(M7.0) 死者25名
	3	・鳴子町上野々に無線不感地帯解消のための無線塔を設置 ・消防本部通信指令室に地図検索装置を設置 ・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新	5	・涌谷町上郡畜舎火災 焼損面積728㎡	6	・1978年宮城県沖地震(M7.4) 死者28名 負傷者11,028名 家屋全壊1,383棟 仙台市の屋外タンクから68,160ℓの油流出
	8	・古川消防署荒谷機関員派出所の普通消防ポンプ車更新	9	・岩出山町片倉工業㈱火災 焼損面積1,445㎡		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和54	3	・ 鳴子消防署の救急車更新 ・ 涌谷消防署の救急車更新 （日本損害保険協会より寄贈） ・ 古川消防署に救急予備車を配置（鳴子消防署より移管）	2	・ 古川市福沼字長瀬，青沼醸造(株)火災 焼損面積 3. 4 4 6 m ²	3	・ 上越新幹線大清水トンネル火災 死者 1 6 名
	5	・ 消防本部・古川消防署庁舎完成				
	7	・ 消防本部に救助訓練塔完成 ・ 消防音楽隊発足（隊員 2 7 名）	10	・ 中新田町菜切谷グリコ仙台アイスクリーム(株)火災 焼損面積 3, 446 m ²	7	・ 東名高速道路日本坂トンネル内車両火災 死者 7 名 負傷者 2 名 焼損車両 1 8 9 台
	11	・ 消防本部に救助工作車 1 台配置	12	・ 古川市上古川屋敷住宅火災 死者 5 名 焼損面積 1 5 8 m ²		
55	3	・ 涌谷町簗岳に無線不感地帯解消のための無線塔を設置	5	・ 宮崎町宮崎店舗住宅火災 負傷者 4 名 焼損面積 335 m ²		
	6	・ 鳴子消防署に作業車配置（古川消防署より移管）				
	8	・ 古川消防署，鳴子消防署岩出山分署の救急車更新 ・ 中新田消防署，涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・ 富士山落石事故 死者 1 2 名 負傷者 3 1 名 ・ 静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 死者 1 4 名 負傷者 2 2 3 名 焼損面 積 1, 7 3 2 m ²
	10	・ 古川消防署の水槽付消防ポンプ車を小型動力消防ポンプ付大型水槽車（1 0 t）に更新			11	・ 栃木県川治プリンスホテル火災 死者 4 5 名 負傷者 2 2 名
56	3	・ 涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）			1	・ 川崎市タンカー火災 死者 3 名 負傷者 3 名
	4	・ 定数条例 2 3 3 名に改定				
	9	・ 鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新 ・ 中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新	11	・ 小牛田町中埴作業所火災 焼損面積 1, 9 5 5 m ²	5	・ 東京上野「アメ横」火災 焼損棟数 5 2 棟
					8	・ 台風第 1 5 号東北縦断
					10	・ 北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者 9 3 名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和57	3	・古川消防署鹿島台分署の救急車更新，既存の救急車を予備車として古川消防署に移管			2	・東京都千代田区ホテルニュージャパン火災 死者 3 2 名 負傷者 3 4 名 焼損面積4, 186㎡ ・山形市蔵王温泉観光ホテル火災 死者 1 1 名 負傷者 2 名 焼失面積3, 581㎡
	4	・定数条例 2 3 8 名に改定 ・第 5 代消防長に大澤邦臣氏就任	4	・鳴子町湯元鳴子ホテル源泉噴出事故 負傷者 7 名	4	・東北地方を中心とした林野火災・県内各地 負傷者 8 名 焼損棟数 2 9 0 棟 焼損面積 4, 7 2 5 ㎡
	7	・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新				
	8	・中新田消防署に圧縮空気製造用高圧コンプレッサー設置	11	・鳴子町名生定字竿竹原ドライブイン火災 焼損面積 6 5 7 ㎡		
58	3	・古川消防署の救急車更新				
	4	・定数条例 2 4 2 名に改定	4	・宮崎町谷地森字赤沼住宅火災 死者 3 名 焼損面積 7 2 3 ㎡	5	・昭和 5 8 年日本海中部地震 (M7. 7) 死者 1 0 4 名 家屋全壊 1, 5 8 4 棟
			6	・岩出山町字下川原墨田工業(株)工場火災，焼損棟数 2 棟，焼損面積 6 7 1 ㎡	10	・三宅島噴火 建物損壊 4 0 0 棟
					11	・掛川市ヤマハレクリエーション「つま恋」プロパンガス爆発事故 死者 1 4 名
59	3	・消防本部に宮城県事業として，防災行政無線装置を設置 ・中新田消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	5	・小野田町字上野目西小野田中学校火災 焼損面積 1, 9 9 6 ㎡	1	・福岡県高田町三井三池有明鉱構内火災 死者 8 3 名 負傷者 1 6 名
	11	・涌谷消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新	8	・鳴子町名生定字水沼しんこう牧場火災 焼損面積 5 6 4 ㎡	11	・東京都世田谷区で電話地下ケーブル火災

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和60	1	・第6代消防長に組合助役 内田綱雄氏就任（事務取扱）				
	2	・消防本部に宮城県事業として、防災無線端末局用 ファクシミリ装置を設置	2	・岩出山町字一栗一本杉畜舎 火災 焼損面積 7 0 3 m ²	2	・新潟県青梅町土砂崩れ 死者 1 0 名 負傷者 4 名 建物損壊 7 棟
	3	・消防本部通信指令室に消防 救急指令装置（C型） 1 台増設 ・消防本部通信指令室に地 図検索装置（F100C）を 設置 ・古川消防署鹿島台分署、 鳴子消防署岩出山分署、 涌谷消防署小牛田分署、 同田尻出張所、中新田消 防署小野田出張所電話転 送装置を設置 ・消防本部通信指令室に119 番集中管理用無線指令起 動装置を設置 ・涌谷消防署の救急車更新 ・古川消防署荒谷機関員派 出所を廃止し、同所の普 通消防ポンプ車を予備車 として古川消防署に移管	3	・涌谷町字三十軒屋敷住宅火 災 焼損棟数 3 棟 焼損面積 5 9 2 m ²	5	・東京都目黒区柿の木板タン クローリー火災
	6	・119番集中管理運用開始	6	・中新田町四日市場字屋敷作 業所火災 焼損棟数 6 棟 焼損面積 7 1 6 m ²	7	・長野市地附山地滑り 死者 2 6 名
	9	・鳴子消防署岩出山分署の 水槽付消防ポンプ車更新 （日本損害保険協会より 寄贈）			8	・日航ジャンボ機墜落事故（ 群馬県上野村） 死者 5 2 0 名 負傷者 4 名
	11	・中新田消防署庁舎増改築 工事竣工			9	・メキシコ大地震 死者数千人以上
	12	・中新田消防署の救急車更 新（日本損害保険協会よ り寄贈）			11	・南米コロンビア火山大噴火 死者 2 万人以上
					12	・豪雪（6 1 年 3 月まで） 死者 90 名 負傷者 678 名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和61	2	・消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置を設置			2	・静岡県熱川温泉大東館火災 死者 2 4 名 焼損面積 1, 4 6 1 m ²
	4	・定数条例 2 5 2 名に改定			7	・神戸市 陽気寮火災 死者 8 名
	9	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車更新	8	・台風 1 0 号により鹿島台町の吉田川決壊、全町の約 5 0 %にあたる 2, 670 h a が冠水 死者 1 名 家屋冠水 969 棟, 1, 415 世帯に避難勧告	8	・台風 1 0 号 死者 2 0 名 負傷者 1 0 7 名
62					11	・伊豆大島噴火
	3	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） ・古川消防署の救急車更新 ・涌谷消防署田尻出張所の普通消防ポンプ車の更新			3	・名取市東北自動車道多重衝突事故 死者 1 名 焼損車両 1 3 台
63					5	・東電大井火力発電所爆発火災 死者 4 名
					6	・東村山市特別養護老人ホーム松寿園火災 死者 1 7 名 負傷者 2 5 名 焼損面積 4 5 0 m ²
			1	・鳴子町名生定住宅火災 死者 1 名 焼損 1 3 3 m ²		
	3	・中新田消防署色麻派出所の普通消防ポンプ車更新 ・涌谷町簗岳無線通信所の制御器を消防本部指令室に移設 ・古川消防署三本木派出所松山派出所、中新田消防署宮崎派出所、色麻派出所、涌谷消防署南郷派出所に無線起動装置を設置	3	・鳴子町大口旅館・住宅火災 死者 1 名 焼損棟数 4 棟 焼損面積 844 m ²		
	4	・第 7 代消防長に渡辺邦夫氏就任	7	・中新田町字赤塚住宅火災 死者 3 名 焼損面積 1 0 3 m ²	7	・海上自衛隊潜水艦「なだしお」と釣り船「第 1 富士丸」衝突
					12	・ソ連アルメニア共和国大地震 死者 1 0 万人

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成元	4	・第8代消防長に高橋仁一氏就任	4	・宮崎町孫沢，住宅火災 4棟全半焼			
			5	・色麻町平沢，住宅火災 3棟全半焼	6	・伊豆群発地震	
	8	・消防本部通信指令室に救急医療情報検索端末装置を設置			7	・伊豆半島東方河海底入火山噴火	
	11	・古川消防署三本木派出所の普通消防ポンプ車更新（消防施設補助整備事業等）			8	・台風11，12，13号及び熱帯低気圧による災害	
		・中新田消防署宮崎派出所の普通消防ポンプ車（4WD）更新				・東京都江東区28階建高層マンション24階から出火	
	2	1	・古川消防署の救急車（4WD）更新（山之内製薬株式会社より寄贈）	11	・鹿島台町大迫川決壊床下浸水51棟	3	・尼崎市長崎屋火災 死者15名 負傷者6名
	3	3	・鳴子消防署庁舎新築工事竣工	2	・岩出山町一票中学校火災 体育館747㎡全焼	2	・関西電力美浜原発2号機で冷却水漏れ事故
		・鳴子消防署敷地内の消防訓練塔建築工事竣工（主塔は消防施設補助整備事業）	5	・涌谷町砂田，住宅火災 6棟全半焼	3	・雲仙普賢岳噴火による火砕流災害，死者41名	
	6	・消防本部の防火広報車更新（日本防火協会より寄贈）					
	8	・大崎地域広域行政事務組合創立20周年記念式典挙行					
	10	・涌谷消防署南郷派出所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）					
4	2	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈）	2	・東北自動車道玉突き事故（古川市塚の目地内） 死者2名 負傷者27名			
		・古川消防署鹿島台分署の救急車更新（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈）					
	4	・第9代消防長に早坂千早氏就任					
		・宮城県広域消防相互応援協定締結					

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成4 5	9	- 古川消防署，古川消防署松山派出所の普通消防ポンプ車更新，既存の同派出所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 - 消防本部通信指令室に宮城県総合防災情報システム端末設備を設置 - 鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	9	鳴子町鳴子ホテル火災 5 5 1 m²部分焼 宿泊客 3 2 5 名無事避難		
	10	第10代消防長に宍戸武氏就任	10	田尻町田尻，住宅火災 9 棟全半焼		
			12	小牛田町化粧坂，住宅火災 3 棟全半焼		
	4	第11代消防長に組合助役青沼宏明氏就任（事務取扱）	6	J R 東北本線鹿島台野蒜踏切列車事故（救助救急出動） 死者 3 名	1	北海道釧路沖地震(M7.8) 死者 2 名 家屋全壊53棟
			8	岩出山町大学町，作業所火災 2 棟全半焼	7	北海道南西沖地震(M7.8) 死者行方不明 2 3 0 名 家屋全壊 6 0 1 棟
	10	救急医療情報検索端末装置更新			8	平成 5 年 8 月豪雨災害
	11	- 古川消防署のスノーケル車を梯子車(35M)に更新（消防防災設備補助事業） - 初の救急救命士誕生			9	台風 1 3 号による災害
	12	古川消防署の救急車を高規格救急車に更新，既存救急車を予備車として古川消防署に移管				
	6	定数条例 2 6 0 名に改定				
	12	- 鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新 - 鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新	9	台風 2 6 号増水による涌谷町三軒屋敷地内江合川決壊警戒出動	12	- 三陸はるか沖地震(M7.5) 死者 3 名 家屋全壊 7 2 棟 - 福島県若喜旅館火災 死者 5 名 負傷者 3 名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成7	2	・ 涌谷消防署の救急車更新 （宮城県共済農協連合会より寄贈） ・ 中新田消防署の救急車更新			1	・ 阪神淡路大震災，震源地淡路島 死者6,430名 負傷者43,782名 地震による火災285件，全半焼7,071棟，避難者31万人 住家全壊104,900棟，半壊144,255棟
	4	・ 本署5救急隊専任化に伴う40名増員，定数条例300名に改定	5	・ 涌谷町吉住，住宅火災 4棟全半焼 ・ 古川市七日町，店舗併用住宅火災 焼損面積270㎡全焼	3	・ 東京都心地下鉄サリン事件
	7	・ 鳴子消防署，涌谷消防署の査察車更新	6	・ 涌谷町箕岳観光会館ホテル火災 宿泊客15名無事避難 焼損面積・延1,424㎡の内320㎡部分焼		
	8	・ 消防本部の指令車更新	8	・ 宮崎町木船，住宅火災 3棟全半焼		
	9	・ 緊急消防援助隊編成で救助部隊1隊登録，消火部隊2隊登録				
		・ 古川消防署の指揮車更新（日本消防協会より寄贈）				
	10	・ 中新田消防署救急隊専任化				
	12	・ 古川消防署の化学消防ポンプ車更新				
	8	1 ・ 防災倉庫竣工（救急消毒室併設） ・ 涌谷消防署小牛田分署の水槽付消防ポンプ車更新			2	・ 北海道豊浜トンネル落盤事故 死者20名
		3 ・ 古川消防署の連絡車更新 ・ 古川消防署の救助工作車（Ⅱ型）をⅢ型に更新，Ⅱ型を鳴子消防署へ配置換え ・ 財務会計電算システム導入，端末機取付				
	4	・ 同上システム運用開始	5	・ 三本木町蒜袋，住宅等火災 6棟全焼		
			6	・ 岩出山町下山里，住宅火災 3棟全半焼	6	・ 福岡空港ガルーダインドネシア航空機の離陸失敗炎上 死者3名 負傷者109名
	7	・ 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定締結				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成8	8	・鳴子消防署の指揮車更新	8	・宮城県北部（鳴子町鬼首地区）地震 負傷者4名		
		・中新田消防署小野田出張所の指揮車更新		家屋半壊28世帯186名		
	10	・涌谷消防署救急隊専任化		家屋一部破損168世帯689名，路面の亀裂陥没，路肩崩壊・橋脚の亀裂等		
		・涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）既存の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	12	・中新田町下新田，住宅火災 4棟全半焼 傷者1名		
	9				1	・ロシア船籍タンカーナホトカ号の座礁，大量の重油流出による日本海沿岸8府県に及ぶ広域海洋汚染
	2	・中新田消防署配置の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）				
		・中新田消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）既存の救急車を古川消防署（第2救急車）へ移管，古川第2救急車を予備車に配置換え				
	3	・消防本部庁舎構内に電話交換機更新（NTT，EP-17型）	4	・田尻町大貫，住宅等火災 5棟全焼	3	・動燃東海事業所施設内で爆発事故 被爆者数37名
			6	・鹿島台町鶴田川，広長川大雨による堤防決壊2カ所，幹線道路欠損2カ所	6	・臓器移植法成立
	8	・古川消防署鹿島台分署の指揮車更新	9	・鳴子町尿前地内登山遭難，傷者1名（県防災ヘリ出動）		
10	10	・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10	・小野田町漆沢，登山遭難，傷者2名（県防災ヘリ出動）		
	12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・小牛田町建物火災 死者2名 焼損面積201㎡ 3棟		
	3	・自動車，携帯電話からの119番受付業務を代表消防本部として開始（大崎，黒川，栗原ブロック）	4	・古川市きのこ工場工事現場火災 焼損面積13,225㎡ 死者1名 負傷者16名		
	7	・鳴子消防署岩出山分署の指揮車更新	8	・鳴子町国立鳴子病院火災 死傷者13名		
		・消防本部に資機材搬送車を整備	10	・古川市南町保育所火災 焼損面積310㎡		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成11	2	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈）			2	・臓器移植法施行以来，初の脳死移植実施。
	3	・涌谷消防署の救急車を高規格救急車に更新（山之内製薬㈱より寄贈）	3	・中新田町ソニー㈱中新田工場火災 焼損面積3,034㎡ 損害額36億4,100万円		
	4	・第12代消防長に組合助役千葉賢氏就任(事務取扱)	7	・鹿島台町鶴田川決壊下志田地区一帯冠水300世帯に避難勧告	6	・古川市立病院において国内3例目の脳死判定が行われ，古川消防署救急隊により市内師山ヘリポートへ臓器の緊急搬送を実施。
					8	・トルコ北西部地震（M7.8）（日本から消防緊急援助隊派遣） 死者1,700人 負傷者24,900人 家屋被害180,300棟
12	11	・鳴子消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） ・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）			9	・台湾中部地震（M7.7）（日本から消防緊急援助隊派遣） 死者2,400人 負傷者11,000人 家屋被害82,400棟 ・茨城県東海村核燃料加工会社 J C O 東海事業所で，日本初の臨界事故発生，社員80名以上が被爆
					3	・営団地下鉄日比谷線で通勤電車が脱線，上り電車と衝突 死傷者69名 ・北海道有珠山が23年ぶりに噴火，その後三宅島の雄山等も噴火，全国的に火山活動が活発化
			10	・中新田町南町地内7棟全半焼火災 焼損面積613㎡	9	・東海を中心に猛烈な豪雨，名古屋全域で3方棟超浸水（105名の死傷者）
	11	・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・東北自動車道玉突き事故（三本木町伊賀地内） 傷者21名 破損車両64台		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成13	3	・古川消防署高規格救急車更新（消防防災設備補助事業）				
		・古川消防署2B型救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）				
	4	・消防緊急通信指令システム整備（消防防災整備補助事業）				
	7	・鳴子消防署梯子車更新（消防防災整備補助事業）			7	・兵庫県明石市大蔵海岸朝霧歩道橋付近で将棋倒し事故 死傷者139名
	8	・小野田出張所2B型救急車配備（宮城県共済農業協同組合連合会寄贈）			9	・東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル「明星56ビル」火災 死者44名
	12	・中新田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
14	4	・職員定数条例改正（消防職員338人）			3	・宮城県延岡市の旭化成工場で火災 3,698世帯9,407名に避難勧告
	9	・田尻・三本木出張所へ2B型救急車配置	10	・小牛田町字桜木町で7棟を焼損する火災 焼失延面積447.77㎡	10	・三菱重工長崎造船所内で艤装工事中に豪華客船ダイヤモンドプリンセス号火災 総トン数113,000t
	11	・三本木防災センターに併設した三本木出張所開所 ・涌谷消防署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
15	3	・安田生命保険相互会社より寄贈された高規格救急車を小牛田分署に配置	3	・小牛田町北浦で金庫室に閉じ込められた2名の学生をタフモントチェンソー等を活用し、107分後に救出		
	4	・旧中新田町、旧宮崎町旧小野田町が合併し、加美町が誕生した。 1市11町の構成市町となる。 ・小牛田・鹿島台分署へ救急救命士を配置	5	・宮城県沖を震源とする地震（5/26 18:24）発生 マグニチュード7.1震度6弱 大崎管内火災1件（東北電力（株）宮城変電所変圧器火災）	6	・兵庫県神戸市西区伊川谷町で発生した建物火災で消防職員13名が死傷
	7	・鹿島台分署の2B型救急車を更新（宮城県補助整備事業）	7	・宮城県北部連続地震発生 1回目（7/26 0:13） マグニチュード5.6震度5強 2回目（7/26 7:13） マグニチュード6.4震度6強 3回目（7/26 16:56） マグニチュード5.5震度5強 〈7/26の地震による災害〉 大崎管内 罹災世帯数2,979、罹災人員8,883名、倒壊家屋 全壊102棟、半壊348棟、一部破損2,548棟	8	・三重県桑名郡多度町の三重ごみ固形燃料発電所でRDF貯蔵層から火災発生45日間に及ぶ消火活動消防職員2名死亡
	8	・三本木出張所へ連絡車を配置			9	・栃木県黒磯市ブリヂストン栃木工場で火災発生 40,885㎡のバンパー工場 1棟全焼 工場付近7地区1,708世帯・
	10	・岩出山分署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成15				火災 2 件（その他電柱1・ぼや建物収容物 1） 救急 1 5 件 その他 2 4 件		5,032名に避難指示 ・十勝沖地震発生(9/26) マグニチュード8.0震度6弱 負傷者849名 火災4件のうち苫小牧市の出光興産で屋外タンク貯蔵所から火災発生
16	3	・大崎地域メディカルコントロール協議会設立				
	4	・初の女性消防士採用 ・岩出山分署へ救急救命士を配置	4	・加美町宮崎で4棟全焼火災発生 死傷者 0 焼損面積678.8㎡ 第3出動15台(強風時) 放水台数5 放水口9		
	10	・岩出山分署の2B型救急車を更新（宮城県補助整備事業）			10	・新潟県中越地方を震源とする地震(10/23) マグニチュード6.8震度6強 死傷者1,239名 住宅損壊2,839棟 火災 1 1 件
					12	・インド洋スマトラ沖大地震(12/26) マグニチュード9
17	3	・消防LAN構築・ホームページ開設 http://oosakifire119.jp/ ・鳴子消防署の救助工作車を廃車し、更新する消防ポンプ車へ救助資機材を搭載し救助ポンプ車として運用開始（宮城県補助整備事業）			3	・福島県西方沖を震源とする地震(3/20) マグニチュード7震度5弱 死傷者 1 1 9 名 住宅損壊 1 2 1 棟
	4	・第13代消防長に工藤司氏就任 ・大崎地域広域行政事務組合、大崎中央環境組合、大崎東部環境衛生事務組合、六の国環境衛生組合の4組合、更に古川市・松山町・涌谷町の各斎場が統合し、大崎地域広域行政事務組合としてスタートする。 ・各消防署の指揮体制を強化、指揮隊の配置	5	・古川市北宮沢地内にて建物及び山林の火災 山林 1 ha焼失（県防災ヘリ出動） ・加美町字鹿原白沼地内、山菜取遭難 死者1名（県防災ヘリ出動）	4	・兵庫県尼崎市JR福知山線列車事故 死者 1 0 7 名 負傷者 5 4 9 名
			8	・宮城県沖を震源とする地震(8/16) マグニチュード7.2震度6弱	10	・パキスタン北部で地震発生(10/8) マグニチュード7.6
					12	・山形県庄内町JR羽越線脱線事故(12/25) 死者5名 負傷者32名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成18	1	・旧小牛田町，旧南郷町が合併し美里町が誕生した1市10町の構成市町となる。	5		1	・長崎県大村市グループホームやすらぎの里で火災発生 死者7名 負傷者3名
	2	・古川消防署大型水槽車更新(宮城県補助整備事業) ・消防隊と救急隊の連携による活動開始(PA連携出動)				
	3	・旧古川市，旧松山町，旧三本木町，旧鹿島台町，旧岩出山町，旧鳴子町，旧田尻町が合併し，大崎市が誕生した。1市4町の構成市町となる。 ・大崎市誕生に伴い涌谷消防署田尻出張所を古川消防署田尻出張所に再編				
	4	・3交替制の勤務体制の試行			5	・インドネシア・ジャワ島中部地震及び津波発生 死者6,200名以上 負傷者1,800名以上
	7	・消防本部司令車を更新			6	・梅雨前線豪雨 死者30名 行方不明2名 負傷者81名 住家全半壊1,558棟
					9	・台風13号と豪雨による被害 死者9名 行方不明1名 住家全半壊448棟
					11	・北海道佐呂間町にて竜巻発生 死者9名 負傷者29名 住家全半壊14棟

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成19	2	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車を小型動力ポンプ付水槽車に更新			1	・北海道北見市にてガス漏れ事故発生 3名死亡 付近住民77世帯178名に避難勧告 ・兵庫県宝塚市でカラオケボックス火災 死者3名 負傷者5名
	3	・救急普及啓発広報車配備（財団法人救急振興財団・財団法人日本宝くじ協会寄贈） ・中新田消防署高規格救急車更新（国庫補助事業）	3	・大崎市鳴子で4棟を焼損する火災が発生 焼失面積1,520.79㎡	3	・能登半島地震発生 マグニチュード6.9震度6強 死者1名 負傷者193名 住家全壊68棟 住家半壊164棟
	4	・指揮体制の効率的運用のため、消防本部指令課及び鳴子消防署に指揮隊を再編	4	・大崎市田尻大沢地内山林にて林野火災 約40a 焼失（県防災ヘリ出動）		
	7	・中新田消防署・涌谷消防署の指揮車を更新	6	・大崎市鳴子温泉鬼首地区にてパラグライダー墜落事故 防災ヘリにより吊り上げ救出	7	・新潟県中越沖地震発生 マグニチュード6.8震度6強 死者15名 負傷者2,345名 住家全壊1,319棟 住家半壊4,764棟
	11	・涌谷消防署高規格救急車更新（国庫補助事業）	10	・加美町字鹿原地内にて山岳遭難、防災ヘリによる救出		
			12	・加美町宮崎地区で4棟を焼損する火災が発生 死者5名 焼損面積335.72㎡		
	20	1・中新田消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新（市町村振興総合補助事業）				
	4	・第14代消防長に野田正志氏就任 ・3交替制の勤務体制の本実施 ・機構改革に伴う組織の改編を実施			6	・平成20年岩手・宮城内陸地震発生 マグニチュード7.2震度6強 死者9名 行方不明者8名 負傷者180名 住家全壊・大規模半壊43棟 住家半壊112棟
	7	・古川消防署・涌谷消防署の指揮車を更新	7	・（株）東北イノアック第二工場火災（建材製造課B棟） 焼損面積2,520.84㎡ 負傷者1名 損害額1億7,272万円	10	・大阪府大阪市浪速区で個室ビデオ店火災 死者15名 負傷者1名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成21	1	・ 鳴子消防署高規格救急車更新（施設整備事業） ・ 中新田消防署小野田出張所の救急車を高規格救急車へ更新（防災基盤整備事業）				
	2	・ 涌谷消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業）				
	4	・ 第15代消防長に坂野裕悦氏就任			5	・ 新型インフルエンザ（A/H1N1）流行 5月に小規模な地域的流行を認めたのち、約3ヶ月の小康状態を経て、8月中旬より半年以上をかけて流行
	7	・ 中新田査察車を更新				
22	1	・ 三本木救急車及び田尻救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業）	6	・ 大崎市古川千手寺町地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼4棟 焼損延面積285.93㎡ 部分焼・ぼや3棟 焼損表面積99.06㎡	3	・ 北海道札幌市北区でグループホーム火災 死者7名 負傷者2名
	7	・ 涌谷消防署、小牛田分署及び南郷派出所を統合し「遠田消防署」を開設（7/1）				
	12	・ 遠田査察車を更新 ・ 鹿島台救急車を高規格救急車に更新（日本損害保険協会より寄贈）	10	・ 大崎市鳴子温泉鬼首地区（鬼首地熱発電所）で火山性噴出発生 死者1名		
23	1	・ 岩出山救急車高規格救急車に更新（防災基盤整備事業） ・ 遠田消防署に10t水槽車を配備	3	・ 【東日本大震災】 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46） 〈大崎管内の状況〉 管内最大震度6強 死者6名 負傷者378名 住家全壊852棟、半壊3,647棟 ※大崎消防本部取りまとめ（平成23年12月26日現在）	3	・ 【東日本大震災】 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46） マクニチュート9 震度7 死者19,418名 行方不明者2,592名 負傷者6,220名 住家全壊121,809棟、半壊278,496棟、火災330件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成28年3月1日現在）
	4	・ 第16代消防長に角田正一氏就任 ・ 中新田消防署及び色麻派出所を統合し「加美消防署」を開設（4/26）				
	8	・ 田尻連絡車、古川査察車、鳴子査察車を更新			8	・ 静岡県浜松市天竜川で遊覧船転覆事故 死者5名 負傷者5名
	12	・ 古川救急1号車を更新（施設整備事業）				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成24	4	・古川消防署鹿島台分署及び松山派出所を統合し「古川消防署志田分署」を開設（4/27）			5	・広島県福山市でホテル火災 死者7名 負傷者3名
	11	・古川救急2号車を更新（施設整備事業）			9	・兵庫県姫路市で製造所爆発火災 死者1名（消防吏員） 負傷者36名
25	2	・鳴子消防署岩出山分署新庁舎を開設（2/14） ・田尻ポンプ車を更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業） ・遠田連絡車、小野田連絡車を更新			12	・山梨県中央自動車道笹子トンネル崩落事故 死者9名 負傷者2名
	3	・遠田救急1号車を更新（J A 共済連より寄贈） ・尾花沢市消防本部と消防相互応援協定締結			2	・長崎県長崎市でブルーホーム火災 死者5名 負傷者7名
	4	・第17代消防長に北舘善裕氏就任 ・消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備（平成23年度消防防災施設・設備災害復旧費補助事業）				
	7	・消防本部連絡車を更新			8	・京都府福知山市で花火大会火災 死者3名 負傷者56名
	10	・古川連絡車、志田連絡車、岩出山連絡車を更新			10	・福岡県福岡市で整形外科火災 死者10名 負傷者5名
					12	・千葉県野田市で廃油再生工場爆発火災 死者2名 負傷者15名
26	2	・加美消防署小野田出張所及び宮崎派出所を統合し「加美消防署西部分署」を開設（2/21）			1	・三重県四日市市で工場爆発事故 死者5名 負傷者13名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成26	2	・加美消防署西部分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債及び市町村振興総合補助事業）	4	・加美町字下原地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積497㎡ 部分焼2棟 焼損表面積48㎡ ・加美町字北原地区で8棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積280㎡ 部分焼3棟 焼損表面積2㎡ ・大崎市田尻蕪栗地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積652㎡ 部分焼1棟 焼損表面積64㎡	8	・8月豪雨による広島市の土砂災害 死者74名（内消防吏員1名） 負傷者69名
					9	・御嶽山噴火災害 死者57名 負傷者69名
					11	・長野県北部を震源とする地震 マグニチュード6.7 震度6弱 死者なし 負傷者46名 住家全壊50棟、半壊91棟
平成27	12	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車を更新（緊急防災・減災事業債）	1	・大崎市田尻北小牛田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟、半焼1棟 焼損延面積649㎡		
	2	・古川消防署田尻出張所を分署に格上げし「古川消防署田尻分署」を開設（2/17） ・古川消防署田尻分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債）				
	4	・第18代消防長に大久保記一朗氏就任			5	・川崎市簡易宿泊所火災 死者10名 負傷者18名
	7	・田尻連絡車を緊急車登録車両に更新				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成27			9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】 〈大崎管内の状況〉 負傷者1名 床上・床下浸水784棟 救助事案16件 その他災害事案36件 合計249名救出	9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】 平成27年9月9日から11日に 関東及び東北地方で発生した 豪雨災害 死者8名 負傷者80名
平成28	2	・古川化学消防ポンプ車を 更新（施設整備事業）	2	・加美町宮崎で4棟を焼損する 火災が発生 全焼2棟，部分焼2棟 焼損延面積578㎡	10	・広島市飲食店火災 死者3名 負傷者3名
					4	・平成28年熊本地震 マグニチュード7.3（暫定値） 震度7 死者69名 負傷者1,663名 住家全壊7,363棟 半壊21,981棟 火災16件 ※消防庁災害対策本部取り まとめ（平成28年6月10日現 在）

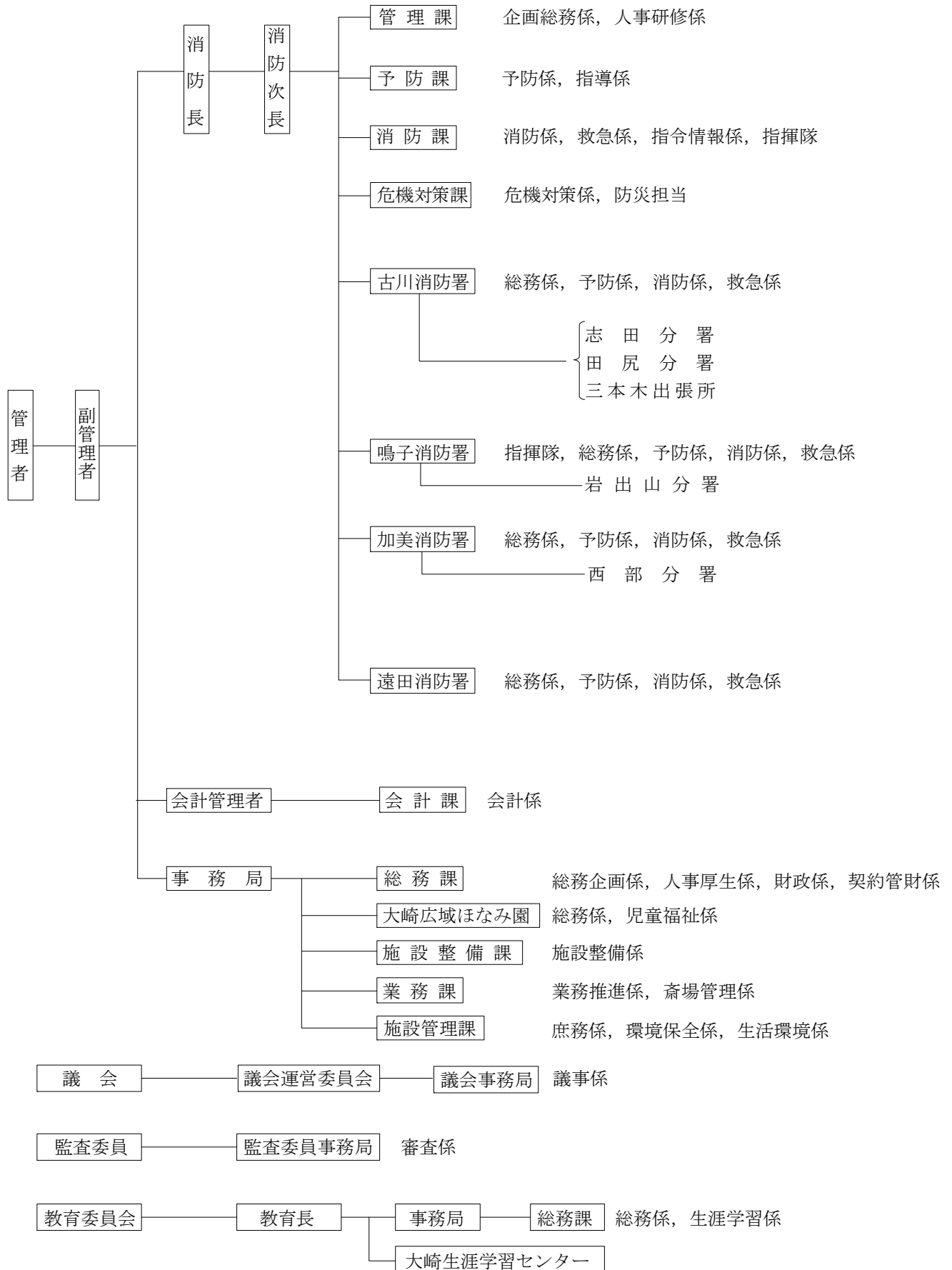
大崎地域広域行政事務組合構成市町の面積・世帯・人口

(平成28年4月1日現在)

区 別 市 町		面 積 (Km ²)	世帯数	人 口 (人)
大 崎 市		796.76	50,329	133,552
加 美 郡	色 麻 町	109.28	2,113	7,168
	加 美 町	460.67	8,072	24,431
	小 計	569.95	10,185	31,599
遠 田 郡	涌 谷 町	82.08	6,011	16,908
	美 里 町	74.90	8,960	25,063
	小 計	156.98	14,971	41,971
合 計		1,523.69	75,485	207,122

※ 構成市町への照会による統計

大崎地域広域行政事務組合機構図



消防本部事務分掌

管理課

企画総務係

- 1 事務の総合調整及び連絡に関する事。
- 2 消防業務の総合計画、調整及び改善に関する事。
- 3 条例、規則及び訓令の制定改廃に関する事。
- 4 儀式、行事及び交際に関する事。
- 5 予算の執行に関する事。
- 6 公印に関する事。
- 7 消防関係財産の取得、管理及び契約に関する事。
- 8 給与品、貸与品の支給及び保管に関する事。
- 9 庁用物品の調達、検収及び処分に関する事。
- 10 庁内取締りに関する事。
- 11 事務監察に関する事。
- 12 消防概況に関する事。
- 13 他の課の所管に属さない事項に関する事。

人事研修係

- 1 職員の任免、分限、懲戒、服務及び賞罰その他身分に関する事。
- 2 職員の給与、勤務時間及び勤務条件に関する事。
- 3 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- 4 職員の公務災害補償に関する事。
- 5 職員の研修計画及び実施に関する事。
- 6 各種表彰に関する事。

予防課

予 防 係

- 1 危険物の規制に関する事。
- 2 消防用設備等の規制に関する事。
- 3 建築物の建築確認に関する事。
- 4 防火管理者及び防災管理者に関する事。
- 5 火災予防条例に関する事。
- 6 液化石油ガス等に関する事。（権限移譲事務を含む。）

- 7 火薬類取締法に関する事。（権限移譲事務に限る。）
- 8 民間防火組織の育成に関する事。
- 9 その他火災予防対策に関する事。

指 導 係

- 1 予防査察に関する事。
- 2 危険物に係る事故調査に関する事。
- 3 違反処理における行政指導に関する事。
- 4 その他防火思想の普及に関する事。

消防課

消 防 係

- 1 災害の警戒及び防ぎょに関する事。
- 2 消防水利に関する事。
- 3 消防隊の運用に関する事。
- 4 救助隊の運用に関する事。
- 5 火災原因及び損害の調査に関する事。
- 6 り災証明等に関する事。
- 7 消防機械器具及び消防用車両の管理に関する事。
- 8 消防機械器具及び消防用車両の配置計画に関する事。
- 9 航空消防に関する事。
- 10 その他警防に関する事。

救 急 係

- 1 救急隊の運用に関する事。
- 2 救急対策に関する事。
- 3 救急技術に関する事。
- 4 救急資器材の管理に関する事。
- 5 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 6 民間による患者等搬送事業に関する事。
- 7 応急手当普及啓発に関する事。
- 8 その他救急に関する事。

指令情報係

- 1 消防通信設備等の総合企画調整に関する事。

- 2 災害発生通報の受付及び出動指令に関する
こと。
- 3 災害通信の運用，通信統制に関すること。
- 4 消防情報の支援，収集及び連絡調整，伝達
に関すること。
- 5 非常災害時における通信対策等に関するこ
と。
- 6 消防通信設備の保守管理に関すること。
- 7 災害に関する統計に関すること。
- 8 電子計算機等のデータ処理及び管理に関す
ること。
- 9 気象観測及び記録に関すること。
- 10 消防OA・消防LANの運用及び維持管理
に関すること。
- 11 その他指令情報に関すること。

指 揮 隊

- 1 災害現場の活動の統括管理に関すること。
- 2 災害現場の情報・安全管理に関すること。

危機対策課

危機対策係

- 1 消防団との連携に関すること。
- 2 消防本部と市町間の危機管理等の調整に関す
ること。
- 3 国民保護に関すること。
- 4 危機管理事案の調査研究に関すること。
- 5 職員に対する危機管理に関すること。
- 6 消防協会の事務に関すること。
- 7 その他危機対策に関すること。

防 災 担 当

- 1 消防本部災害対応と市町の地域防災計画との
調整に関すること。
- 2 緊急消防援助隊に関すること。
- 3 消防相互応援協定に関すること。
- 4 構成市町災害対策本部との調整に関すること。
- 5 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 6 その他防災に関すること。

消防署事務分掌

指 揮 隊

- 1 災害現場での安全管理
- 2 現場最高指揮者に対する指揮支援
- 3 活動方針及び部隊の増強に関する現場最高指揮者に対する進言
- 4 部隊管理
- 5 災害に関する高度な情報収集
- 6 現場本部開設及び閉鎖
- 7 引き揚げ時の情報引き継ぎ

総 務 係

- 1 署の運営に関すること。
- 2 文書の收受発送に関すること。
- 3 署員の配置，進退，賞罰及び身分に関すること。
- 4 署内における各種会議に関すること。
- 5 統計に関すること。
- 6 署員の福利厚生に関すること。
- 7 署員の研修に関すること。
- 8 署員の勤務，服務に関すること。
- 9 経理に関すること。
- 10 物品の出納保管に関すること。
- 11 消防庁舎の維持管理に関すること。
- 12 他の係の分掌に属さない事項。

予 防 係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 消防用設備等の規制に関すること。
- 3 建築物の建築確認に関すること。
- 4 火災予防条例に関すること。
- 5 液化石油ガス等に関すること。（権限移譲事務を含む。）
- 6 火薬類取締法に関すること。（権限移譲事務に限る。）
- 7 予防査察に関すること。
- 8 違反処理における行政指導に関すること。
- 9 危険物に係る事故調査に関すること。
- 10 防火防災管理及び危険物の取扱に関すること。
- 11 民間防火組織の育成指導に関すること。
- 12 その他火災予防の計画，指導及び取締り等に関すること。

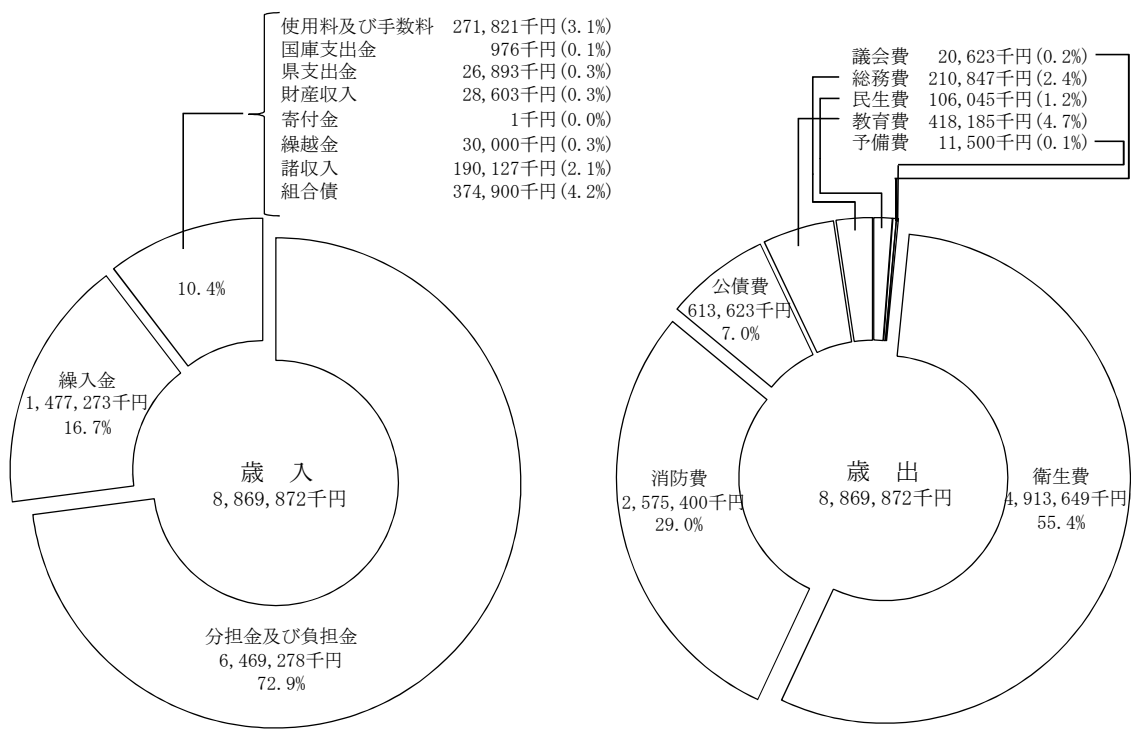
消 防 係

- 1 火災等の警防及び対策に関すること。
- 2 消防水利に関すること。
- 3 消防通信に関すること。
- 4 消防演習計画に関すること。
- 5 自衛消防隊に関すること。
- 6 避難訓練等の指導に関すること。
- 7 消防機械器具の維持管理に関すること。
- 8 火災原因及び損害調査に関すること。
- 9 火災証明等に関すること。
- 10 火災統計に関すること。
- 11 消防団との連携に関すること。
- 12 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 その他警防及び機械に関すること。

救 急 係

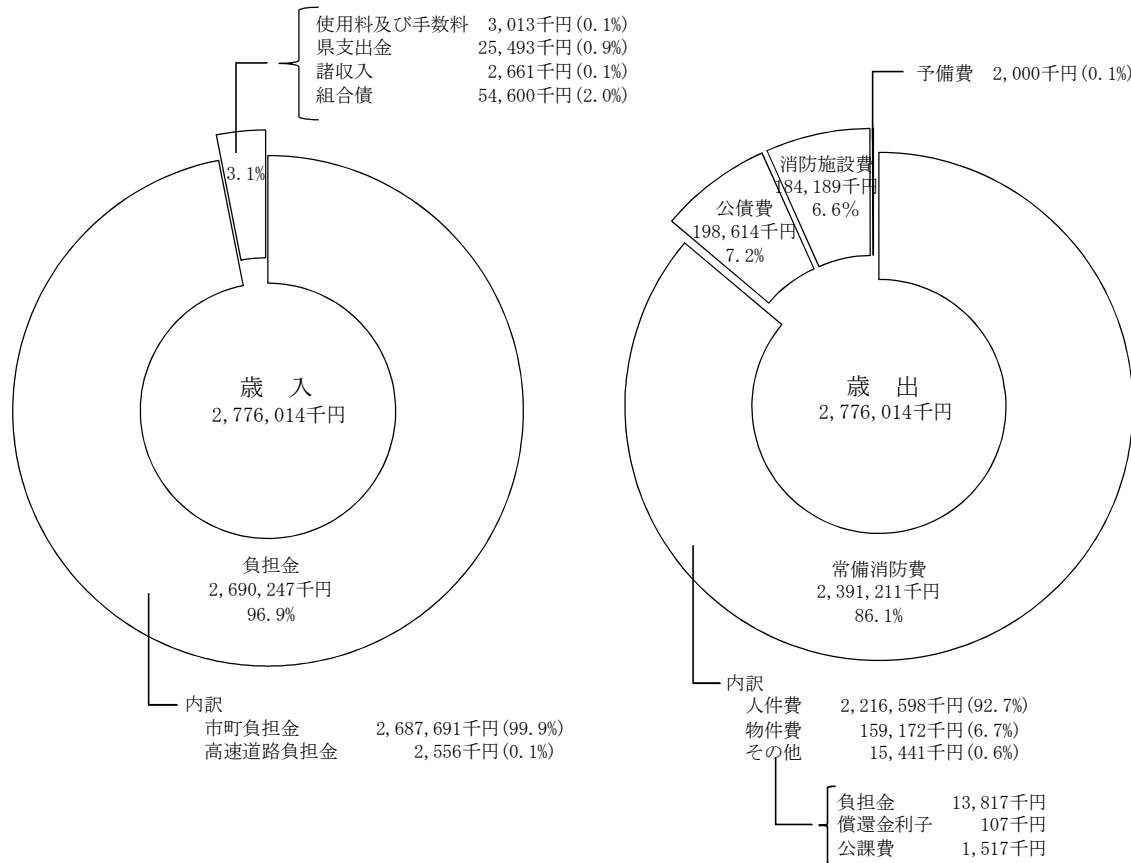
- 1 救急対策に関すること。
- 2 救急技術の訓練指導に関すること。
- 3 救急資器材の管理に関すること。
- 4 医療機関等との連絡調整に関すること。
- 5 民間による患者等搬送事業に関すること。
- 6 救急統計に関すること。
- 7 その他救急に関すること。

平成 2 8 年度 大崎地域広域行政事務組合一般会計予算概要



平成 2 8 年度 消防費当初予算

※この消防費には、消防事業分の公債費、予備費を含む。



施設（消防庁舎等）の現況

平成28年4月1日現在

区 分	所在地	建物区分	構造	階数	面 積		敷地面積 ㎡	設置 年度
					建築面積 ㎡	延面積 ㎡		
消防本部 古川消防署	大崎市古川 北町三丁目2-20	庁 舎	鉄 筋 コンクリート	3	984.28	2,783.14	3,253.73	S53
		主 訓 練 塔	鉄 骨	5	16.00	80.00		S54
		副 訓 練 塔	鉄 骨	2	16.00	32.00		S54
		消防防災資器 材保管倉庫	木 造	2	49.67	99.34		H7
		計			1,065.95	2,994.48		
古川消防署 志田分署	大崎市鹿島台 木間塚字小谷地269-1	庁 舎	鉄 骨	2	526.67	672.32	1,726.17	H24
古川消防署 田尻分署	大崎市田尻 沼部字新堀137-2	庁 舎	鉄 骨	1	640.39	626.36	1,611.87	H26
古川消防署 三本木出張所	大崎市三本木 字廻山65	庁 舎	鉄 骨 ・ モルタル	1	231.52	231.52	3,249.67	H14
鳴子消防署	大崎市鳴子温泉 字馬場70-2	庁 舎	鉄 筋 コンクリート	2	563.04	725.76	2,804.00	H2
		主 訓 練 塔	鉄 筋 コンクリート	5	39.51	156.00		H2
		副 訓 練 塔	鉄 骨	2	33.07	54.08		H2
		計			635.62	935.84		
鳴子消防署 岩出山分署	大崎市岩出山 上野目字街道下12-3	庁 舎	鉄 骨	2	520.05	653.23	2,203.33	H24
		除雪車車庫	鉄 骨	1	16.34	16.34		H25
		計			536.39	669.57		
加美消防署	加美郡加美町 字新川原106	庁 舎	鉄 骨	2	738.18	1,123.01	9,136.03	H23
		主 訓 練 塔	鉄 筋 コンクリート	3	123.25	341.19		H23
		副 訓 練 塔	鉄 骨	2	75.58	120.00		H23
		駐 輪 場	鉄 骨	1	11.52	11.52		H23
		計			948.53	1,595.72		
加美消防署 西部分署	加美郡加美町 字原町南百ヶ清水30-7	庁 舎	鉄 骨	2	462.53	658.96	1,942.93	H25
		除雪車車庫	鉄 骨	1	16.48	16.48		H25
		計			479.01	675.44		
遠田消防署	遠田郡涌谷町 字関谷沖名303-1	庁 舎	鉄 骨	2	919.48	1,410.33	7,259.78	H22
		訓 練 塔 A	鉄 筋 コンクリート	3	50.20	150.00		H22
		訓 練 塔 B	鉄 骨	5	69.27	216.40		H22
		訓 練 塔 C	鉄 骨	3	183.79	414.85		H22
		駐 輪 場	そ の 他	1	11.34	11.34		H22
		計			1,234.08	2,202.92		
岩渕基地局	大崎市鳴子温泉 字岩渕8、字大畑37の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	162.41	H24
鬼首基地局	大崎市鳴子温泉 鬼首字八幡原34-1の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
葉菜基地局	加美郡加美町 字味ヶ袋葉菜原1-79の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
篋岳基地局	遠田郡涌谷町 篋岳字神楽岡51-2の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	150.01	H24

消防力の整備指針と現有消防力

平成28年4月1日現在

区 分		基 準	現 有	過不足数	充 足 率
署 所 の 数		10	9	△ 1	90.0%
車 両	指 揮 車	4	4	0	100.0%
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	17	17	0	100.0%
	は し ご 車	2	2	0	100.0%
	化 学 消 防 車	1	1	0	100.0%
	救 急 自 動 車	11	11	0	100.0%
	救 助 工 作 車	1	1	0	100.0%
	非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	0	100.0%
	非 常 用 救 急 自 動 車	2	2	0	100.0%
	特 殊 車 等		13	13	
計		40	53	13	
人 員	警 防 要 員	316	252	△ 64	79.7%
	予 防 要 員	24	12	△ 12	50.0%
	通 信 要 員	10	9	△ 1	90.0%
	庶 務 の 要 員	38	42	4	110.5%
	計	388	315	△ 73	81.2%

※基準については、平成27年度消防施設整備計画実態調査に基づき算出したものである。

※署所の不足数は、大崎市古川市街地分である。

※特殊車等の現有内訳は、司令車1台、資機材搬送車1台、大型水槽車3台、支援車8台である。

※警防要員の基準は、消防隊員、救急隊員、救助隊員、指揮隊員数の合計である。

※庶務の要員は、管理職、本部及び各署日勤(予防要員除く)、派遣・出向職員数である。

所属別・階級別配置状況

平成28年4月1日現在

		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	計	毎 日 勤 務	交 代 制 勤 務
消 防 本 部	消防長	1									1	1	
	次長		1								1	1	
	管理課		1	2	2	1	1				7	7	
	(派遣)		1		1	4	1				7	7	
	予防課			2	1						3	3	
	消防課			2	2		1				5	5	
	(通信指令センター)				3	3	3				9		9
	(指揮隊)				3	3	3				9		9
	(派遣)					1					1	1	
	危機対策課			2		1					3	3	
小 計		1	3	8	12	13	9	0	0	0	46	28	18
古川消防署			1	1	6	13	15		21		57	8	49
志田分署				1		6	7		6		20	2	18
田尻分署				1		6	7		6		20	2	18
三本木出張所					1	3	4		3		11	2	9
小 計		0	1	3	7	28	33	0	36	0	108	14	94
鳴子消防署				2	9	8	7		14		40	4	36
岩出山分署				1		6	7	1	5		20	2	18
小 計		0	0	3	9	14	14	1	19	0	60	6	54
加美消防署				2	5	9	9		11		36	4	32
西部分署				1		6	7		6		20	2	18
小 計		0	0	3	5	15	16	0	17	0	56	6	50
遠田消防署				2	5	9	12		17		45	5	40
小 計		0	0	2	5	9	12	0	17	0	45	5	40
合 計		1	4	19	38	79	84	1	89	0	315	59	256
備 考		1 派遣職員8名の内訳は、総務省1名、宮城県消防課1名、宮城県消防学校2名、防災ヘリ1名、大崎市2名、事務局1名である。(管理課7名・消防課1名) 2 再任用職員4名の内訳は、係長職2名(志田分署、加美消防署)、消防士長2名(田尻分署、遠田消防署)である。											

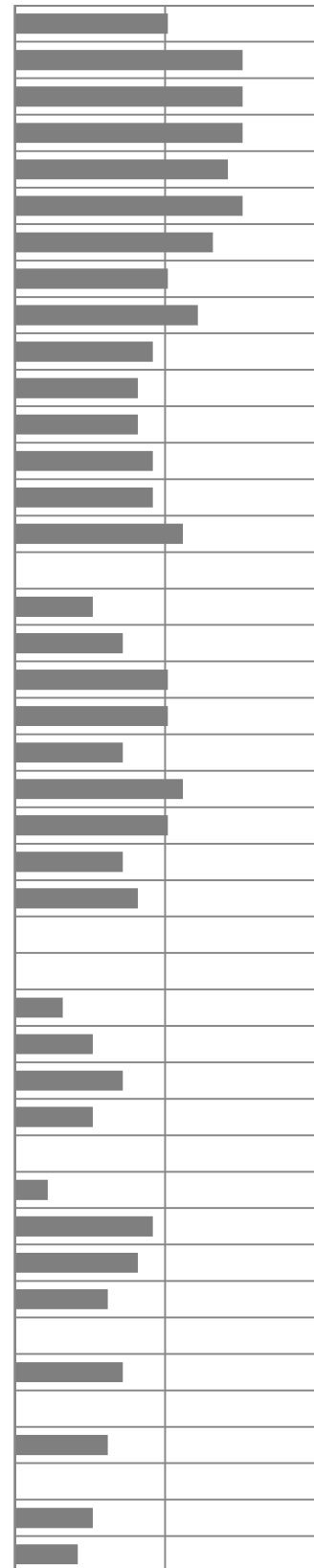
階級・年齢・退職年度別構成表（平成28年4月1日）

退職年	年齢	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
H28年度	59		2	1	2	1	1			7
H29年度	58			1	1					2
H30年度	57	1		3	1	1				6
H31年度	56		1	1	2					4
H32年度	55		1	2	2	2				7
H33年度	54			2		1				3
H34年度	53			2	1	2				5
H35年度	52				2	2				4
H36年度	51			3	2	2				7
H37年度	50			1	1					2
H38年度	49				2					2
H39年度	48			1		3				4
H40年度	47			1	4					5
H41年度	46				3					3
H42年度	45			1	2	1				4
H43年度	44				1	1				2
H44年度	43					2				2
H45年度	42				1	8	4			13
H46年度	41				4	2	3			9
H47年度	40				3	7	6			16
H48年度	39				1	4	3			8
H49年度	38					5	1			6
H50年度	37				1	7	1	1		10
H51年度	36				1	8	3			12
H52年度	35				1	4	3			8
H53年度	34					4	2			6
H54年度	33					5	4			9
H55年度	32					3	7			10
H56年度	31					1	9		1	11
H57年度	30						8		2	10
H58年度	29					1	8			9
H59年度	28						6		5	11
H60年度	27						5		9	14
H61年度	26						4		6	10
H62年度	25						3		6	9
H63年度	24						1		18	19
H64年度	23								12	12
H65年度	22								4	4
H66年度	21								7	7
H67年度	20								11	11
H68年度	19								6	6
H69年度	18								2	2
再任用						2	2			4
総計		1	4	19	38	79	84	1	89	315

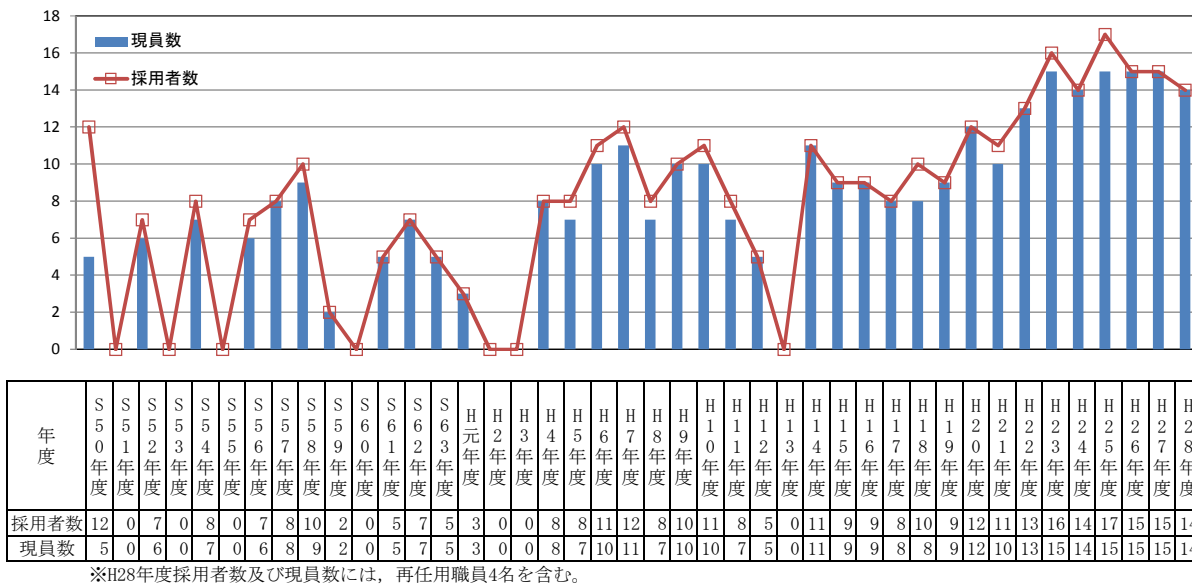


勤続年数別構成表（平成28年4月1日）

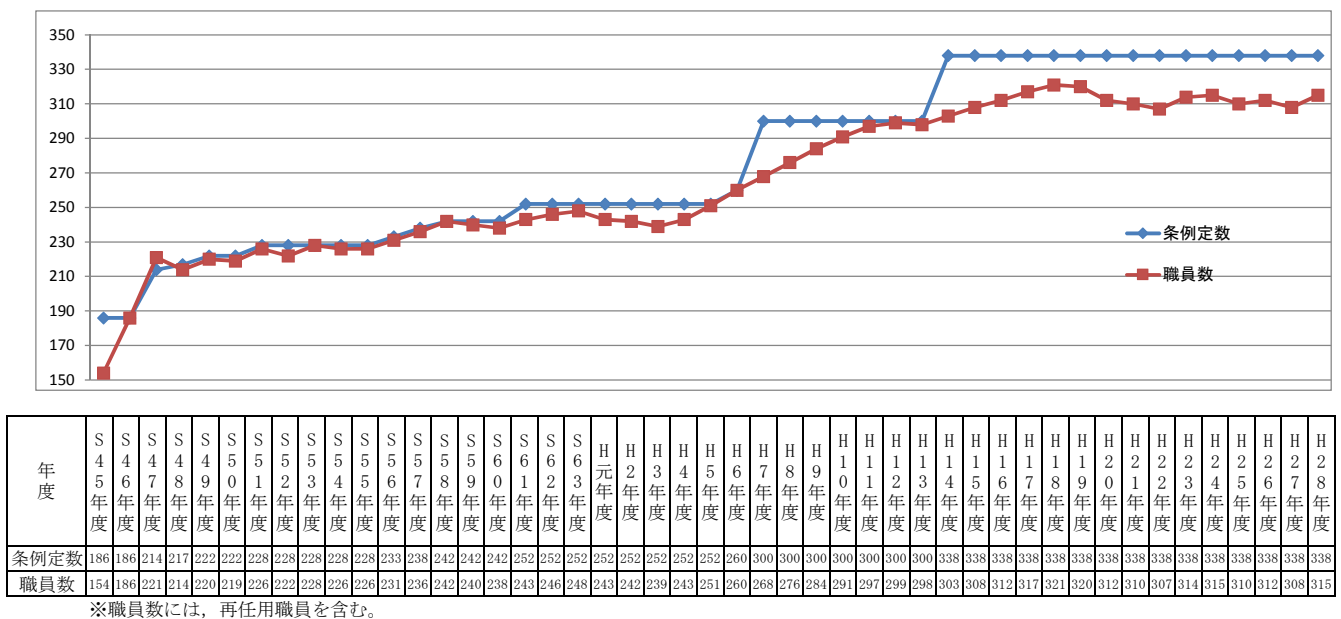
勤続年数	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
0								10	10
1								15	15
2								15	15
3								15	15
4						2		12	14
5						5		10	15
6						9		4	13
7					1	5		4	10
8						11		1	12
9						6		3	9
10					3	5			8
11					1	7			8
12					4	5			9
13					7	2			9
14					8	3			11
15									0
16				1	3	1			5
17				3	3	1			7
18				1	6	2	1		10
19				4	4	2			10
20				2	4	1			7
21				1	7	3			11
22			1	1	2	6			10
23				1	3	3			7
24					6	2			8
25									0
26									0
27				2	1				3
28				5					5
29			1	4	2				7
30			1	3	1				5
31									0
32			1	1					2
33			6	1	2				9
34		1	2	1	4				8
35	1	1	2		2				6
36									0
37		1	1	3	2				7
38									0
39			3	2	1				6
40									0
41		1	1	2		1			5
再任用					2	2			4
総計	1	4	19	38	79	84	1	89	315



年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数



職員数と条例定数の推移



警

防



災害出動計画基準表

災害種別(火災)

平成28年4月1日現在

出動計画 区 分		出動区分・車両数				摘 要	
		車 両	第1出動	第2出動	第3出動		
建 物	普 通 建 物 (中高層及び大規模 建物以外の建物)	指揮車	1(2)				
		ポンプ車・タンク車	5	2	2		
		救急車	1	1			
		計	7(8)	3	2		
	中 高 層 建 物 (3階以上の建物)	指揮車	1(2)				
		ポンプ車・タンク車	7	2	2		
		はしご車	1	1			
		工作車		1			
		救急車	2	1	1		
		計	11(12)	5	3		
	大 規 模 建 物 (建物延べ面積1,000㎡ 以上の建物)	指揮車	1(2)				
		ポンプ車・タンク車	7	2	2		
		水槽車	1				
		工作車		1			
		救急車	2	1	1		
		計	11(12)	4	3		
	林 野		指揮車	1(2)			
			ポンプ車・タンク車	5	2	2	
計			6(7)	2	2		
車 両		指揮車	1(2)				
		ポンプ車・タンク車	3(4)	2	2		
		救急車	1	2	2		
		化学車	危険物関係車両火災時特命出動				
		計	5(6)	4	4		
危険物施設等 (特殊災害)		指揮車	1(2)				
		ポンプ車・タンク車	7	2	2		
		水槽車	1				
		化学車	1				
		工作車		1			
		救急車	2	2	2		
		計	12(13)	5	4		
そ の 他		指揮車	1(2)				
		ポンプ車・タンク車	3(4)	2	2		
		計	4(6)	2	2		

災害種別(救急)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動		
救 急	救急車	1	1		同一救急に3隊以上の出動は消防長特命出動とする。
	計	1	1		

災害種別(救急救助)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動	第3出動	
救 急 救 助	指揮車	1(2)			
	ポンプ車・タンク車	1(2)	1		
	工作車	1	1	1	
	救急車	1	2	3	
	計	4(6)	4	4	

災害種別(その他)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動		
その他災害	ポンプ車・タンク車	1(2)	1		
	計	1(2)	1		
地震災害	ポンプ車・タンク車	1(2)	1(0)		大消ポンプ車及び大消救急車の特命出動
	工作車	1(0)	0(1)		
	救急車		1		
	計	2	2		

※ 第1出動, 第2出動の()書きは, 出動指令時の災害発生場所又は災害状況に応じた増隊等後の車両数

非常配備体制

平成28年4月1日現在

種 別 課・署所別			規程第16条の非常配備基準 (日勤時は、日勤者を優先して配備する)			非常災害警防 活動実施命令 (第52条)
			第一次非常配備	第二次非常配備	第三次非常配備	
消防本部	危機対策課		2名	+1名	全職員	全職員
	予防課			2名	+2名以上	全職員
	管理課			2名	+2名以上	全職員
	消防課	管制	1名	+2名	+3名以上	全職員
		指揮	1名	+3名	全職員	全職員
古川消防署			15名	+9名	+27名以上	全職員
古川消防署			6名	+3名	+15名以上	全職員
志田分署			3名	+2名	+5名以上	全職員
田尻分署			3名	+2名	+5名以上	全職員
三本木出張所			3名	+2名	+2名以上	全職員
鳴子消防署			6名	+4名	+17名以上	全職員
鳴子消防署			2名	+2名	+12名以上	全職員
岩出山分署			4名	+2名	+5名以上	全職員
加美消防署			7名	+5名	+15名以上	全職員
加美消防署			3名	+3名	+10名以上	全職員
西部分署			4名	+2名	+5名以上	全職員
遠田消防署			3名	+3名	+10名	全職員
配備 体制 の 移行	署		警防隊・救助隊1隊4名 古川救助隊を専任・遠田第2救急隊を専任	鳴子指揮隊1名 古川・加美・遠田指揮車隊2名の確保 通信1名	第三次非常配備命令により規程第52条の非常災害警防活動の実施体制を確立するものとする。	
	分 署		救急隊を専任 警防隊2隊(各3名)	警防隊1隊のみ4名 通信 1名		
	出 張 所		救急隊を専任 警防隊1隊3名	警防隊1隊4名 通信 1名		

消防車両配置表

平成28年4月1日現在

種別 署所別	計	消防車両						救急車	その他の車両						
		大型水槽車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車		司令・指揮車	連絡車	査察車	広報車	救急広報車	搬送車	ホイールローダー
消防本部	11(4)			2(2)				2(2)	1	2		2	1	1	
古川消防署	22	1	2	4	1	1	1	5	1	5	1	0	0	0	0
古川消防署	11	1		1	1	1	1	2	1	2	1				
志田分署	4		1	1				1		1					
田尻分署	4		1	1				1		1					
三本木出張所	3			1				1		1					
鳴子消防署	12	0	2	2	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2
鳴子消防署	7		1	1	1			1	1		1				1
岩出山分署	5		1	1				1		1					1
加美消防署	12	1	2	2	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2
加美消防署	7	1	1	1				1	1		1				1
西部分署	5		1	1				1		1					1
遠田消防署	8	1	1	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0
遠田消防署	8	1	1	1				2	1	1	1				
計	65(4)	3	7	11(2)	2	1	1	13(2)	5	10	4	2	1	1	4

※()内は非常用

所属名	登録年月	種 別	車 両 性 能 等	積載無線局名
消防本部	平成 6年12月	非常用ポンプ車	CD－I 型ポンプ車	だいしょうぼんぷ 1
〃	平成 7年 12月	非常用ポンプ車	I型 水槽1,000ℓ 薬槽300ℓ	だいしょうぼんぷ 2
〃	平成13年 3月	非常用救急車	ニッサンパラメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう 1
〃	平成13年 3月	非常用救急車	ニッサンパラメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう 2
〃	平成18年 6月	司 令 車	SUVタイプ2,700cc(ガソリン車)	だいしょうしれい 1
〃	平成17年 7月	広 報 車	バンタイプ2000cc(ガソリン車)	
〃	平成19年 1月	救急啓発広報車	ニッサンシビリアン (救急振興財団寄贈)	
〃	平成10年 7月	資機材搬送車	トラックタイプ2t車	だいしょうはんそう 1
〃	平成23年 8月	連 絡 車	軽乗用車	
〃	平成25年 3月	広 報 車	ステーションワゴン2000cc(ガソリン車)	
〃	平成25年 7月	連 絡 車	プリウス(ハイブリット車)	
古川消防署	平成18年 2月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	ふるかわすいそう 1
〃	平成11年12月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	ふるかわぼんぷ 1
〃	平成 5年10月	は し ご 車	35m級(最大地上高36m)	ふるかわはしご 1
〃	平成 8年 3月	救助工作車	Ⅲ型(油圧ウインチ・照明装置付)	ふるかわきゅうじょ 1
〃	平成28年 1月	化 学 車	Ⅱ型 水槽1,500ℓ 薬槽500ℓ	ふるかわたんく 1
〃	平成23年12月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう 1
〃	平成24年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう 2
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	ふるかわしき 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成23年 7月	連 絡 車	軽ワゴン車	
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	ふるかわささつ 1
志田分署	平成 8年 1月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500ℓ水槽付)	しだたんく 1
〃	平成12年11月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	しだぼんぷ 1
〃	平成22年12月	高規格救急車	ニッサンパラメディック (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	しだきゅうきゅう 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	しだれんらく 1
田尻分署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500ℓ水槽付)	たじりたんく 1
〃	平成25年 2月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	たじりぼんぷ 1
〃	平成22年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	たじりきゅうきゅう 1
〃	平成27年 7月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	たじりれんらく 1
三本木出張所	平成 9年 2月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	さんぼんぎぼんぷ 1
〃	平成22年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	さんぼんぎきゅうきゅう 1
〃	平成15年 8月	連 絡 車	軽ワゴン車	

所属名	登録年月	種 別	車 両 性 能 等	積載無線局名
鳴子消防署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	な る こ た ん く 1
〃	平成17年 3月	救助ポンプ車	CDーⅠ型(救助ポンプ車)	なるこきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成13年 7月	は し ご 車	15m級(最大地上高15.9m)	な る こ は し ご 1
〃	平成21年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	なるこきゅうきゅう 1
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	な る こ し き 1
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	な る こ さ さ つ 1
〃	平成20年11月	ホイールローダー	鳴子除雪車・災害対応車	
岩出山分署	平成15年10月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	いわでやまたんく 1
〃	平成 9年12月	普通ポンプ車	CDーⅠ型ポンプ車	いわでやまぼんぷ 1
〃	平成23年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	いわでやまきゅうきゅう 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	いわでやまれんらく 1
〃	平成26年1月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
加美消防署	平成19年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽5,000ℓ	か み す い そ う 1
〃	平成13年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	か み た ん く 1
〃	平成20年 1月	救助ポンプ車	CDーⅠ型ポンプ車(救助ポンプ車)	かみきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成19年 3月	高規格救急車	トヨタハイメディック	か み き ゅ う き ゅ う 1
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000CC(ガソリン車)	か み し き 1
〃	平成21年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	か み さ さ つ 1
〃	平成23年12月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
西部分署	平成26年 1月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	せ い ぶ た ん く 1
〃	平成 9年10月	普通ポンプ車	CDーⅠ型ポンプ車(600ℓ水槽付)	せ い ぶ ぼ ん ぷ 1
〃	平成21年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	せ い ぶ き ゅ う き ゅ う 1
〃	平成25年 2月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	せ い ぶ れ ん ら く 1
〃	平成26年10月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
遠田消防署	平成23年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	と お だ す い そ う 1
〃	平成14年11月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	と お だ た ん く 1
〃	平成21年2月	救助ポンプ車	CDーⅠ型(救助ポンプ車) (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	とおだきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成25年 3月	高規格救急車	トヨタハイメディック (JA共済連寄贈)	とおだきゅうきゅう 1
〃	平成19年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	とおだきゅうきゅう 2
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	と お だ し き 1
〃	平成22年 6月	査 察 車	軽ワゴン車	と お だ さ さ つ 1
〃	平成25年 1月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	

消 防 隊 出 動 状 況

平成27年1月1日～平成27年12月31日

区分 署所		合 計	火 災	救 助 活 動	内 管 外	風 水 害 等	演 習 訓 練	訓 練 指 導	警 防 調 査	原 因 調 査	特 別 警 戒	遭 難	予 防 査 察	そ の 他	内 管 外
古 川	出動回数	1,696	111	86		13	73	98	72	13	194		222	814	44
	台数	2,796	184	132		31	81	133	124	19	454		380	1,258	53
	人員	6,299	468	349		86	193	330	305	52	1,139		702	2,675	87
志 田	出動回数	623	17	2		3	6	44	92	8	57		86	308	
	台数	1,080	31	10		3	7	69	174	12	152		129	493	
	人員	2,669	86	29		10	22	174	485	33	394		377	1,059	
三本木	出動回数	246	13	2		5	1	8	32	4	76		38	67	
	台数	357	19	8		8	1	10	53	7	100		52	99	
	人員	863	64	27		24	3	25	130	16	225		117	232	
田 尻	出動回数	425	15	6			8	28	18		38		48	264	
	台数	614	30	8			9	38	24		75		61	369	
	人員	1,491	80	21			21	104	62		201		163	839	
鳴 子	出動回数	951	6	30		4	17	13	107	5	184		66	519	
	台数	1,506	28	48		5	24	16	178	7	292		107	801	
	人員	3,481	78	136		16	71	42	440	23	688		254	1,733	
岩出山	出動回数	552	15	5		2	2	23	43	1	128		44	289	
	台数	993	21	10		4	4	41	66	3	256		97	491	
	人員	2,408	61	29		12	15	114	179	10	671		257	1,060	
加 美	出動回数	1,104	53	24		9	15	35	61	3	196		163	545	1
	台数	1,756	74	38		12	22	64	97	5	344		223	877	1
	人員	3,884	181	113		33	49	160	234	13	805		487	1,809	1
西 部	出動回数	574	17	4		3	8	25	43	2	126		48	298	
	台数	864	20	6		5	10	36	61	4	203		64	455	
	人員	2,123	61	18		17	29	91	172	12	510		177	1,036	
遠 田	出動回数	1,109	46	20		7	20	53	39	11	151		88	674	
	台数	1,680	77	36		7	20	71	53	15	233		129	1,039	
	人員	4,112	225	111		23	48	187	152	50	687		285	2,344	
合 計	出動回数	7,280	293	179	0	46	150	327	507	47	1,150	0	803	3,778	45
	台数	11,646	484	296	0	75	178	478	830	72	2,109	0	1,242	5,882	54
	人員	27,330	1,304	833	0	221	451	1,227	2,159	209	5,320	0	2,819	12,787	88

※ 演習訓練とは、消防機関又は関係機関と合同で行う演習・訓練のために消防車両が出動した状況である。
 訓練指導とは、住民や自衛消防隊が行う消防訓練に対する指導のため出動した状況である。
 警防調査とは、地水利・危険区域・対象物調査等に出動した状況である。

消防水利の現況

平成28年4月1日 現在

施設別 市町村別			大 崎 市	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	合 計
消 火 栓	小計(A)		1,859	128	426	249	429	3,091
	公設		1,809	128	425	249	425	3,036
	私設		50		1		4	55
防 火 水 槽	小計	100㎡以上	12	0	1	3	2	18
		100㎡未満～40㎡	554	33	128	121	118	954
		40㎡未満～20㎡	70	0	8	11	78	167
	合計(B)		636	33	137	135	198	1,139
	公 設	100㎡以上	3			3		6
		100㎡未満～40㎡	454	32	118	118	111	833
		40㎡未満～20㎡	54		2	10	76	142
	公 設 うち耐震性	100㎡以上						0
		100㎡未満～40㎡	41	21	8	28	27	125
		40㎡未満～20㎡	1					1
	私 設	100㎡以上	9		1		2	12
		100㎡未満～40㎡	100	1	10	3	7	121
		40㎡未満～20㎡	16		6	1	2	25
	私 設 うち耐震性	100㎡以上						0
		100㎡未満～40㎡	1					1
		40㎡未満～20㎡						0
そ の 他	小計(C)		97	4	17	8	11	137
	プー ル		49	4	8	8	9	78
	河 川							0
	ごう・池等		47		9		2	58
	井 戸							0
	工業用水							0
	掘抜消火栓							0
	その他		1					1
合 計(A+B+C)			2,592	165	580	392	638	4,367

火災の現況と動向

平成27年中における総出火件数は74件であり、約4.9日に1件の割合で発生したことになります。前年と比べますと9件の減少となりました。

この総出火件数は、昭和45年に統計をとり始めてから最も少ない件数になりました。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が33件（前年比4件減）44.6%、林野火災1件（前年比5件減）1.4%、車両火災8件（前年比1件減）10.8%、その他火災32件（前年比1件増）43.2%となりました。

市町別ごとの出火件数は、大崎市46件（62.2%）、色麻町3件（4%）加美町12件（16.2%）、涌谷町6件（8.1%）、美里町7件（9.5%）となりました。

火災によって亡くなられた人は3名で前年より4名減少し、火災種別ごとの死者発生状況は、建物火災2名、その他火災1名となりました。

火災による損害額は1億3,995万9千円で、前年と比較すると、6,910万8千円少なくなりました。

出火原因につきましては、「火入れ」が10件、次いで「電灯等配線」7件、「放火」と「ストーブ」がそれぞれ6件、「放火の疑い」と「たき火」がそれぞれ4件の順となっています。

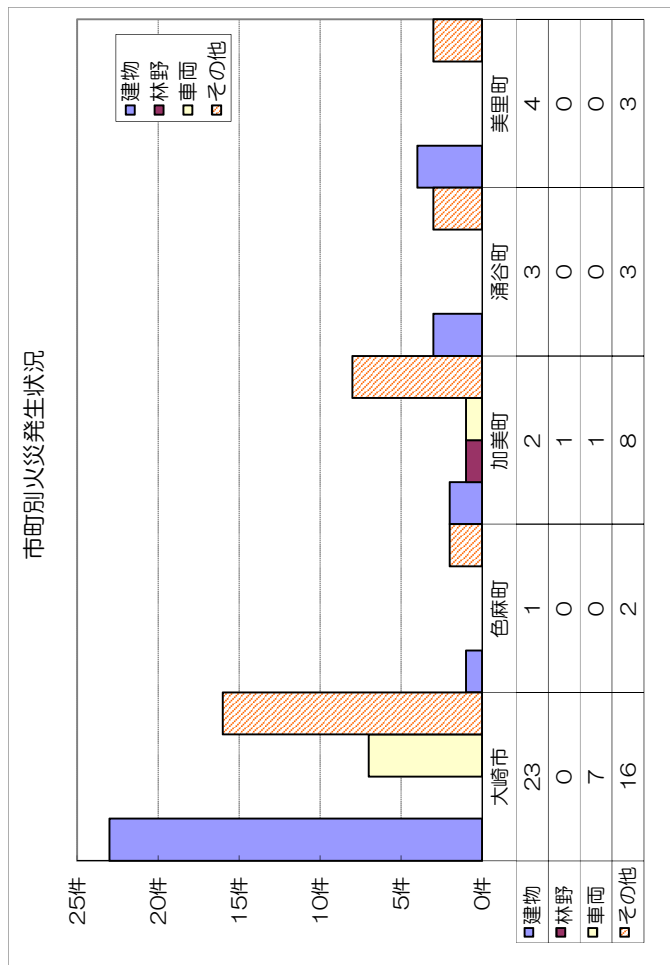
近年の出火原因は、全国的にも「放火・放火の疑い」が1位となっており、家の周りに燃えやすい物を置かない等、放火対策が必要となります。また、「たばこ」や「こんろ」による火災也多発しており、住民一人ひとりの防火意識の高揚を目指し、更なる防火指導・広報の充実を図ってまいります。

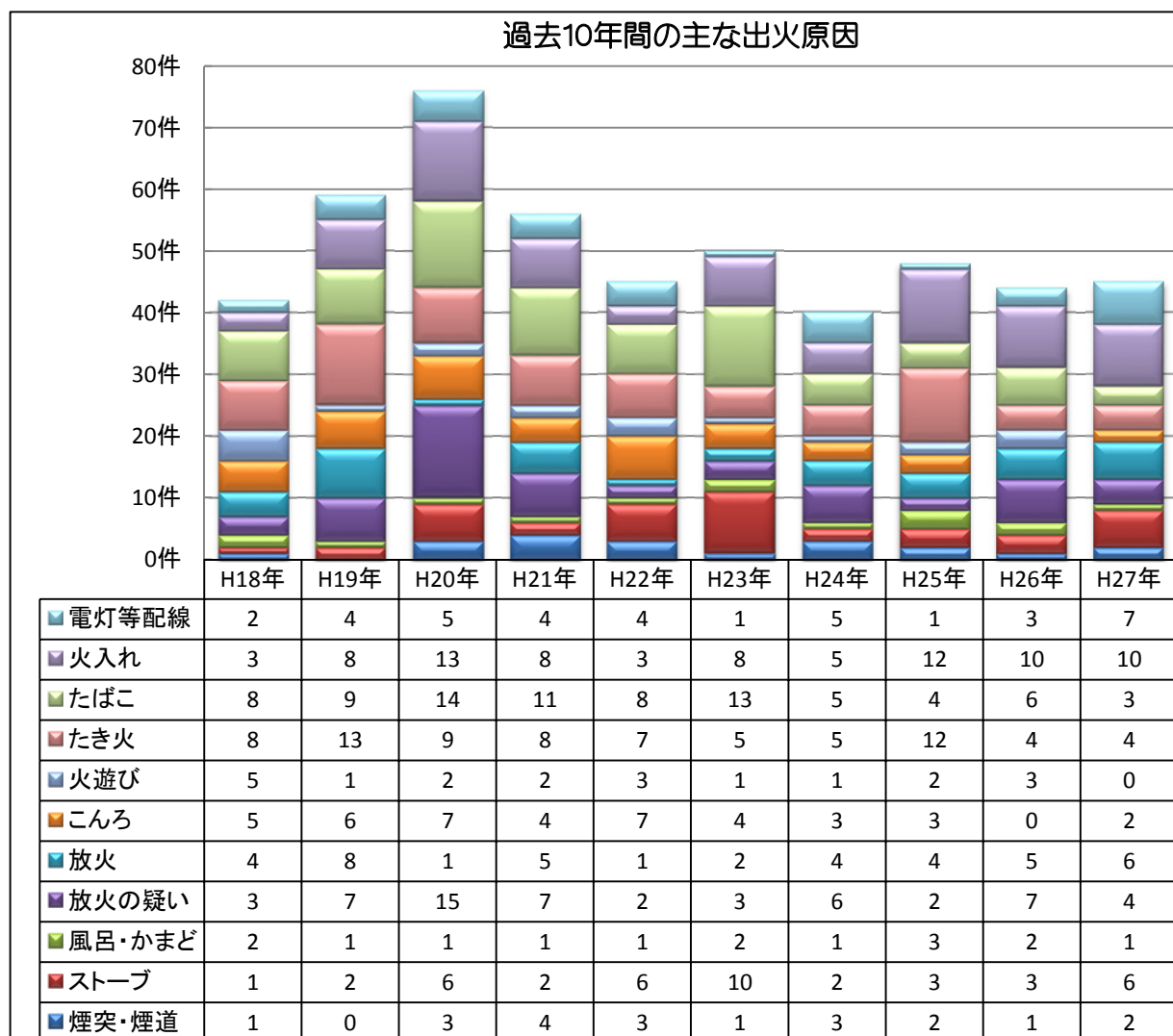
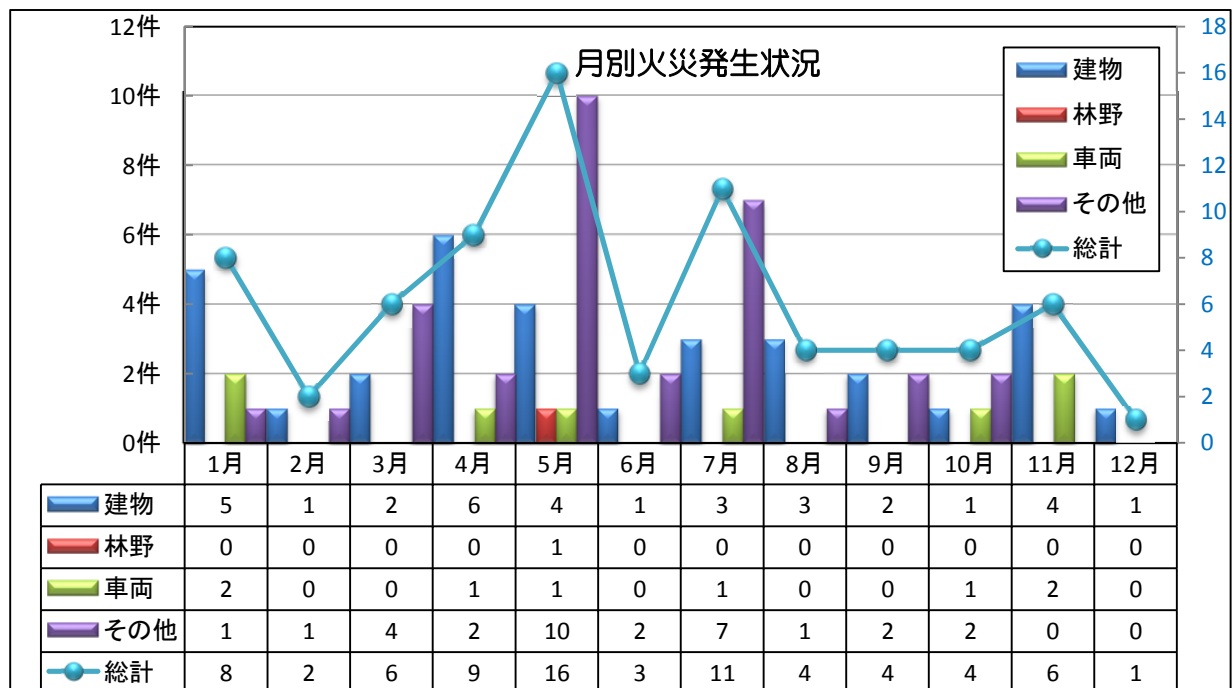
平成27年市町別火災発生状況

平成27年1月1日～平成27年12月31日

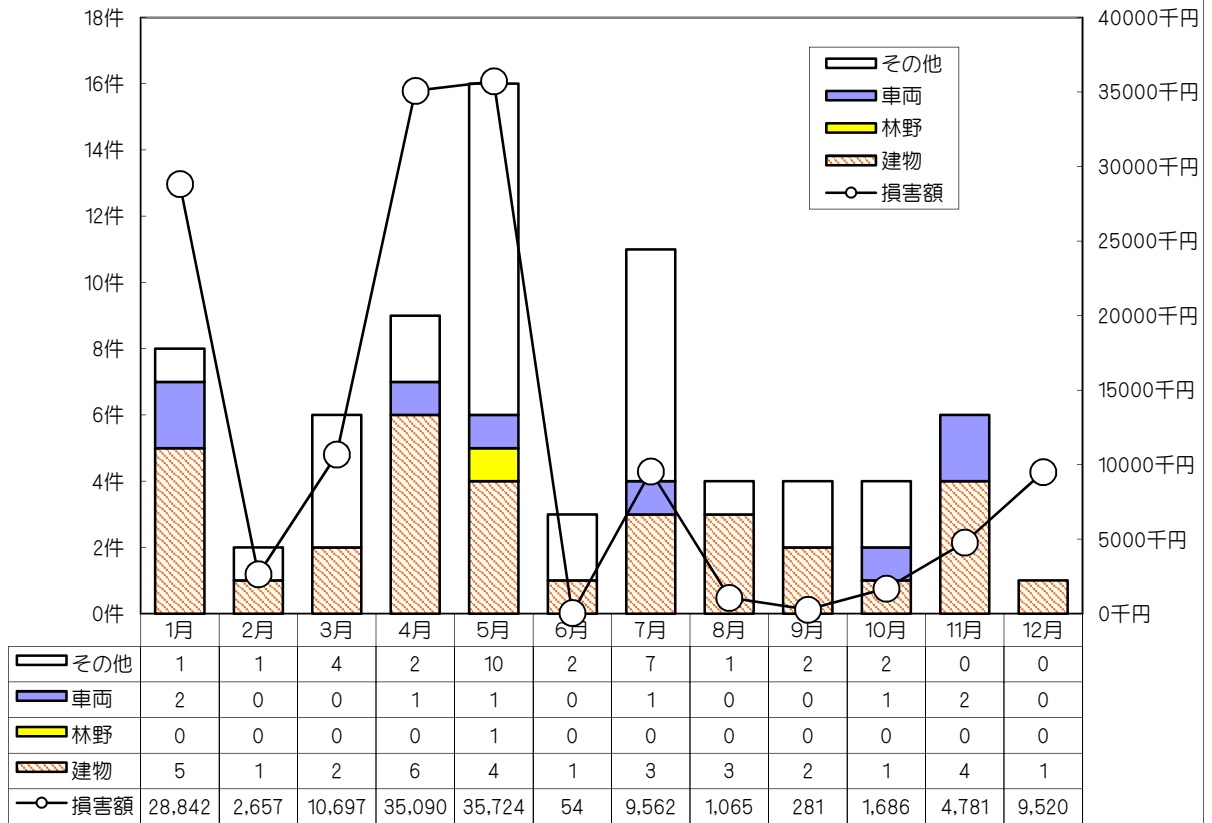
	火 災 件 数				焼損 棟数	り 災		死者	負傷者	世帯数	人 口	一万 人 当 り 出 火 率	損 害 額 (円)					焼 損 面 積		
	合計	建物	林野	車両		その他	世帯						人員	総 額 (千円)	一件当り (千円)	一世帯当り (円)	一人当り (円)	建物面積 (㎡)	一件当り (㎡)	林野面積 (a)
大崎市	46	23	0	7	16	44	17	50	2	6	50,211	134,048	3.43	115,015	2,500	2,291	858	2,975	129.3	0
色麻町	3	1	0	0	2	2	1	3	0	1	2,117	7,292	4.11	5,207	1,736	2,460	714	225	225.0	0
加美町	12	2	1	1	8	4	2	9	0	0	8,071	24,554	4.89	9,186	766	1,138	374	234	117.0	1
涌谷町	6	3	0	0	3	5	2	7	0	0	6,005	17,000	3.53	4,422	737	736	260	313	104.3	0
美里町	7	4	0	0	3	6	4	9	1	0	8,961	25,202	2.78	6,129	876	684	243	319	79.8	0
合計	74	33	1	8	32	61	26	78	3	7	75,365	208,096	3.56	139,959	1,891	1,857	673	4,066	123.2	1

※世帯数・人口は平成27年11月末日現在(宮城県住民基本台帳より)

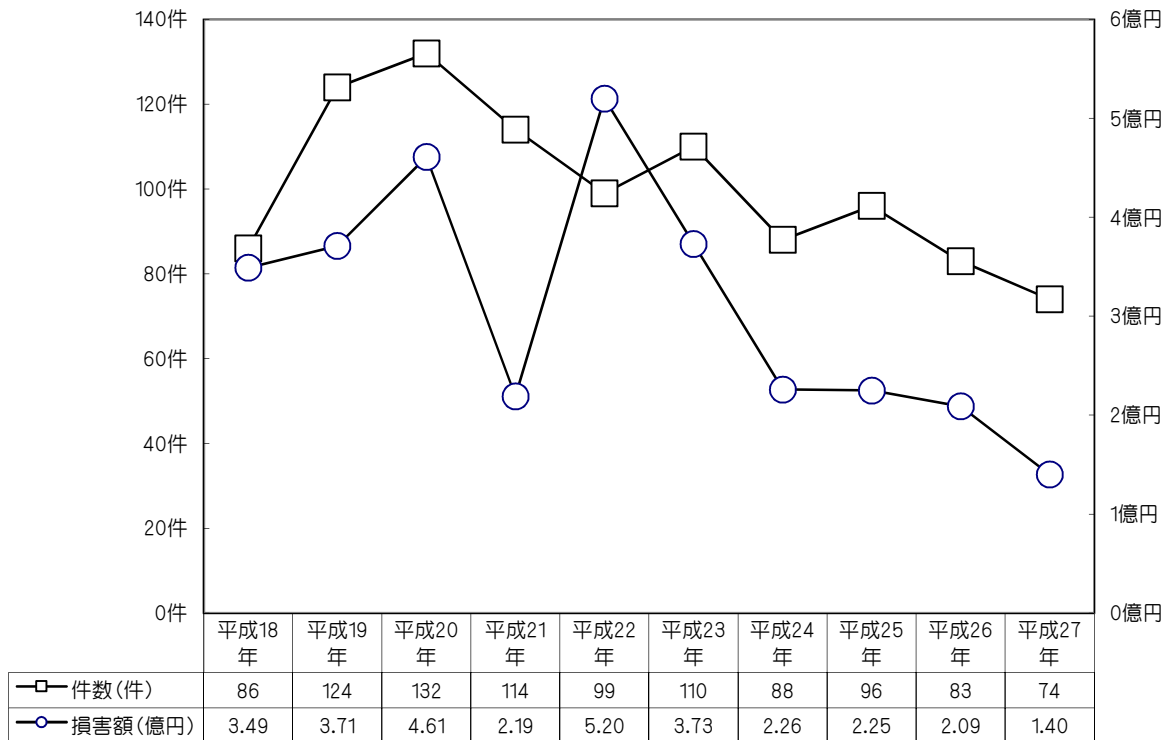




月別火災発生及び損害額状況



過去10年間の火災件数及び損害額の推移



救急業務の現況と動向

平成27年中における救急出動件数は、9,458件（前年比301件増）で搬送人員が8,839人（前年比334人増）となりました。これは一日平均で26件（約55分に1件）の割合で救急隊が出動し、管内の約24人に1人が救急隊により搬送されたことになりました。

平成27年中の搬送人員8,839人のうち、救急隊員が救急処置を行った傷病者は8,811人（搬送人員の99.7%）であり、救急処置件数は39,014件で、傷病者1人に対して約4.4種類の応急処置を行なったこととなります。

このうち、救急救命士（除細動については、救急救命士以外の救急隊員を含む）が心肺停止状態又は重篤な傷病者に行う高度な応急処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、ブドウ糖投与）の件数は361件となっています。

また、過去10年間の救急出動件数は、平成18年から平成21年にかけて僅かに減少傾向にありましたが、平成22年以降増加しており、平成23年から平成27年まで5年連続9,000件を超え、平成27年は大崎消防本部の統計上、最も多い出動件数となりました。限られた消防力の中で、最大限の効果を発揮できるように引き続き救急体制の充実を図るとともに、救急車を適正に利用するための普及啓発に努めてまいります。

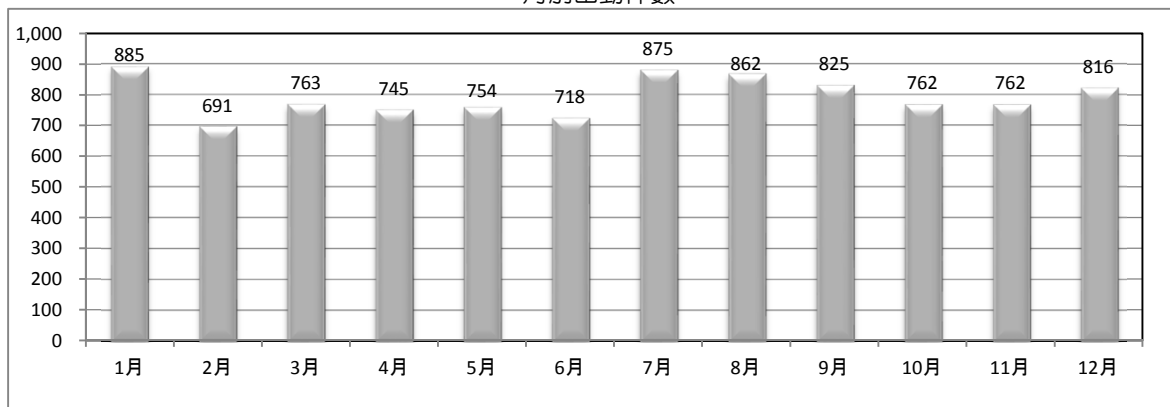


平成27年月別救急出動状況

平成27年1月1日～平成27年12月31日

月別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
1月	出動件数	885	8		1	28	1	6	91		3	556	171			20
	搬送件数	809	1			25		6	89		3	515	170			
	搬送人員	814	1			30		6	89		3	515	170			
2月	出動件数	691	1			33	1	1	74	6	7	436	127		1	4
	搬送件数	631				27	1	1	70	4	6	395	127			
	搬送人員	638				33	1	1	70	5	6	395	127			
3月	出動件数	763	1		1	49	3	3	66	2	4	472	147		4	11
	搬送件数	701			1	46	3	3	61	2	2	437	146			
	搬送人員	706			1	51	3	3	61	2	2	437	146			
4月	出動件数	745	6		1	38	6	7	80	2	2	462	130		2	9
	搬送件数	687	1		1	36	6	7	75	1	1	429	130			
	搬送人員	692	1		1	40	6	7	75	1	1	430	130			
5月	出動件数	754	7		1	57	6	7	78	3	15	442	128		1	9
	搬送件数	678	1		1	53	4	7	71	2	13	400	126			
	搬送人員	693	1		1	66	4	7	71	2	13	402	126			
6月	出動件数	718	1		1	37	6	3	69	1	14	458	120		1	7
	搬送件数	678			1	37	6	3	66	1	8	436	120			
	搬送人員	687			1	46	6	3	66	1	8	436	120			
7月	出動件数	875	4		1	49	16	12	91	3	7	550	128		1	13
	搬送件数	829				47	16	12	86	3	6	530	128			1
	搬送人員	835				52	16	12	86	3	7	530	128			1
8月	出動件数	862	4			57	8	7	101	5	8	526	135			11
	搬送件数	798				53	8	7	94	3	5	492	135			1
	搬送人員	808				60	8	7	95	3	5	492	136			2
9月	出動件数	825	3	10		59	6	9	116		5	456	143		4	14
	搬送件数	758		2		56	6	9	107		4	431	143			
	搬送人員	775		2		69	6	9	111		4	431	143			
10月	出動件数	762	2		2	49	5	7	88	3	5	457	129		3	12
	搬送件数	710			1	46	5	7	80	3	4	432	129			3
	搬送人員	718			1	53	5	7	80	3	4	432	129			4
11月	出動件数	762	3		1	39	6	3	78	3	7	487	122		3	10
	搬送件数	701			1	34	5	3	74	1	5	454	122			2
	搬送人員	707			1	40	5	3	74	1	5	454	122			2
12月	出動件数	816	1		2	55	2		89	1	6	516	134		3	7
	搬送件数	759	1		1	51	2		85	1	5	479	134			
	搬送人員	766	1		1	58	2		85	1	5	479	134			
累計	出動件数	9,458	41	10	11	550	66	65	1,021	29	83	5,818	1,614	0	23	127
	搬送件数	8,739	4	2	7	511	62	65	958	21	62	5,430	1,610	0	0	7
	搬送人員	8,839	4	2	7	598	62	65	963	22	63	5,433	1,611	0	0	9

月別出動件数



平成27年救急隊別出動状況

平成27年1月1日～平成27年12月31日

救急隊別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
古川1	出動件数	1754	13		1	106	18	8	177	6	15	935	442		10	23
	搬送人員	1626	3		1	111	16	8	161	6	12	864	441			3
古川2	出動件数	1570	5	3		99	4	12	142	6	20	879	368		12	20
	搬送人員	1455		2		101	4	12	132	4	14	820	365			1
志田	出動件数	829	1		1	39	7	10	86	2	9	524	141			9
	搬送人員	796			1	44	7	10	85	1	7	498	141			2
三本木	出動件数	543	1	2	2	45	2	4	59	2	7	316	84		1	18
	搬送人員	500			2	53	2	4	55	2	6	292	84			
田尻	出動件数	627		1	2	30	5	7	73		2	465	27			15
	搬送人員	588			1	34	5	7	72			440	27			2
鳴子	出動件数	532	5		1	28	5	3	82	2	2	339	58			7
	搬送人員	494	1		1	31	3	3	77	1	1	316	58			1
岩出山	出動件数	575		1		32	3	5	70	3	6	386	62			7
	搬送人員	545				37	3	5	67	2	4	365	62			
加美	出動件数	1016	5	2		55	11	7	104		7	626	184			15
	搬送人員	956				60	11	7	102		5	587	184			
西部	出動件数	489			1	22	4	5	57		4	325	68			3
	搬送人員	470				24	4	5	57		3	309	68			
遠田1	出動件数	1224	11	1	3	75	7	2	139	6	10	828	136			6
	搬送人員	1119			1	79	6	2	125	4	9	756	137			
遠田2	出動件数	294				19		2	32	2	1	193	42			3
	搬送人員	286				24		2	30	2	2	184	42			
その他	出動件数	5										2	2			1
	搬送人員	4										2	2			
累計	出動件数	9,458	41	10	11	550	66	65	1,021	29	83	5,818	1,614		23	127
	搬送人員	8,839	4	2	7	598	61	65	963	22	63	5,433	1,611			9

※ その他にあつては、大崎市民病院の転院に伴う転院搬送に非常用救急車を運用したもの。

平成27年出動先別救急出動状況

平成27年1月1日～平成27年12月31日

地域別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
大崎市	出動件数	6,189	26	9	8	345	36	48	674	23	57	3,707	1,141		23	92
	搬送人員	5,765	3	2	7	379	33	48	635	17	42	3,453	1,137			9
色麻町	出動件数	351	1			14	1	2	32		4	182	112			3
	搬送人員	335				13	1	2	31		3	173	112			
加美町	出動件数	1,112	3		1	64	14	8	121		7	740	137			17
	搬送人員	1,056				74	14	8	120		5	698	137			
涌谷町	出動件数	796	4	1	1	43	3	2	84	3	6	501	142			6
	搬送人員	745				44	3	2	77	2	6	469	142			
美里町	出動件数	974	3		1	67	12	5	109	3	9	676	82			7
	搬送人員	908				72	11	5	99	3	7	628	83			
高速道路	出動件数	32	4			13			1			12				2
	搬送人員	28	1			14			1			12				
管外	出動件数	4				4										
	搬送人員	2				2										
累計	出動件数	9,458	41	10	11	550	66	65	1,021	29	83	5,818	1,614		23	127
	搬送人員	8,839	4	2	7	598	62	65	963	22	63	5,433	1,611			9

平成27年傷病程度・年齢別搬送人員の状況

平成27年1月1日～平成27年12月31日

年 齢 区 分	年 齢 区 分 内 訳	種 別 区 分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新 生 児	生 後 2 8 日 未 満	死 亡	0											
		重 症	7											7
		中 等 症	20											20
		軽 症	2											2
		そ の 他	0											
		計	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
乳 幼 児	2 8 日 ～ 6 歳	死 亡	1										1	
		重 症	16				1						7	8
		中 等 症	101				1			7			72	21
		軽 症	229				12			63			152	2
		そ の 他	0											
		計	347	0	0	0	14	0	0	70	0	0	232	31
少 年	7 歳 ～ 1 7 歳	死 亡	0											
		重 症	13				5		1				1	6
		中 等 症	105				9		17	10		1	52	16
		軽 症	194	1			43		24	27	1		94	4
		そ の 他	0											
		計	312	1	0	0	57	0	42	37	1	1	147	26
成 人	1 8 歳 ～ 6 4 歳	死 亡	26				3					6	17	
		重 症	271				17	2		11		1	132	108
		中 等 症	1,306	2	1		116	30	10	93	7	24	751	272
		軽 症	1,227	1			234	21	10	134	14	14	751	48
		そ の 他	0											
		計	2,830	3	1	0	370	53	20	238	21	45	1,651	428
高 齢 者	6 5 歳 以 上	死 亡	160			4	1			9		7	139	
		重 症	911				10		1	46		1	547	306
		中 等 症	2,875			3	62	2		308		8	1,756	736
		軽 症	1,375		1		94	6	1	254			955	64
		そ の 他	0											
		計	5,321	0	1	7	167	8	2	617	0	16	3,397	1,106
合 計		死 亡	187	0	0	4	4	0	0	9	0	13	157	0
		重 症	1,218	0	0	0	33	2	2	57	0	2	687	435
		中 等 症	4,407	2	1	3	188	32	27	418	7	33	2,631	1,065
		軽 症	3,027	2	1	0	383	27	35	478	15	14	1,952	120
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	8,839	4	2	7	608	61	64	962	22	62	5,427	1,620

平成27年救急隊員の行った応急処置の状況(その1)

平成27年1月1日～平成27年12月31日

事故種別 傷病程度		応急処置 対象急 象人処 員置	止 血	固 定	人工呼 吸	心 マ ッ サ ー ジ		心 肺 蘇 生	う ち 自 動	酸 素 吸 入	気 道 確 保			気 管 挿 管	保 温	
												※1	※2			※3
急 病	死 亡	157	1					157	52	146	157		6	61		77
	重 症	686	5	8	4			63	24	361	138	5	2	19		239
	中 等 症	2,625	8	26	1					495	36					773
	軽 症	1,948	37	16						94	9					548
	そ の 他															
	計	5,416	51	50	5	0	0	220	76	1,096	340	5	8	80	0	1,637
交 通 事 故	死 亡	4		4				4		3	4			1		
	重 症	33	13	25						17	7	1		1		16
	中 等 症	188	21	133						31						49
	軽 症	382	26	220						7						56
	そ の 他															
	計	607	60	382	0	0	0	4	0	58	11	1	0	2	0	121
一 般 負 傷	死 亡	9						9	4	9	9		2	2	1	2
	重 症	57	4	20				7	3	16	10	1	8	2	2	18
	中 等 症	415	45	127						32	7		3			123
	軽 症	472	101	64						12	3		1			93
	そ の 他															
	計	953	150	211	0	0	0	16	7	69	29	1	14	4	3	236
そ の 他	死 亡	17	1	1				17	2	16	17			5		9
	重 症	440	1	12	1			4	1	180	17	1		1		122
	中 等 症	1,166	14	58						244	5					327
	軽 症	212	20	21						22	1					48
	そ の 他															
	計	1,835	36	92	1	0	0	21	3	462	40	1	0	6	0	506
合 計	死 亡	187	2	5	0	0	0	187	58	174	187	0	8	69	1	88
	重 症	1,216	23	65	5	0	0	74	28	574	172	8	10	23	2	395
	中 等 症	4,394	88	344	1	0	0	0	0	802	48	0	3	0	0	1,272
	軽 症	3,014	184	321	0	0	0	0	0	135	13	0	1	0	0	745
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	8,811	297	735	6	0	0	261	86	1,685	420	8	22	92	3	2,500

気道確保

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリンゲアルマスク等を使用しての気道確保

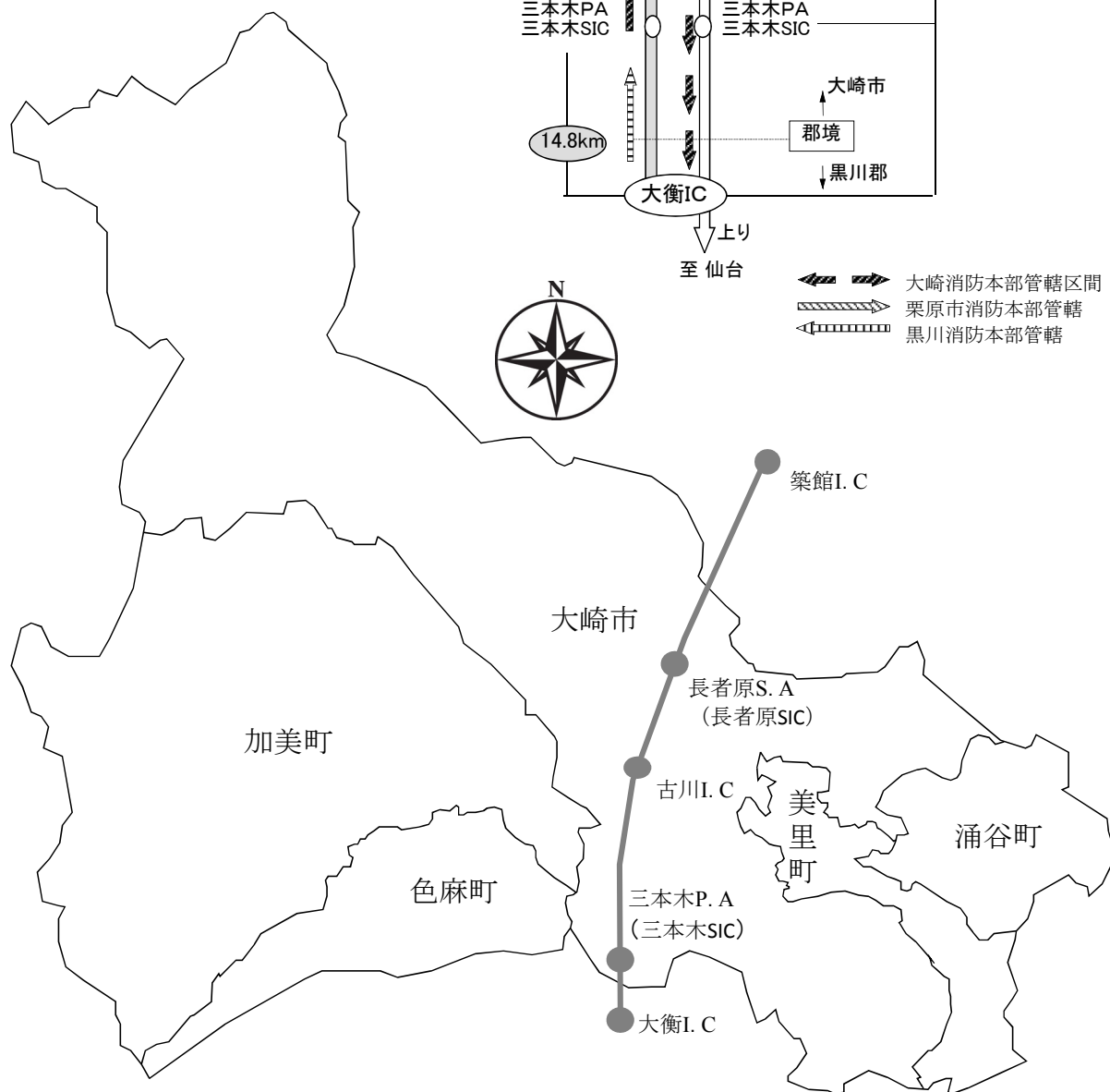
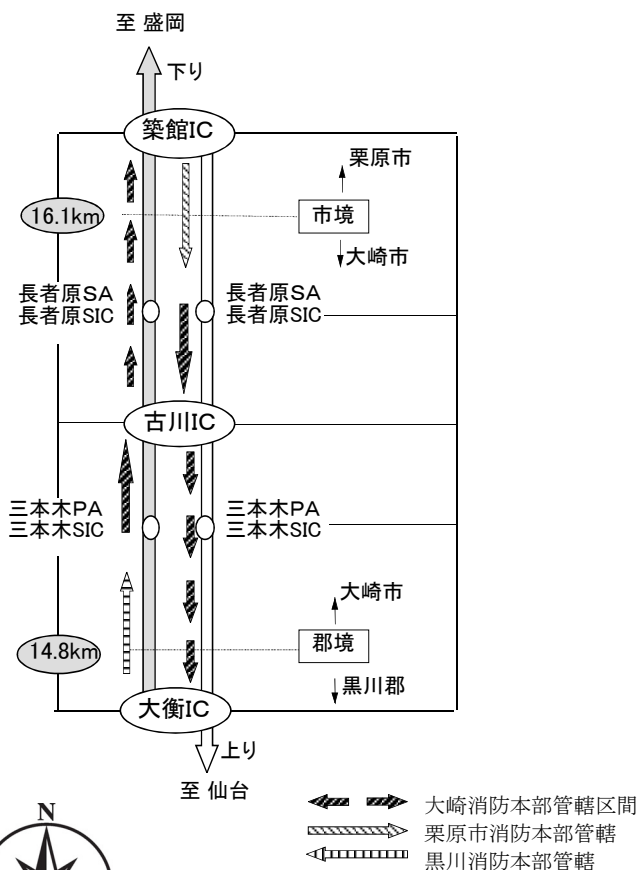
平成27年救急隊員の行った応急処置の状況(その2)

平成27年1月1日～平成27年12月31日

事故種別 傷病程度		応急処置	被 覆	在宅療法継続			S P による 血圧保持	除 細 動	静 脈 路 確 保 ・ C P A 前	静 脈 路 確 保 ・ C P A 後	薬 剤 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	そ の 他 の 応 急 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	血 糖 測 定	心 電 図	心 電 図 伝 送	計
				※A	※B	※C														
急 病	死 亡		1			1		8	1	45	10		107	12	118	27		145		1,012
	重 症	7	13	1	2	10		16	2	24	9		629	630	312	646	27	582	27	3,742
	中 等 症	5	42	4	11	27	1		10			4	2,554	2,564	757	2,609	36	1,767	33	11,721
	軽 症	9	6	1	2	3			10			8	1,875	1,837	458	1,932	24	991	18	7,872
	そ の 他																			0
	計	21	62	6	15	41	1	24	23	69	19	12	5,165	5,043	1,645	5,214	87	3,485	78	24,347
交 通 事 故	死 亡	1								3			3		3	1		4		30
	重 症	10							2				24	32	24	32		28		230
	中 等 症	24											156	187	103	186		87		977
	軽 症	31											276	376	147	374		77		1,590
	そ の 他																			0
	計	66	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	459	595	277	593	0	196	0	2,827
一 般 負 傷	死 亡									5	1		7	2	8	1		9		63
	重 症	5						1	3	3	2		49	48	18	48		26		280
	中 等 症	56	3			3			1				390	410	78	414	1	136		1,823
	軽 症	113							1				404	427	78	461		105		1,862
	そ の 他																			0
	計	174	3	0	0	3	0	1	5	8	3	0	850	887	182	924	1	276	0	4,028
そ の 他	死 亡	1						1		4			11	1	11	3		16		109
	重 症	1						1		1			402	421	103	431		277	8	1,982
	中 等 症	17	5		3	2			1				1,090	1,130	203	1,157	1	590	10	4,852
	軽 症	17	1		1								192	206	38	210		91	2	869
	そ の 他																			0
	計	36	6	0	4	2	0	2	1	5	0	0	1,695	1,758	355	1,801	1	974	20	7,812
合 計	死 亡	2	1	0	0	1	0	9	1	57	11	0	128	15	140	32	0	174	0	1,214
	重 症	23	13	1	2	10	0	18	7	28	11	0	1,104	1,131	457	1,157	27	913	35	6,234
	中 等 症	102	50	4	14	32	1	0	12	0	0	4	4,190	4,291	1,141	4,366	38	2,580	43	19,373
	軽 症	170	7	1	3	3	0	0	11	0	0	8	2,747	2,846	721	2,977	24	1,264	20	12,193
	そ の 他	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	297	71	6	19	46	1	27	31	85	22	12	8,169	8,283	2,459	8,532	89	4,931	98	39,014
1 在宅療法 ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの ※B 気道切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの																				
2 計欄については、その1止血からその2心電図伝送までの集計である。																				

東北自動車道における救急出動件数・搬送人員（過去5年間）

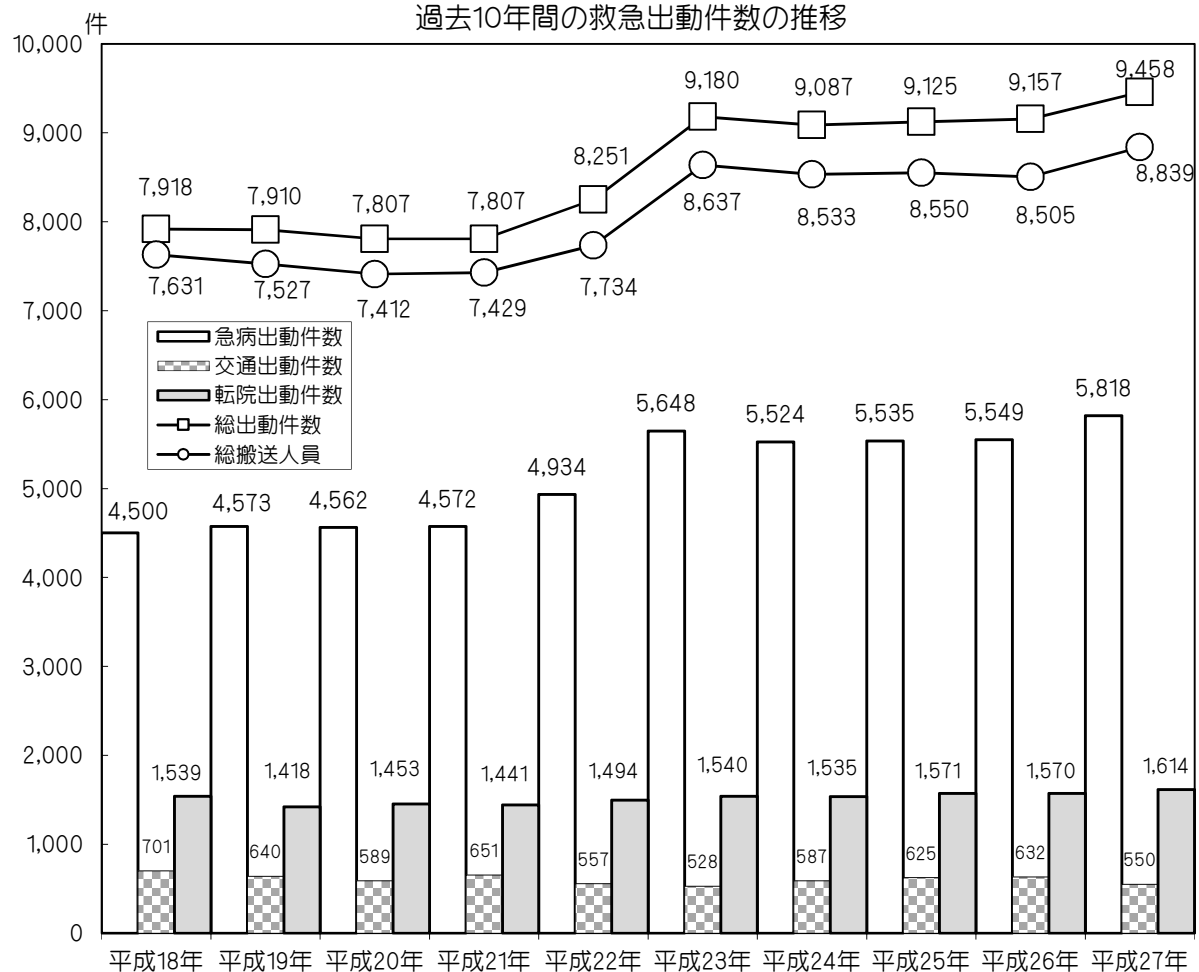
年	区 分	計	事 故 種 別		
			交 通	急 病	そ の 他
23	出動件数	31	9	16	6
	搬送人員	41	17	18	6
	不 搬 送	2	0	0	2
24	出動件数	38	11	24	3
	搬送人員	38	11	24	3
	不 搬 送	0	0	0	0
25	出動件数	36	13	18	5
	搬送人員	38	19	18	1
	不 搬 送	4	0	0	4
26	出動件数	32	18	7	7
	搬送人員	23	16	7	0
	不 搬 送	12	5	0	7
27	出動件数	32	13	12	7
	搬送人員	28	14	12	2
	不 搬 送	8	3	0	5



過去5年間の発生場所別救急出動状況

年 別 市町別	23	24	25	26	27
大崎市	5,967	5,933	6,086	6,008	6,189
色麻町	326	299	329	309	351
加美町	1,154	1,112	996	1,043	1,112
涌谷町	727	761	754	807	796
美里町	972	942	921	957	974
高速道路	32	39	36	32	32
管外	2	1	3	1	4
計	9,180	9,087	9,125	9,157	9,458

過去10年間の救急出動件数の推移



平成27年事故種別医療機関別搬送人員調

(上段・本年搬送人員 下段・前年搬送人員)

区 分 種 別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計	
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他		
搬送人員		4	2	7	608	61	64	962	22	62	5,427	1,611	0	0	9	8,839	
		6	0	4	704	61	59	879	27	50	5,141	1,569	0	0	5	8,505	
管内	大崎市	4	2	6	476	48	55	745	17	50	4,256	1,206	0	0	9	6,874	
		5	0	3	510	44	42	678	24	42	3,864	1,127	0	0	4	6,343	
	加美郡				41	6	6	83		6	372	24				538	
				1	56	7	8	72		2	386	35				567	
	遠田郡			1	73	4	2	102	3	4	520	32				741	
					106	4	7	86	2	3	555	33				796	
大崎管内		4	2	7	590	58	63	930	20	60	5,148	1,262	0	0	9	8,153	
		5	0	4	672	55	57	836	26	47	4,805	1,195	0	0	4	7,706	
管外	仙台市				1	0		11		1	63	159				235	
					4	3		6		2	82	182				279	
	石巻市				9	2	1	11	2	1	112	74				212	
		1			19	3	1	25	1	1	201	105			1	358	
	塩竈市							1			6	5				12	
												4				4	
	多賀城市															0	
											5	3				8	
	黒川郡				3			6			20	14				43	
					2			5			14	8				29	
	栗原市				2						16	46				64	
					5		1	4			7	37				54	
	東松島市					1		1			43	31				76	
											10	19				29	
	登米市				3						8	10				21	
					1			2			5	8				16	
	宮城郡										4					4	
																0	
	柴田郡															0	
																0	
	その他県内								1			7	5				13
									1			12	8				21
	県外								1				5				6
																	0
大崎管外		0	0	0	18	3	1	32	2	2	279	349	0	0	0	686	
		1	0	0	31	6	2	43	1	3	336	374	0	0	1	798	

応急手当講習会等の現況と動向

平成27年中における応急手当講習会等実施状況は、地域住民、学校、事業所等を対象として、普通救命講習会（講習時間3時間）は173回3,220人、上級救命講習会（講習時間8時間）は7回152人、普及員講習会（講習時間24時間）は2回19人、平成24年から小学生（高学年）を対象に開催している救命入門コースは6回238人が受講しました。

それぞれの救命講習の受講者には「普通救命講習修了証」「上級救命講習修了証」「応急手当普及員認定証」「救命入門コース認定書」を交付しています。

また、傷病者等に対して簡単な応急手当を実施する内容の「応急手当講習会」を186回開催し、622人が受講しました。

これら応急手当講習会の効果として、平成27年中では救急隊が傷病者のもとに到着するまでの間、家族や傷病者の近くにいた方々による応急手当が497件実施されました。



応急手当普通救命講習会等の開催状況

1. 講習会別受講人員

平成27年1月1日～平成27年12月31日

種 別	開催回数	受講人員	内 容
普通救命講習会	173回	3,220人	心肺蘇生法(成人)・大出血時の止血等の講習 (講習時間3時間)
上級救命講習会	7回	152人	心肺蘇生法(成人・小児・乳児)・大出血時の止血・ 傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習 (講習時間8時間)
普及員講習会	2回	19人	事業所・地域団体等の従業員に対して普通救命講習を指 導できるための講習 (講習時間24時間)
救命入門コース	6回	238人	対象者はこれまでの救命講習の対象者をより広げ、小学生 中高学年以上(概ね10歳以上)とし、カリキュラムは胸骨圧 迫とAEDの使用法
応急手当講習会	186回	5,622人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの簡単な 応急手当の講習
合 計	374回	9,251人	

2. 講習会別・性別・年齢別受講人員

平成27年1月1日～平成27年12月31日

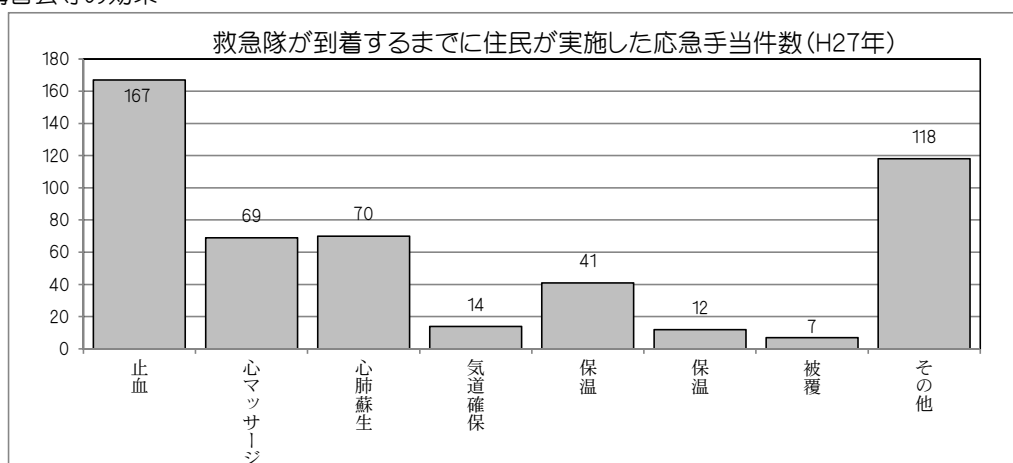
講習種別	年齢 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
普通救命講習	男性(名)	851	138	145	129	143	113	34	3	1,556
	女性(名)	743	153	178	199	177	167	43	4	1,664
	合計(名)	1,594	291	323	328	320	280	77	7	3,220
上級救命講習	男性(名)	8	7	15	15	7	3	1	0	56
	女性(名)	55	6	11	15	6	3	0	0	96
	合計(名)	63	13	26	30	13	6	1	0	152
普及員講習	男性(名)	0	2	1	4	8	2	0	0	17
	女性(名)	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	合計(名)	0	2	1	5	9	2	0	0	19
救命入門コース	男性(名)	125								125
	女性(名)	113								113
	合計(名)	238	0	0	0	0	0	0	0	238
合 計	男性(名)	984	147	161	148	158	118	35	3	1,754
	女性(名)	911	159	189	215	184	170	43	4	1,875
	合計(名)	1,895	306	350	363	342	288	78	7	3,629

※応急手当講習会については、年齢・性別を記入した申請書の提出を求めているため計上していません。

3. 講習会別・年度別受講人員

講 習 種 別	年 別	回 数 (回)	性 別		合 計	備 考
			男性(名)	女性(名)		
普通救命講習	平成9年 ～ 平成17年	920	9,918	11,396	21,314	
	平成18年	162	1,704	1,775	3,479	
	平成19年	177	1,740	1,869	3,609	
	平成20年	192	2,021	1,943	3,964	
	平成21年	176	1,720	1,785	3,505	
	平成22年	165	1,728	1,605	3,333	
	平成23年	133	1,257	1,026	2,283	
	平成24年	152	1,455	1,508	2,963	
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999	
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525	
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220	
小 計		2,616	26,886	28,308	55,194	
上級救命講習	平成11年 ～ 平成17年	40	416	860	1,276	
	平成18年	5	48	119	167	
	平成19年	5	53	118	171	
	平成20年	5	59	112	171	
	平成21年	8	87	185	272	
	平成22年	7	68	132	200	
	平成23年	8	97	82	179	
	平成24年	7	54	123	177	
	平成25年	5	77	64	141	
	平成26年	6	47	100	147	
	平成27年	7	56	96	152	
小 計		103	1,062	1,991	3,053	
普及員講習	平成12年 ～ 平成17年	6	80	112	192	
	平成18年	2	28	52	80	
	平成19年	2	2	11	13	
	平成20年	1	10	13	23	
	平成21年	1	9	8	17	
	平成22年	2	7	16	23	
	平成23年	1	3	3	6	
	平成24年	3	8	10	18	
	平成25年	1	3	3	6	
	平成26年	1	3	6	9	
	平成27年	2	17	2	19	
小 計		22	170	236	406	
救命入門 コース	平成24年	1	64	71	135	
	平成25年	3	52	66	118	
	平成26年	8	120	143	263	
	平成27年	6	125	113	238	
小計		18	361	393	754	
合 計		2,759	28,479	30,928	59,407	

4. 講習会等の効果



救助業務の現況と動向

平成27年中における救助活動実施状況は、出動件数88件（前年比3件増）救助人員288人（前年比226人増）となりました。

事故種別ごとでは、交通事故が42件と出動件数全体の47.7%を占めております。

また、9月11日に発生した「平成27年9月関東・東北豪雨」の自然災害（16件）においては、救助人員全体の81.9%を占める236人を救助しました。

近年の救助事象は、全国的に従来の火災、交通事故等に加え、地震災害、集中豪雨や土砂災害といった自然災害をはじめ、列車事故など多数の人命を巻き込んだ災害事象や毒物・劇物による化学災害等、大規模化、複雑多様化し、活動は幅広い範囲に及んでいます。

このことから、高度な知識、技術を習得した専門的な救助隊員を配置し、機動力、資機材等の効率的な活用を図り、住民の安全確保のため、更なる救助体制の充実強化に努めてまいります。

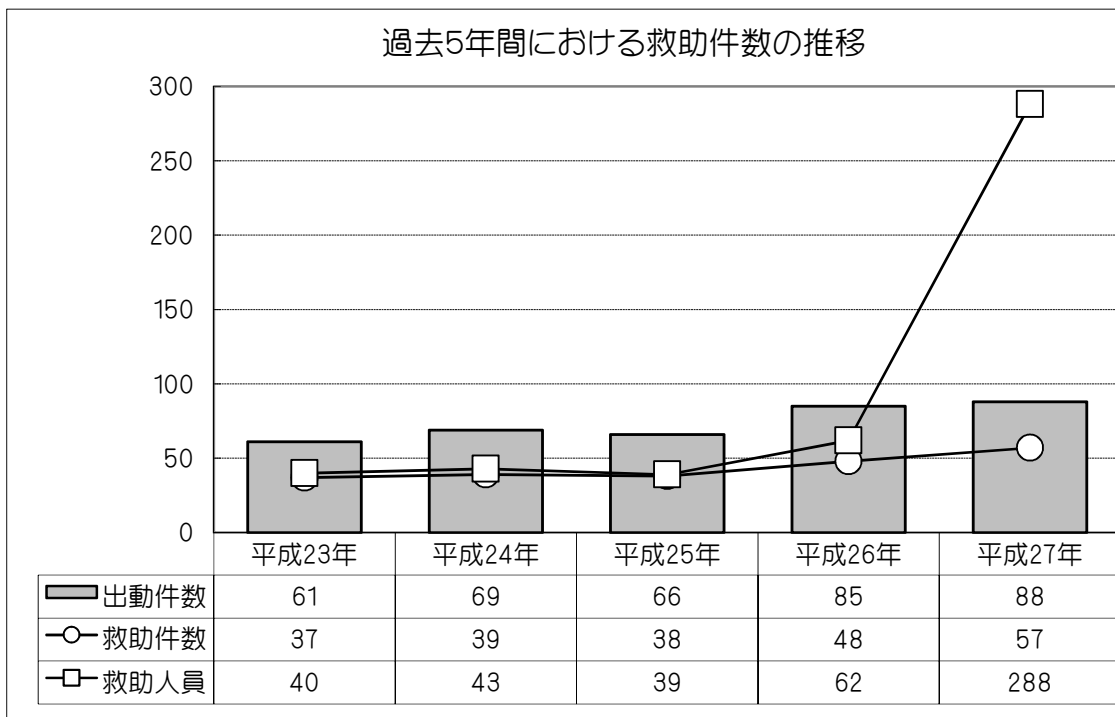


救助活動状況

平成27年1月1日～平成27年12月31日

区分		火災		交通事故	水難事故	自然災害等	機械による事故	建物等による事故	酸ガス及びガス事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動件数				42	10	16	2	6			12	88
活動件数				20	8	14	1	6			8	57
救助人員				26	7	236	1	10			8	288
出動人員	専任救助隊員											0
	兼任救助隊員			219	46	115	9	30			67	486
	消防隊員			200	50	61	10	19			35	375
	救急隊員			156	27	30	6	18			36	273
	消防団員					27						27
計		0	0	575	123	233	25	67	0	0	138	1,161
出動車両	救助工作車			20	2	7		4			5	38
	消防ポンプ自動車			70	18	20	4	8			19	139
	はしご車										1	1
	化学車											0
	指揮・司令車			52	13	9	3	6			12	95
	救急自動車			52	10	10	2	6			12	92
	船舶											0
	ヘリコプター											0
	その他の車両			2	5	17					1	25
	消防団車両					7						7
計		0	0	196	48	70	9	24	0	0	50	397
事故発生場所	住居					12		5			4	21
	その他の屋内					1	1	1				3
	高速自動車道路等			4								4
	その他の道路			31		1						32
	内水面				10	1						11
	外水面											0
	山岳										1	1
	その他の屋外			7		1	1				6	15
	地下											0
	その他										1	1
計		0	0	42	10	16	2	6	0	0	12	88
搬送別人員	救急自動車			26	4	2	0	2			4	38
	ヘリコプター											0
	その他の車両											0
	消防機関以外											0

過去5年間にける救助件数の推移



消防装備等機械器具保有状況

平成28年4月1日現在

区分	装備名	数量	区分	装備名	数量
一般救助用器具	かぎ付き梯子	4	主な資機材	携帯警報機	5
	バスケットストレッチャ(折り畳み式)	4		活線警報機	4
	三連梯子	12		空気充填機	2
	金属製折りたたみ梯子等	2		オイルフェンス	3
	救助幕・救助マット	1		携帯無線機	49
	救命索発射銃	2		衛星携帯電話	11
	救助用縛帯	7	測定器具	可燃性ガス測定器	4
	平坦架	1		有毒ガス測定器	5
	滑車	18		酸素濃度測定器	3
	サバイバースリング	6		放射線測定器	23
重量物排除器具	油圧ジャッキ	2	高度救助資器材	画像探査機Ⅰ型	1
	油圧スプレッダー(大型含む)	7		画像探査機Ⅱ型	1
	可搬式ウインチ	9		地中音響探査機	1
	マット型空気圧ジャッキ	2		熱画像直視装置	4
	充電式油圧切断機マルチカッター	0		夜間用暗視装置	1
	充電式油圧切断機スプレッダー	0	呼吸器具保護	空気呼吸器	71
	充電式油圧切断機バーカッター	1		酸素呼吸器	4
切断用器具	油圧切断機	8	隊員保護器具	送排風機	2
	エンジンカッター	13		耐電手袋	14
	ガス溶断機	1		耐電衣	5
	チェンソー	14		耐電ズボン	5
	鉄線カッター	20		耐電長靴	13
	空気鋸	2		耐熱服	7
破壊用器具	万能斧	40	水難救助器具	放射線防護服	5
	ハンマー	20		潜水器具	5
	削岩機	1		救命胴衣	72
	ハンマードリル	3		水中投光器	3
山岳用	登山器具	5		救命浮環	21
	バスケット担架	4		浮標	1
主な資機材	エアーカッター	1		救命ボート	8
	小型動力ポンプ B-2級	3		船外機	4
	小型動力ポンプ B-3級	2	高度救急資器材等	気道確保用資器材一式	13
	フォグガン	12		自動体外式除細動器(半自動含)	25
	無反動ノズル	5		ショックパンプ	13
	放水銃	2		輸液用資器材一式	13
	低発泡ノズル	2		心電図電送装置	13
	発動発電機 300W	2		患者監視装置	13
	発動発電機 400W	0		室内紫外線除菌装置	6
	発動発電機 500W～900W	21		EOG方式滅菌器	1
	発動発電機 1KW	3		オートクレープ滅菌器(高圧蒸気)	5
	エアーテント	3		紫外線滅菌ロッカー	3

防 予

平成二十八年度 大崎広域防火ポスター



平成二十七年防火ポスターコンクール最優秀賞
大崎市立松山小学校一年 加藤優衣 さんの作品

平成28年度 大崎広域防火標語

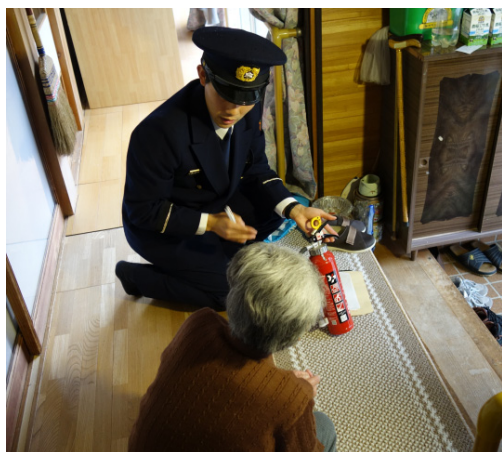
火の確認 大事な家族 守るため

平成27年度防火標語コンクール最優秀賞

大崎市立岩出山中学校 3年 畠山 瑠花さんの作品

予防業務の現況

防火対象物数は平成28年3月31日現在で6,885件（前年比48件増）と昨年同様、若干の増加で推移しており、これについては、旅館・ホテル及び社会福祉施設の増加が主な要因となっています。（図1参照）



危険物施設数は平成28年3月31日現在で924件（前年比1件減）と、近年の減少傾向に歯止めがかかったものとなっています。これは東日本大震災で被害を受けた社会基盤の復旧・復興が進んだことと、施設の経年化による整理等に一定の落ち着きが見られたことによるものと考えられます。（図2参照）

地域住民の安心・安全を守る対策として、高齢化社会を迎え、一人暮らし高齢者世帯や障害者居住世帯等の災害時の自力避難困難者を対象にした防火査察を実施するとともに、義務化から10年を経過した住宅用火災警報器の維持管理と設置促進などの住宅防火対策を婦人防火クラブ及び地域コミュニティーと連携した活動により実施しております。

また、予防行政の変化に対応した対策として、平成24年5月に発生した広島県福山市のホテル火災を受けて実施している新表示制度（適マーク）の運用に併せて、政令指定都市を中心に開始されている「違反対象物の公表制度」についても、施設利用者への安全提供に効果的であることから、平成30年4月1日の施行を目的に防火対象物の防火安全対策として実施に向けて取り組んでおります。

図1 大崎管内の防火対象物数の推移

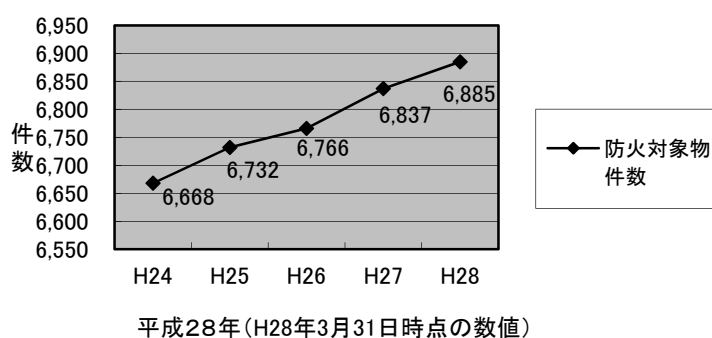
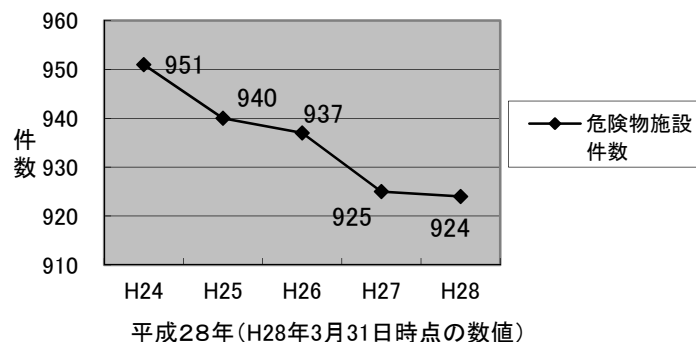


図2 大崎管内の危険物施設数の推移



防火対象物数

平成28年3月31日現在

署 別 市町別 防火対象物区分			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合 計
			大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	5		5	1	3	4	19
	ロ	公会堂・集会場	103	19	122	34	13	47	22	26	48	217
2項	イ	バー・キャバレー等	2		2			0			0	2
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16	3		3	4	4	8	27
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用 役務提供店舗	5		5			0			0	5
3項	イ	待合・料理店等	3		3			0			0	3
	ロ	飲食店	95	21	116	23	4	27	9	11	20	163
4項	百貨店 マーケット等		247	27	274	43	5	48	20	28	48	370
5項	イ	旅館・ホテル等	36	105	141	10	1	11	1	4	5	157
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	1039	78	1,117	84	25	109	32	93	125	1,351
6項	イ	病院・診療所	80	7	87	14	1	15	10	15	25	127
	ロ	老人短期入所施設等	63	10	73	10	3	13	9	26	35	121
	ハ	老人デイサービス等	86	18	104	17	5	22	9	11	20	146
	ニ	幼稚園・盲ろう学校	27	3	30	6		6	4	7	11	47
7項	小・中・高等 大学等		147	36	183	35	15	50	21	57	78	311
8項	図書館・美術館等		8	4	12	5		5	3	1	4	21
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
	ロ	9項イ以外の 公衆浴場	4	4	8	3	2	5	1		1	14
10項	車両の停車場等		1		1			0		2	2	3
11項	神社・寺院・教会等		56	10	66	14	4	18	7	16	23	107
12項	イ	工場・作業場	464	86	550	192	44	236	92	134	226	1,012
	ロ	映画 テレビスタジオ			0			0			0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	36	29	65	16	7	23	6	7	13	101
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0	0
14項	倉庫		337	73	410	176	40	216	55	113	168	794
15項	前各項に該当 しない事業所		597	221	818	176	97	273	94	98	192	1,283
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	201	40	241	29	4	33	20	24	44	318
	ロ	(16) 項イ以外の 複合対象物	68	24	92	16	1	17	9	17	26	135
17項	文化財等		4	4	8	4		4	19		19	31
合計			3,734	820	4,554	915	271	1,186	448	697	1,145	6,885

地上５階未満，地上５階以上の防火対象物数

平成２８年３月３１日現在

署 別 分 防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			各消防署		
			地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	合 計
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	1		1	5		5	4		4	19		19
	ロ	公会堂・集会場	103		103	19		19	47		47	48		48	217		217
2項	イ	バー・キャバレー等	2		2			0			0			0	2		2
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16			0	3		3	8		8	27		27
	ハ	性風俗関連特殊 営業店舗	0		0			0			0			0			0
	ニ	個室利用 役務提供店舗	5		5			0			0			0	5		5
3項	イ	待合・料理店等	3		3			0			0			0	3		3
	ロ	飲食店	95		95	21		21	27		27	20		20	163		163
4項		百貨店 マーケット等	247		247	27		27	48		48	48		48	370		370
5項	イ	旅館・ホテル等	29	7	36	92	13	105	11		11	5		5	137	20	157
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,003	36	1,039	74	4	78	107	2	109	121	4	125	1,305	46	1,351
6項	イ	病院・診療所	75	5	80	7		7	15		15	25		25	122	5	127
	ロ	老人短期入所施設等	61	2	63	10		10	13		13	35		35	119	2	121
	ハ	老人デイサービス等	86		86	18		18	22		22	20		20	146		146
	ニ	幼稚園・盲ろう学校	27		27	3		3	6		6	11		11	47		47
7項		小・中・高等 大学等	146	1	147	36		36	50		50	78		78	310	1	311
8項		図書館・美術館等	8		8	4		4	5		5	4		4	21		21
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0			0	0		0
	ロ	９項イ以外の 公衆浴場	4		4	4		4	5		5	1		1	14		14
10項		車両の停車場等	1		1			0			0	2		2	3		3
11項		神社・寺院・教会等	56		56	10		10	18		18	23		23	107		107
12項	イ	工場・作業場	464		464	86		86	236		236	224	2	226	1,010	2	1,012
	ロ	映画 テレビスタジオ			0			0			0			0			0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	35	1	36	29		29	23		23	13		13	100	1	101
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0			0			0
14項		倉庫	336	1	337	73		73	216		216	168		168	793	1	794
15項		前各項に該当 しない事業所	584	13	597	220	1	221	273		273	191	1	192	1,268	15	1,283
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	195	6	201	40		40	33		33	44		44	312	6	318
	ロ	(16) 項イ以外の 複合対象物	62	6	68	24		24	17		17	25	1	26	128	7	135
17項		文化財等	4		4	4		4	4		4	19		19	31		31
合計			3,656	78	3,734	802	18	820	1,184	2	1,186	1,137	8	1,145	6,779	106	6,885

※地上５階未満は，地下のみを含む。

防火対象物における防火管理の状況

平成28年3月31日現在

署 別 区 分 防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合 計		
			法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数
1項	イ	劇場・映画館等	9	9	9				4	4	4	4	4	4	17	17	17
	ロ	公会堂・集会場	103	86	86	17	16	16	47	46	46	46	46	46	213	194	194
2項	イ	バー・キャバレー等	1	1	1										1	1	1
	ロ	遊技場ダンスホール等	14	14	14				3	3	3	8	8	8	25	25	25
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗													0	0	0
	ニ	個室利用 役務提供店舗	5	5	5										5	5	5
3項	イ	待合・料理店等	3	3	3										3	3	3
	ロ	飲食店	95	78	76	18	15	15	23	22	22	18	18	18	154	133	131
4項		百貨店 マーケット等	172	139	137	23	23	23	37	37	37	43	41	41	275	240	238
5項	イ	旅館・ホテル等	20	19	18	61	60	60	4	4	4	4	4	4	89	87	86
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	42	38	38	2	2	2	7	7	7	12	12	12	63	59	59
6項	イ	病院・診療所	31	26	25	1	1	1	3	3	3	9	8	8	44	38	37
	ロ	老人短期入所施設等	51	50	49	8	8	8	10	10	10	31	31	31	100	99	98
	ハ	老人デイサービス等	57	51	50	8	8	8	11	11	11	10	10	10	86	80	79
	ニ	幼稚園・盲ろう学校	15	15	15	2	2	2	5	5	5	7	7	7	29	29	29
7項		小・中・高等 大学等	44	44	44	11	11	11	15	14	14	19	19	19	89	88	88
8項		図書館・美術館等	6	6	6	4	4	4	5	5	5	3	3	3	18	18	18
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等													0	0	0
	ロ	9項イ以外の 公衆浴場	2	2	2	3	3	3	1	1	1	1	1	1	7	7	7
10項		車両の停車場等										1	1	1	1	1	1
11項		神社・寺院・教会等	33	23	22	7	6	6	11	11	11	18	16	16	69	56	55
12項	イ	工場・作業場	40	38	38	3	3	3	19	19	19	15	14	14	77	74	74
	ロ	映画 テレビスタジオ													0	0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場													0	0	0
	ロ	飛行機等格納庫													0	0	0
14項		倉庫	3	2	2							1	1	1	4	3	3
15項		前各項に該当 しない事業所	105	92	92	14	14	14	37	36	36	29	29	29	185	171	171
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	174	139	137	37	36	36	31	31	31	32	30	30	274	236	234
	ロ	(16) 項イ以外 の複合対象物	6	5	5	2	2	2	2	2	2	1	1	1	11	10	10
17項		文化財等	1	1	1										1	1	1
合計			1,032	886	875	221	214	214	275	271	271	312	304	304	1,840	1,675	1,664
届出比率%				85.9%	84.8%		96.8%	96.8%		98.5%	98.5%		97.4%	97.4%		91.0%	90.4%

定期点検報告制度該当防火対象物数

平成28年3月31日現在

署 別 市町別 防火対象物区分			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合 計
			大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	4		4	1	3	4	17
	ロ	公会堂・集会場	45	8	53	13	2	15	8	12	20	88
2項	イ	バー・キャバレー等			0			0			0	0
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14		14	3		3	2	2	4	21
	ハ	性風俗関連特殊 営業店舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用 役務提供店舗	2		2			0			0	2
3項	イ	待合・料理店等			0			0			0	0
	ロ	飲食店	3	1	4			0			0	4
4項		百貨店 マーケット等	47	4	51	4		4	5	5	10	65
5項	イ	旅館・ホテル等	4	14	18	1		1			0	19
6項	イ	病院・診療所	9		9		1	1			0	10
	ロ	老人短期入所施設等	1		1			0			0	1
	ハ	老人デイサービス等			0	1		1			0	1
	ニ	幼稚園・盲ろう学校			0			0			0	0
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	25	9	34	8	2	10	2	3	5	49
合計			159	36	195	34	5	39	18	25	43	277

消防同意事務処理状況

平成27年度

署 別 市町別 種 別		古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
		大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
新	築	210	10	220	32	9	41	20	26	46	307
増	築	27	12	39	15	5	20	1	8	9	68
改	築			0			0			0	0
移	転			0			0			0	0
修	繕			0			0			0	0
模	様 替	1		1			0			0	1
用	途 変 更			0			0		1	1	1
そ	の 他	1		1			0			0	1
合	計	239	22	261	47	14	61	21	35	56	378
消防設備設置指導を行った		86	4	90	21	5	26	7	9	16	132

危険物施設状況

平成28年3月31日現在

署 別 施設区分		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
危険物施設数（完成施設）	製 造 所	2	1			3
	屋 内 貯 蔵 所	59	14	12	18	103
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	35	9	15	23	82
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	4		3	1	8
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	119	51	54	30	254
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	58	15	50	51	174
	屋 外 貯 蔵 所	4	1	2	5	12
	給 油 取 扱 所	56	21	32	24	133
	販 売 取 扱 所					0
	一 般 取 扱 所	75	25	34	21	155
	移 送 取 扱 所					0
合 計		412	137	202	173	924
数量別施設数	5 倍 以 下	198	67	111	90	466
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	84	28	30	26	168
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	72	23	37	30	162
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	27	8	12	7	54
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	9	4	3	7	23
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	8	5	6	4	23
	200 倍 を 超 える も の	14	2	3	9	28
合 計		412	137	202	173	924

危険物関係事務処理状況

平成 27 年度

署 別 許可区分 施設区分	古川消防署					鳴子消防署					加美消防署					遠田消防署					合 計				
	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認
	設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更	
製 造 所																					0	0	0	0	0
屋 内 貯 蔵 所		1	1	1									1								0	1	2	1	0
屋外タンク貯蔵所		1		1							1	1	1	1							1	2	1	2	0
屋内タンク貯蔵所																					0	0	0	0	0
地下タンク貯蔵所	1	4		4			4		4								1		1		1	9	0	9	0
簡易タンク貯蔵所																					0	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	5	6	5	6							2	2	1	2		2	1	2	1		9	9	8	9	0
屋 外 貯 蔵 所																					0	0	0	0	0
給 油 取 扱 所		7		7	8		3		3	2		7		5	6		5		5	4	0	22	0	20	20
一 般 取 扱 所		2	1	2	1		6		6	2	1	1	1	1	1	1		1			2	9	3	9	4
合 計	6	21	7	21	9	0	13	0	13	4	4	11	4	9	7	3	7	3	7	4	13	52	14	50	24

危険物関係申請状況

平成 27 年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
タンクの水張, 水圧検査 (政令)				2		2
タンクの水張, 水圧検査 (条例)						0
仮 貯 蔵		3	1			4
仮 取 扱		2	2			4

圧縮アセチレンガス等の届出状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
圧縮アセチレンガス等	圧縮アセチレンガス	5			7	12
	無水硫酸				1	1
	液化石油ガス	662	121	189	173	1,145
	生石灰	5		3	6	14
	毒物	7			2	9
	劇物	39			2	41
指定可燃物等	可燃性固体類	2			1	3
	石炭・木炭類					0
	可燃性液体類	11		2	1	14
	合成樹脂類	53	2	23	20	98
	再生資源燃料	2				2
	その他	32	16	24		72
指定可燃物に類する物品		10			16	26
少 量 危 険 物		849	305	385	336	1,875
移動タンク		50	24	20	27	121

予防査察実施状況

【防火対象物】

平成27年度

防火対象物区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
1項	イ	劇場・映画館等	11	1	5	4	21
	ロ	公会堂・集会場	45	14	47	31	137
2項	イ	バー・キャバレー等	1				1
	ロ	遊技場・ダンスホール等	8		3	8	19
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0
	ニ	個室利用役務提供店舗	5				5
3項	イ	待合・料理店等	3				3
	ロ	飲食店	85	13	12	8	118
4項		百貨店・マーケット等	126	37	50	53	266
5項	イ	旅館・ホテル等	122	111	17	7	257
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	86	29	21	7	143
6項	イ	病院・診療所	27	5	4	10	46
	ロ	老人短期入所施設等	88	11	24	34	157
	ハ	老人デイサービス等	63	12	20	12	107
	ニ	幼稚園・盲ろう学校	12	3	7	7	29
7項		小・中・高等・大学等	55	17	28	13	113
8項		図書館・美術館等	2	3	5	1	11
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	7	2	4	1	14
10項		車両の停車場等	1				1
11項		神社・寺院・教会等	8	3	6		17
12項	イ	工場・作業場	97	24	49	16	186
	ロ	映画・テレビスタジオ					0
13項	イ	自動車庫庫・駐車場	5	9	8	2	24
	ロ	飛行機等格納庫					0
14項		倉庫	64	49	37	8	158
15項		前各項に該当しない事業所	94	77	127	24	322
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	106	31	34	22	193
	ロ	(16) 項イ以外の複合対象物	5	10	4	3	22
17項		文化財等	1	4	4	19	28
実施件数合計			1, 127	465	516	290	2, 398

【危険物施設】

危険物施設区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
製造所			2	1			3
取扱所		給油取扱所	41	28	41	38	148
		一般取扱所	32	28	13	8	81
貯蔵所		屋内貯蔵所	14	9	7	5	35
		屋外貯蔵所	2	1	2		5
		屋内タンク貯蔵所	3		1	1	5
		屋外タンク貯蔵所	8	6	6	3	23
		地下タンク貯蔵所	47	30	21	14	112
		簡易タンク貯蔵所					0
		移動タンク貯蔵所	61	15	44	44	164
実施件数合計			210	118	135	113	576

査察実施件数は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までのもの。

液化石油ガス関係事務処理状況

平成27年度

区 分 \ 署 別		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
液化石油ガス 設備工事	設備工事届	16			3	19
特定液化石油ガス 設備工事事業	事業開始届					0
	事業変更届	8				8
	事業廃止届	1	2			3
立入検査		3			3	6

火薬類取締関係事務処理状況

平成27年度

区 分 \ 署 別			古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
許 可	譲渡許可						0
	譲受許可				3		3
	営業許可			2			2
	設置・移転許可			1			1
	消費許可	煙火	10		2	5	17
		その他			3		3
火薬庫保安検査			2				2
火薬庫外貯蔵所指示			1	1			2
立入検査	販売業者		1			5	6
	火薬庫		2				2
	消費業者		11		4	5	20
	その他					1	1

民間防火組織の結成状況

平成28年4月1日現在

組織区分 市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大 崎 市	32	1,131			104	15,728
色 麻 町					25	1,794
加 美 町	5	166			74	5,759
涌 谷 町	5	380	1	79	48	3,823
美 里 町					9	7,450
合 計	42	1,677	1	79	260	34,554

《幼少年消防クラブについて》

火に対する関心を持ち、火遊び等の火の取扱いに関する教育を要する幼児期及び人命・財産を失う火災の恐ろしさを理解する小学校の児童を対象として、幼少年消防クラブを結成し、防火意識の高揚を図り、火災予防に関する知識等を習得しています。

平成28年度は将来の地域防災の担い手育成を図るため、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶ「全国少年消防クラブ交流会」が、気仙沼市で開催される予定です。



写真：涌谷町提供

《大崎地域婦人防火クラブ連合会について 事務局：大崎消防本部予防課内

昭和56年に「我が家と地域から火災を無くそう」を合言葉に大崎地域の婦人防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り、火災予防思想の普及に寄与することを目的として結成されました。

平成27年中の事業としては、「婦人防火クラブ大会」において婦人防火クラブ員等322名が出席のもと、防災・減災の実践を再確認し、無火災宣言を行いました。また、春・秋の火災予防運動期間には、消防団・消防署との連携により住宅の戸別訪問や街頭広報指導において、住宅防火対策に関する広報活動を実施するなど、防火思想の普及に幅広く事業を展開しております。



通 信 指 令



○ 119番通報のポイント ○

★ あわてず、落ち着いて話して下さい！

1. 火事？それとも救急？
2. あなたの居る場所・緊急車が必要な住所
3. 誰が、どこで、どうしたのか？
4. あなたのお名前、でんわ番号



高機能消防指令センターおよび 消防救急デジタル無線システム

消防指令センター及び消防救急無線は、平成25年4月1日からデジタル方式で本格運用を開始しています。

大崎管内に5ヶ所の無線基地局を設置し、また最新鋭のデジタル通信機能を備えております。

災害現場までの誘導や車両位置の把握など、災害活動をスムーズに行うために必要な情報が即座に得られる機能を有し、迅速、安全、確実な災害対応を心がけ、より一層の安全、安心を図ってまいります。

【消防救急デジタル無線設備の概要】

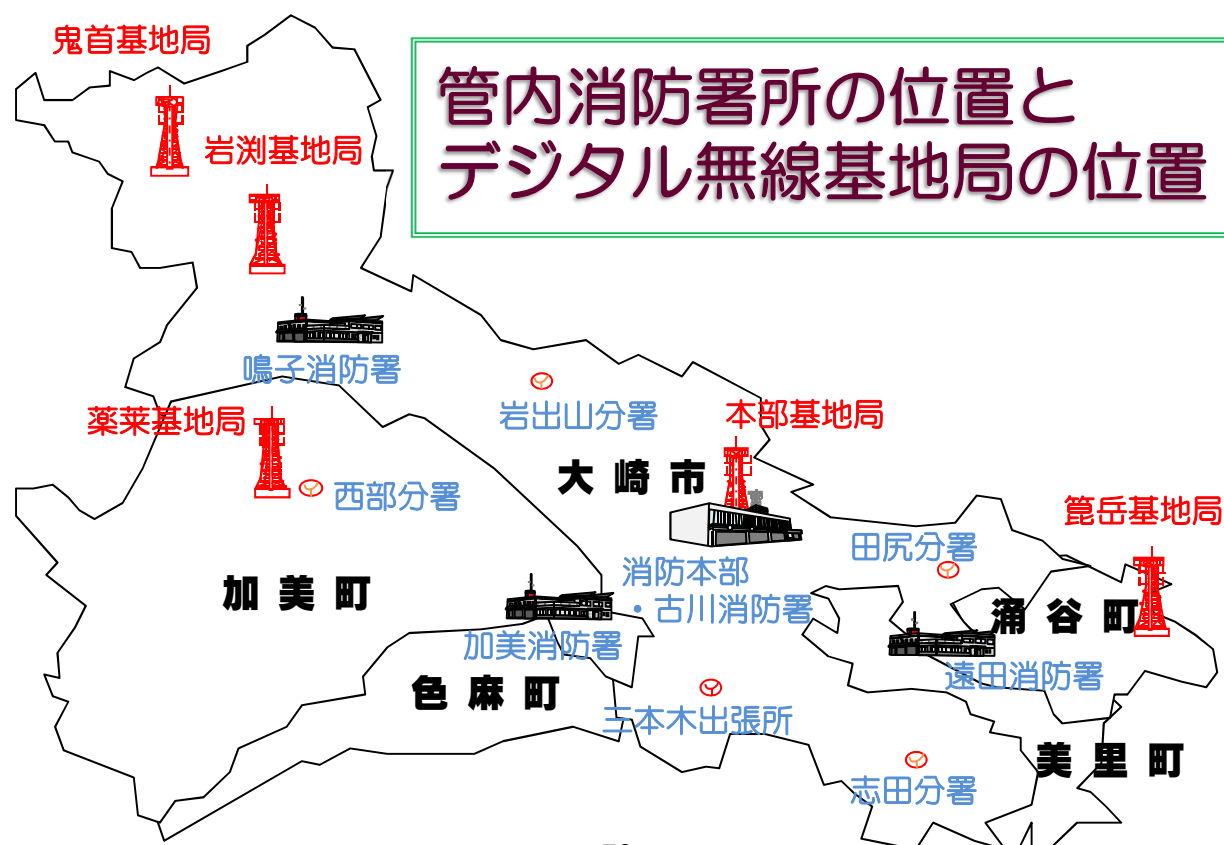
基地局： 5ヶ所

卓上固定移動局： 4台

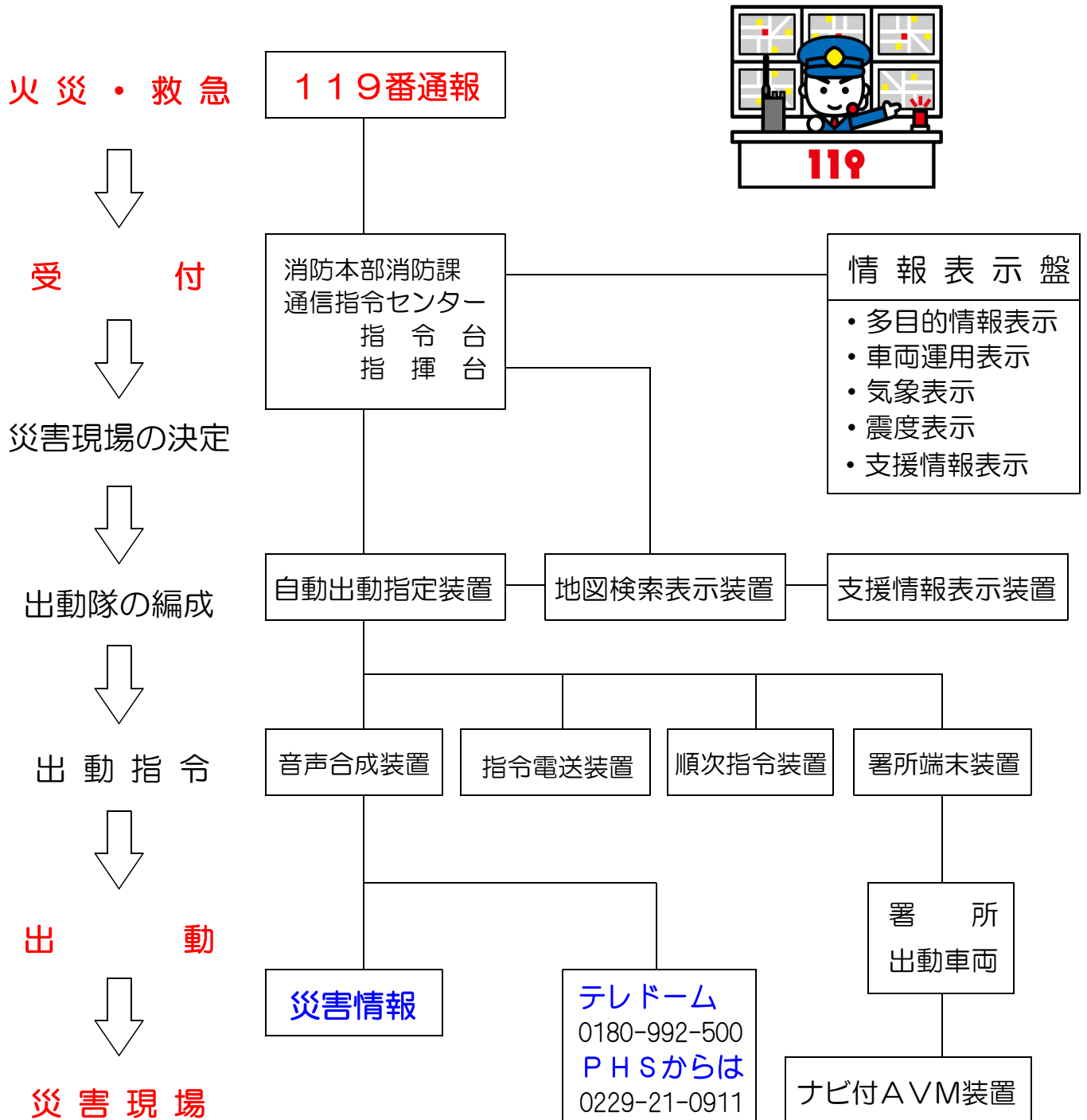
可搬型移動局： 2台

車載型移動局： 52台

携帯型移動局： 49台



消防緊急通信指令システム運用の流れ



1 1 9 番 等 受 付 状 況 （ 災 害 ）

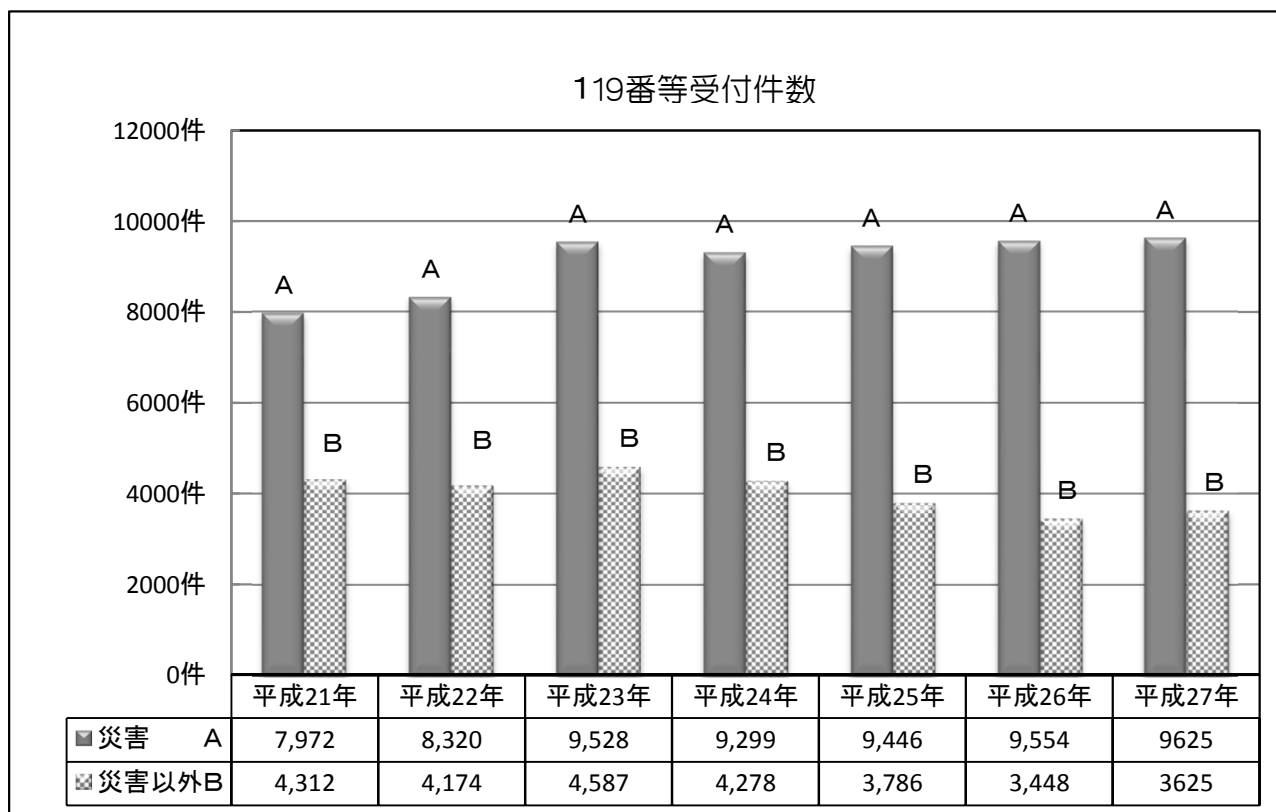
平成27年1月1日～平成27年12月31日

月別	受付種別	火 災	救 急	救助	その他	合 計
1月	1 1 9 番	3	643		4	650
	携 帯 1 1 9	4	188	3	5	200
	加 入 電 話		25		3	28
	そ の 他	1	9		2	12
	小 計	8	865	3	14	890
2月	1 1 9 番		485		7	492
	携 帯 1 1 9	1	170	1	8	180
	加 入 電 話		10	4	5	19
	そ の 他	1	9			10
	小 計	2	674	5	20	701
3月	1 1 9 番	1	545	1	3	550
	携 帯 1 1 9	3	174	2	6	185
	加 入 電 話	1	16	1	9	27
	そ の 他	1	15		2	18
	小 計	6	750	4	20	780
4月	1 1 9 番	6	536	1	2	545
	携 帯 1 1 9	3	169	2	7	181
	加 入 電 話		17	1	5	23
	そ の 他		7			7
	小 計	9	729	4	14	756
5月	1 1 9 番	9	485	3	3	500
	携 帯 1 1 9	4	200	2	12	218
	加 入 電 話	3	27	4	9	43
	そ の 他		14	1		15
	小 計	16	726	10	24	776
6月	1 1 9 番		489	1	6	496
	携 帯 1 1 9	1	176		5	182
	加 入 電 話		29	3	12	44
	そ の 他	2	10			12
	小 計	3	704	4	23	734
7月	1 1 9 番	6	591	4	6	607
	携 帯 1 1 9	3	218	2	7	230
	加 入 電 話	2	30	1	2	35
	そ の 他		12		2	14
	小 計	11	851	7	17	886
8月	1 1 9 番	3	584	1	6	594
	携 帯 1 1 9		225	2	7	234
	加 入 電 話	1	21		6	28
	そ の 他		11		2	13
	小 計	4	841	3	21	869
9月	1 1 9 番	1	561	8	17	587
	携 帯 1 1 9	2	196	7	29	234
	加 入 電 話	1	19	7	12	39
	そ の 他		11	1	2	14
	小 計	4	787	23	60	874
10月	1 1 9 番	1	507	4	9	521
	携 帯 1 1 9	3	194	1	9	207
	加 入 電 話		26	1	6	33
	そ の 他		14	1	1	16
	小 計	4	741	7	25	777
11月	1 1 9 番		510	2	2	514
	携 帯 1 1 9	3	201	2	7	213
	加 入 電 話		21	4	2	27
	そ の 他	3	8		2	13
	小 計	6	740	8	13	767
12月	1 1 9 番		550	3	6	559
	携 帯 1 1 9	1	199	2	9	211
	加 入 電 話		28	5	7	40
	そ の 他		5			5
	小 計	1	782	10	22	815
合計	1 1 9 番	30	6,486	28	71	6,615
	携 帯 1 1 9	28	2,310	26	111	2,475
	加 入 電 話	8	269	31	78	386
	そ の 他	8	125	3	13	149
	小 計	74	9,190	88	273	9,625

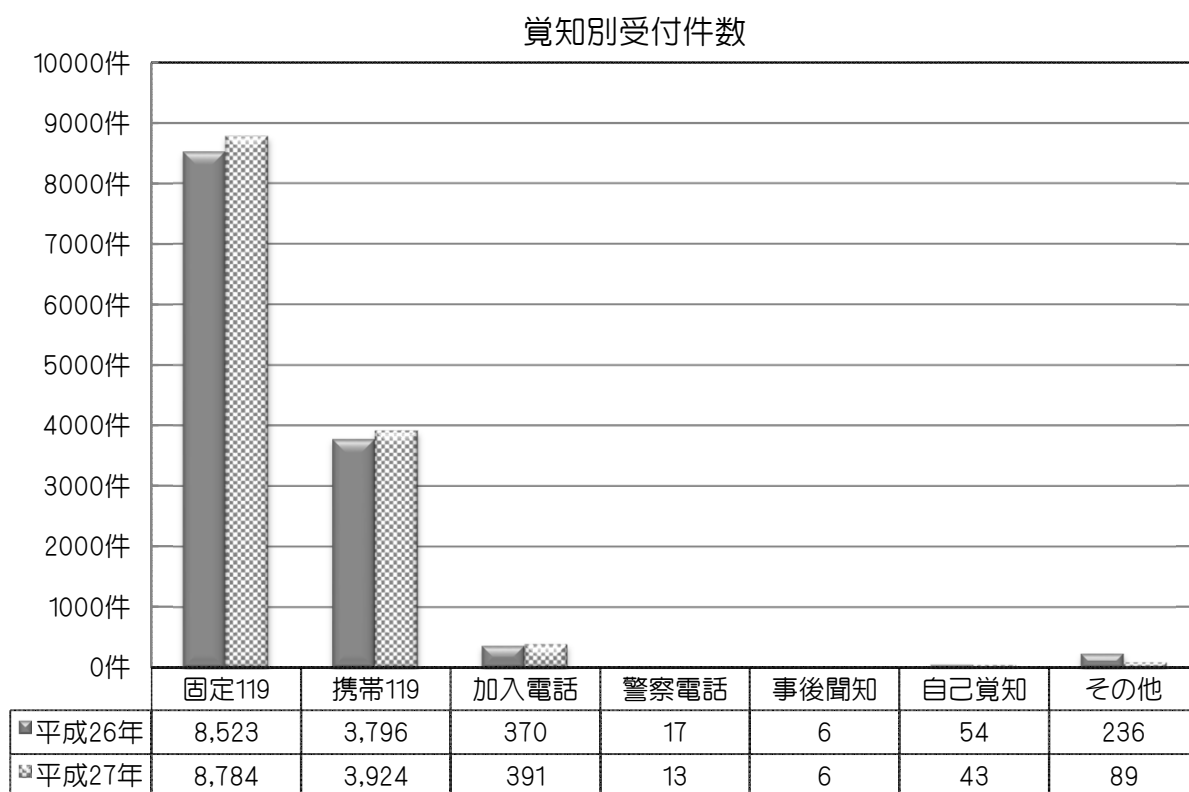
1 1 9 番 等 受 付 状 況 （災害以外）

平成27年1月1日～平成27年12月31日

月別	受付種別	事案 試験	いたすら	問い 合せ	間違い	訓練	試験	重複 その他	合計
1月	1 1 9 番		18	59	41	16	10	21	165
	携 帯 1 1 9		10	38	44		2	35	129
	加 入 電 話	1							1
	そ の 他								
	小 計	1	28	97	85	16	12	56	295
2月	1 1 9 番	2	6	33	25	24	13	10	113
	携 帯 1 1 9		4	37	11	1		10	63
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計	2	10	70	36	25	13	20	176
3月	1 1 9 番		10	44	24	41	6	16	141
	携 帯 1 1 9		9	35	31	1	3	21	100
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		19	79	55	42	9	37	241
4月	1 1 9 番	2	7	35	66	20	11	19	160
	携 帯 1 1 9	1	4	42	28		11	19	105
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計	3	11	77	94	20	22	38	265
5月	1 1 9 番	3	15	39	46	29	9	22	163
	携 帯 1 1 9		4	48	50	3	3	22	130
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計	3	19	87	96	32	12	44	293
6月	1 1 9 番		11	37	57	79	32	11	227
	携 帯 1 1 9		4	42	37		22	19	124
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		15	79	94	79	54	30	351
7月	1 1 9 番		12	51	53	48	21	9	194
	携 帯 1 1 9		7	47	48		2	26	130
	加 入 電 話			1	1				2
	そ の 他								
	小 計		19	99	102	48	23	35	326
8月	1 1 9 番		15	49	50	19	16	14	163
	携 帯 1 1 9		9	50	50		1	20	130
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		24	99	100	19	17	34	293
9月	1 1 9 番		7	94	51	41	12	11	216
	携 帯 1 1 9		3	145	44		4	23	219
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		10	239	95	41	16	34	435
10月	1 1 9 番		3	47	34	93	50	20	247
	携 帯 1 1 9		2	35	28	1	12	19	97
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他								
	小 計		5	82	63	94	62	39	345
11月	1 1 9 番		4	28	43	80	14	15	184
	携 帯 1 1 9			27	20		2	21	70
	加 入 電 話								
	そ の 他				2				2
	小 計		4	55	65	80	16	36	256
12月	1 1 9 番		5	48	63	38	29	13	196
	携 帯 1 1 9		53	41	37		2	19	152
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他								
	小 計		58	89	101	38	31	32	349
合計	1 1 9 番	7	113	564	553	528	223	181	2,169
	携 帯 1 1 9	1	109	587	428	6	64	254	1,449
	加 入 電 話	1		1	3				5
	そ の 他				2				2
	小 計	9	222	1,152	986	534	287	435	3,625

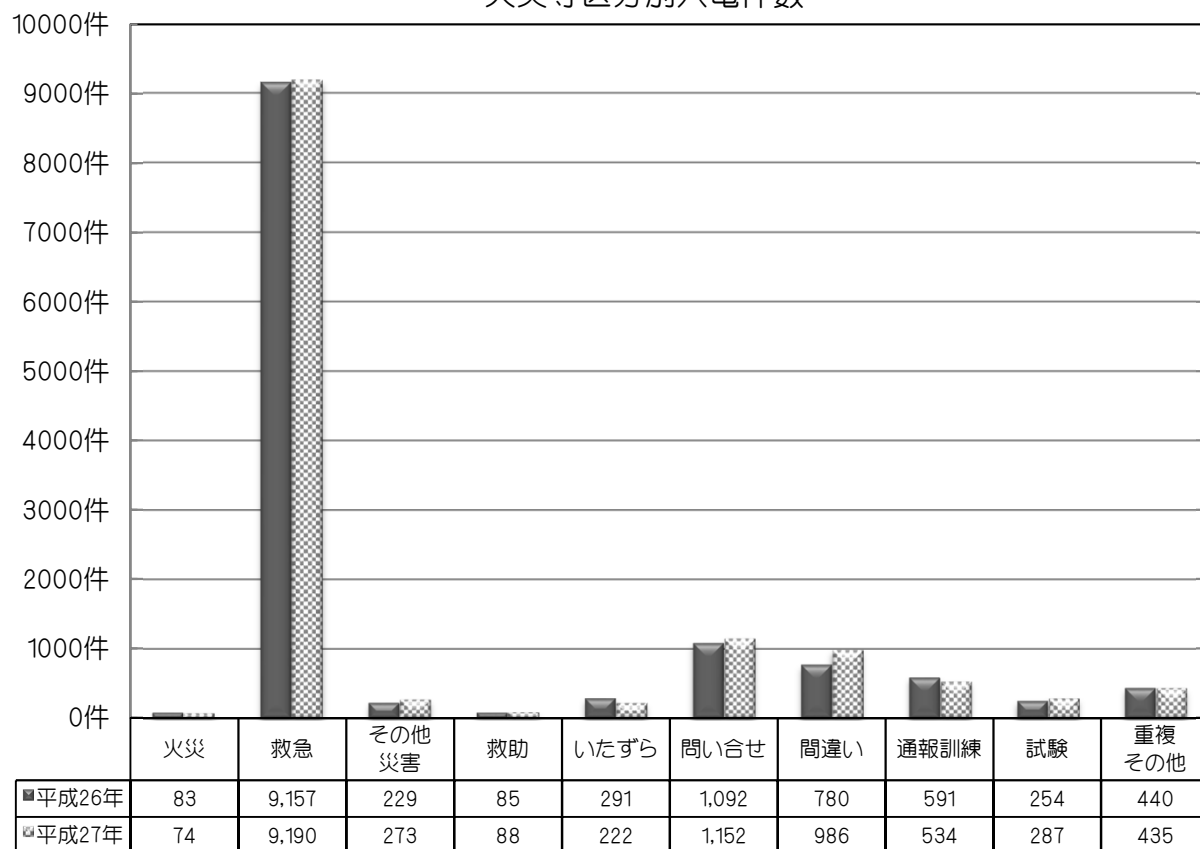


- ・災害とは「火災」「救急」「救助」「その他災害」をいう
- ・災害以外とは「事案試験」「いたずら」「問合せ」「間違い」「訓練」「試験」「重複・その他」をいう

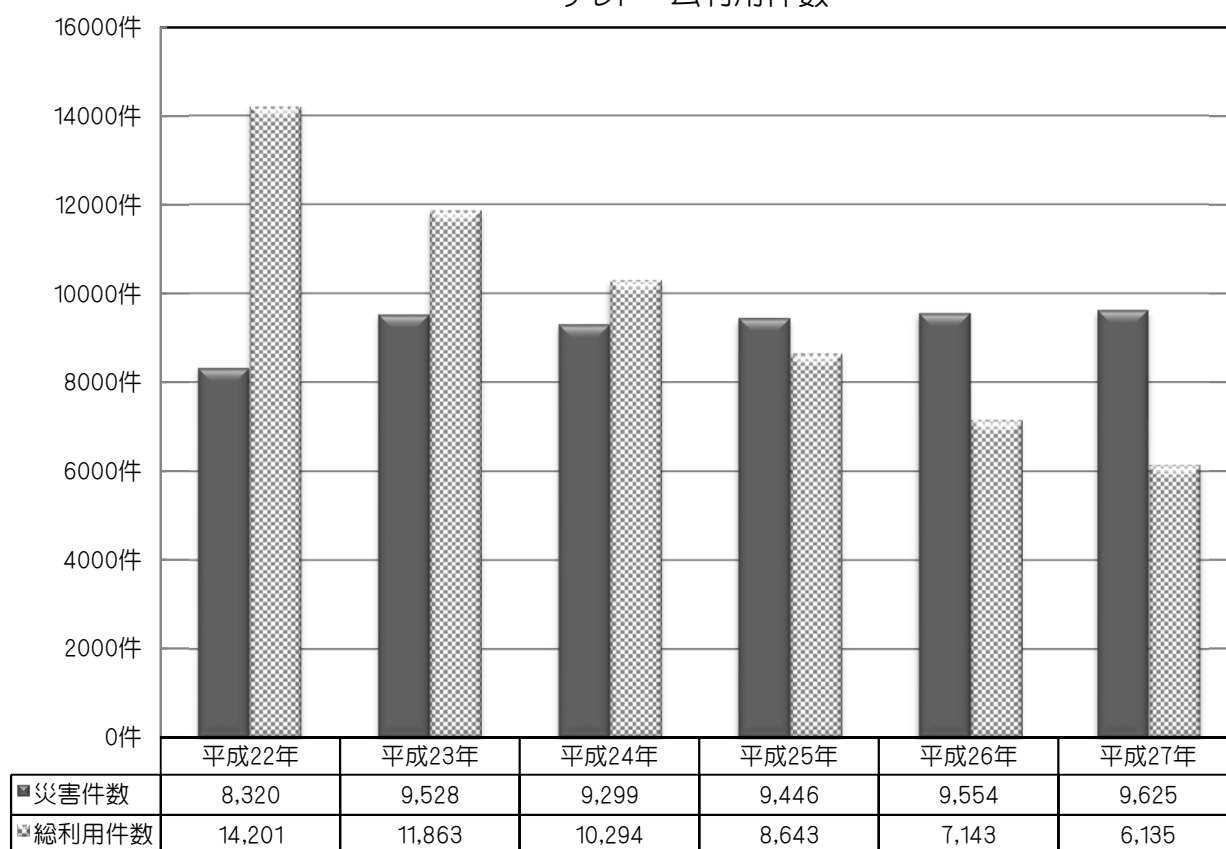


覚知別受付件数グラフは、前年度の「覚知別」と比較したものです。

火災等区分別入電件数



テレドーム利用件数



◎ テレドームは、救急出動を除く火災、救助、その他災害の発生状況を音声案内で情報サービスするものです。

月 別 気 象 状 況 (平成27年)

(平成27年 消防本部観測記録による)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 平均
温度	最高 (℃)	9.7	21.3	20.7	29.4	33.8	31.1	38.7	39.3	35.3	25.6	30.7	15.8	27.6
	最低 (℃)	-13.1	-4.0	-5.9	-7.3	6.0	10.6	15.8	16.8	11.3	3.4	-3.1	-2.5	2.3
	平均 (℃)	1.2	1.9	5.9	11.3	17.6	19.9	24.8	23.8	20.0	14.0	9.5	4.5	12.9
湿度	最低 (%)	55.8	39.9	20.8	21.1	22.5	34.4	35.0	39.1	40.5	42.7	53.3	53.0	38.2
	平均 (%)	89.3	88.1	82.2	99.9	74.8	87.5	87.4	91.6	90.6	81.9	91.6	90.5	88.0
風速	日最高平均 (m/s)	13.5	14.8	13.9	11.6	12.6	12.3	8.2	8.4	12.8	15.5	11.7	11.8	12.3
	瞬間最大 (m/s)	26.9	25.3	31.0	20.4	24.1	21.9	15.9	14.0	21.2	27.0	21.5	22.1	22.6
	平均 (m/s)	3.7	3.2	3.4	2.6	3.0	2.7	2.2	1.9	2.3	3.0	2.0	2.8	2.7
降水量	1日最大 (mm)	1.0	5.0	38.5	27.5	15.5	68.5	18.5	43.5	130.5	6.5	41.0	35.5	36.0
	積算 (mm)	26.5	20.5	150.0	102.0	36.5	120.0	50.5	165.0	339.0	11.5	129.5	84.5	103.0
天候観測 昼観測 (日数)	晴日 (快晴含)	16	9	21	21	29	22	21	22	17	24	19	13	234
	曇日	11	11	5	6	2	4	5	6	8	2	5	11	76
	雨日	1	3	4	3	0	4	5	3	5	5	6	6	45
	雪日	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
地震観測	回数	3	13	3	3	6	10	7	13	4	2	2	4	70
	最大震度	1	4	2	2	4	2	2	2	1	2	2	3	-
備 考 年記録	温度	最高 39.3 ℃ (8月)												
		最低 -13.1 ℃ (1月)												
	風速	最大瞬間風速 31 m/s (3月)												
	降水量	一日最大 130.5 mm (9月)												
	地震観測	震度 4 (5/13)												

■天候観測は、0時から24時の気象概況

指令装置機器一覧

項目	内訳	
	数量	単位
1 指令装置	1	式
(1) 指令台	2	台
(2) 自動出動指定装置	1	式
ア 制御処理装置	1	式
イ ディスプレイ	2	台
(3) 地図検索装置	1	式
ア 制御処理装置	1	式
イ ディスプレイ	2	台
(4) 支援情報表示装置	1	式
ア 制御処理装置	1	式
イ ディスプレイ	2	台
(5) 長時間録音装置	1	台
(6) 非常用指令装置	1	台
(7) 指令制御装置	1	台
(8) プリンタ	1	台
(9) カラープリンタ	1	台
(10) スキャナ	1	台
(11) データメンテナンス装置	2	台
(12) 署所端末装置	10	式
(13) バックアップ受令機	9	式
2 指揮台	1	式
3 表示盤	1	式
(1) 車両運用表示盤	2	面
(2) 支援情報表示盤	1	面
(3) 多目的情報表示盤	1	式
ア 多目的表示盤	2	面
イ 映像制御装置	1	式

項目	内訳	
	数量	単位
4 無線統制台	1	式
5 指令電送装置	1	式
(1) 指令情報送信装置	1	式
(2) 指令情報出力装置	10	式
6 気象情報収集装置	1	式
7 災害状況等自動案内装置	1	式
8 順次指令装置	1	式
9 音声合成装置	1	式
10 出動車両運用管理装置	1	式
(1) 管理装置	1	式
(2) 車両運用端末装置	51	台
(3) 車外設定端末装置	43	台
11 システム監視装置	1	式
12 電源設備	1	式
(1) 無停電電源装置	3	式
(2) 直流電源装置	5	式
(3) 非常用発動発電機	5	式
13 統合型位置情報通知装置	1	式
14 防災無線連動集中制御装置	1	式
15 119FAX受信装置	1	台
16 監視カメラ装置	1	式
(1) 監視カメラ	4	台
(2) 監視映像受信装置	1	式
17 デジタル無線受令機	25	台

管内の消防団



平成27年度涌谷町消防団秋季演習

於：涌谷スタジアム

《 涌谷町消防団 》

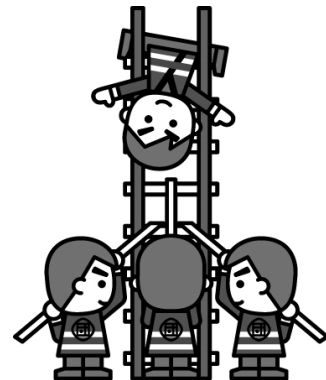
大崎管内の消防団構成

平成28年4月1日現在

市町名	定 数	実 数	階 級 別 実 数								所 有 車 両 数
			団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	副 班 長	団 員	
大崎市	2,745	2,364 (5)	1	22	56	71	141	294	0	1,779 (5)	ボ ン プ 車 10 小型ポンプ積載車 124 小 型 ポ ン プ 95 そ の 他 0
色麻町	210	207 (9)	1	1	4	4	0	20 (1)	0	177 (8)	ボ ン プ 車 0 小型ポンプ積載車 18 小 型 ポ ン プ 0 そ の 他 0
加美町	640	607 (1)	1	3	7	7	20	66	0	503 (1)	ボ ン プ 車 2 小型ポンプ積載車 62 小 型 ポ ン プ 1 そ の 他 0
涌谷町	350	280 (10)	1	2	7	7	7	18	8	230 (10)	ボ ン プ 車 1 小型ポンプ積載車 17 小 型 ポ ン プ 0 そ の 他 0
美里町	561	479 (6)	1	2	10	14	12 (1)	31 (1)	30	379 (4)	ボ ン プ 車 2 小型ポンプ積載車 27 小 型 ポ ン プ 0 そ の 他 0
合 計	4,506	3,937 (31)	5	30	84	103	180 (1)	429 (2)	38	3,068 (28)	ボ ン プ 車 15 小型ポンプ積載車 248 小 型 ポ ン プ 96 そ の 他 0

※大崎市消防団については、副団長のうち7名が支団長を兼ねる。

※（ ）内は女性消防団員の数



平成 2 8 年版 消防年報

平成 2 8 年 6 月 発行

編集・発行 大崎地域広域行政事務組合消防本部管理課



宮城県大崎市古川北町三丁目 2 番 20 号

電 話 (0229)22-2351(代)

FAX (0229)24-4048
